

第7部 教育機関等

第7部 教育機関等

1章 青森県立図書館・青森県近代文学館

1 施設・設備

所在地	青森市大字荒川字藤戸119番地7	
敷地面積	23,812.47㎡	
建物延面積	9,886.03㎡	
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階建 塔屋1階	
階別主要室名	1階	一般閲覧室、参考・郷土室、児童閲覧室、乳幼児室、エントランスホール、ロッカールーム、休憩コーナー、機械室
	2階	近代文学館（常設展示室、企画展示室、展示ギャラリー、展示ロビー、近代文学ガイドコーナー、AVブース）、書庫（約47万冊収容可）、特殊資料庫
	3階	書庫（約53万冊収容可）
	4階	集会室、研修室、市町村読書振興室、貴重資料庫、館長室、事務室

2 運営方針

(1) 青森県立図書館運営方針

青森県立図書館は、図書、記録等の資料及び情報を収集し、保存して、県民の利用に供し、市町村立図書館等を支援し、関係機関との連携・協力を進め、県民の学習活動、調査研究、読書活動等を支援するとともに、地域を支える情報拠点として地域の課題解決を支援し、本県の発展に貢献します。

このため、次の事項を推進し、図書館サービスの充実に努めます。

ア 資料の収集・保存・提供

県民が必要とする資料を計画的、体系的に収集し、整理・保存し、利用に供します。

資料の収集に当たっては、地域の課題解決に資する資料、郷土資料及び本県の行政資料の収集に努めます。

また、視聴覚資料、電子資料の収集等、資料の多様化への対応に努めます。

イ 利用者・県民へのサービス

県民の学習活動等を支援するため、オンライン貸出等の貸出サービス、レファレンスサービス等の情報サービス、地域の課題に対応した資料・情報の提供、多様な利用者へのサービス、学習機会の提供、ボランティア活動の機会の提供等を行います。

ウ 市町村立図書館等への支援

県民が、県内どこに住んでいても、充実した図書館サービスを受けることができるよう、市町村立図書館及び公民館図書室等に対し、資料の貸出、図書館職員研修の実施等の支援を行います。

また、県内の公立図書館等の資料の横断検索、相互貸借等を行うための青森県図書館情報

ネットワークシステムを運用するなど、県立図書館、市町村立図書館及び公民館図書室等の相互の連携・協力を進めます。

エ 子どもの読書活動の支援

子どもの読書活動を支援するため、おはなし会の開催、読み聞かせ活動の支援、児童生徒用図書セットの貸出、学校図書館の運営の支援等を行います。

オ 関係機関との連携・協力

県民の学習活動等の支援を充実するため、また、地域の課題解決を支援するため、国立国会図書館、他の都道府県立図書館、大学図書館、学校、社会教育施設、行政機関、調査研究施設、民間団体等との連携・協力を進めます。

(2) 青森県近代文学館運営方針

青森県近代文学館は、明治時代以降の本県出身及びゆかりの作家の文学資料を幅広く収集し、その保存を図るとともに、広く一般に公開展示し、文学活動の環境づくりを進め、創造性豊かな本県文化の継承と発展に貢献します。

このため、次の事項を推進し、文学館活動の充実に努めます。

ア 資料の収集・保存

明治時代以降の本県出身及びゆかりの作家を中心に、図書、雑誌、原稿、書簡、書画及び遺品等の資料を総合的に収集し、体系的に整備・保存します。

イ 資料の展示

青森県を代表する13人の作家を中心に、本県出身及びゆかりの作家の多様な資料を常設展示するとともに、テーマ別の企画展を開催し、青森県の近代文学に関する県民の理解を深めます。

ウ 文学活動の環境づくり

他の文学館、文学団体及び学校等との連携を深めながら、多様な普及・啓発活動、情報提供活動を展開することで、県民の文学活動の環境づくりを進めます。

3 事業内容

(1) 県立図書館

ア 資料の収集・保存・提供

(ア) 資料の収集・保存

購入及び寄贈により幅広く資料を収集し、整理し、保存した。令和4年度末の所蔵資料数は1,022,791点。

受入数	21,961点	所蔵数	1,022,791点
-----	---------	-----	------------

a 郷土資料の収集・保存

購入、寄贈及び自館作成等により、地方行政資料を含めた郷土関係全般にわたる資料を収集・整理・保存した。令和4年度末の所蔵資料数は166,534点。

受入数	2,868点	所蔵数	166,534点
-----	--------	-----	----------

※ 「(ア) 資料の収集・保存」内数

b 電子書籍の収集

辞典、図鑑、年鑑などの学術書を中心に電子資料を収集した。令和4年度末の所蔵資料数は1,703点。

受入数	664点	所蔵数	1,703点
-----	------	-----	--------

(イ) 資料の提供

館内には、一般閲覧室、児童閲覧室、参考・郷土室があり、それぞれ約11万5千冊、約2万9千冊、約1万4千冊の資料を配架しており、利用者は自由に閲覧することができ、書庫内の資料も、請求により利用することができる。

利用者は、館内の検索端末あるいはインターネットを通じて、資料を検索することができる。

希望する資料がない場合はリクエストを受け、相互貸借のネットワークを活用して、他館から借用し提供するほか、購入により提供した。

a 一般閲覧室では、日本十進分類法を用い、一般図書を主題別に配架するほか、新聞・雑誌、洋書、大活字本、郷土関係のAV資料、企画展示などのコーナーを設けるなどして、多種多様な資料の中から利用者が目的の資料を探しやすいように工夫している。

また、蔵書検索、インターネット、東奥日報CD-ROM、図書館向けデジタル化資料送信サービス・歴史的音源サービスに対応したパソコン端末を設置し、県民への資料・情報提供の充実を図った。

b 児童閲覧室では、調べ学習に対応した児童図書、ノンフィクション、物語、絵本、紙芝居などを自由に利用できるように配架した。

おはなしコーナーでは、毎月第2土曜日に「おはなし会」を、第4土曜日に「おしえて先生！知るしるする探検隊」を開催して、おはなしの楽しさを伝え、本との出会いの機会を提供した。

c 参考・郷土室では、各種の辞典、年鑑、青森県の自然、歴史、産業、文化等に関する図書や県内で刊行された資料等を配架して、利用者の学習・調査研究の利用に供した。

辞典、官報、新聞など、データベース資料については、専用端末により迅速に検索することができるサービスを提供した。

国立国会図書館蔵書検索・申込システム、国立国会図書館サーチ、国立情報学研究所等のデータベースを利用し、資料や所蔵情報を提供した。

開館日数	総利用者数	総利用資料数
322日	189,148人	245,114点

イ 利用者・県民へのサービス

(ア) レファレンスサービス

来館、非来館利用者からの様々なアプローチ(口頭、電話、FAX、メール等)による質問や、市町村立図書館等からの依頼を受けた、協力レファレンスに対して、解決に役立つ資料の紹介や情報提供を行った。

レファレンス数	調査・回答	1,398件	文献紹介	8,687件
---------	-------	--------	------	--------

(イ) オンライン貸出サービス

パソコンや携帯電話で所蔵資料の予約・貸出申込みをすることができる。また、受取館を県立図書館以外の市町村立図書館等(貸出協力館)に指定することができる。

貸出協力館数	62館	貸出件数	11,166件	貸出点数	21,147点
--------	-----	------	---------	------	---------

(ウ) 遠隔地返却サービス

県立図書館から貸出しを受けた資料を利用者が希望する市町村立図書館等に返却し、県立図書館が回収した。

返却協力館数	62館	利用件数	2,296件	利用点数	7,787点
--------	-----	------	--------	------	--------

(エ) アウトリーチサービス

心身に障害があるなどの事由により、図書館への来館が困難な者に対して、宅配による圖書の貸出を行った。

貸出件数	106件	貸出点数	525点
------	------	------	------

(オ) ホームページの充実

県立図書館の蔵書を検索し、予約や貸出申し込みができるオンライン貸出サービスを利用することができる。

また、「県内公共図書館・大学図書館横断検索」により23の市町村立図書館等と11の大学図書館、1県立施設の蔵書を検索することができる。

利用者から寄せられた要望等について、当館の対応とともに掲載した。

ホームページアクセス件数	246,593件
--------------	----------

(カ) デジタルアーカイブの公開

当館が所蔵する貴重資料等の電子画像を営利・非営利を問わず二次利用可能な形で公開するほか、それらの書誌情報についても、新たにオープンデータとして配布している。

また、他機関が公開するデジタルアーカイブや、青森県に関する主な電子資料へのリンク集を作成・公開している。

アクセス件数	10,909件
--------	---------

(キ) ボランティアの受入

返却された資料の配架及び利用案内について、図書館ボランティアを受け入れ、自主的・自発的な活動を支援・促進した。

登録人数	18人	延べ活動人数	593人
------	-----	--------	------

(ク) 一般閲覧室企画展示

本県に関する事項、身近な関心ごと、話題の出来事などテーマに沿った本の展示と貸出を行った。

期 間	テ ー マ
4月29日～5月22日	若い人に贈る読書のすすめ
5月27日～6月22日	できることから始めよう！まもろう、未来の青森県
6月24日～7月27日	文月ふみの日
7月29日～8月24日	まつり
8月26日～9月21日	晩夏の青森異界巡り

期 間	テ ー マ
9月23日～10月26日	お米
10月28日～11月23日	古くて新しいレトロの世界
12月1日～1月25日	菊谷栄 時代を駆け抜けたレビュー人の眼差し
1月27日～3月22日	科学道100冊2022

ウ 市町村立図書館等への支援

(ア) 青森県図書館情報ネットワークシステム（通称：Applins：アプリンズ）

県内公共図書館等の相互貸借のためのインターネットシステムを管理・運用した。参加館は横断検索機能を用いて、各館の所蔵情報を相互に検索することができるほか、検索した資料について、予約や貸出の申込みから借受、返却までの情報管理を双方向的に行うことができる。また、掲示板機能により、参加館の様々な情報を共有した。

a 参加館

参加館	46館	うちデータ提供館	23館

b アプリンズを利用した相互貸借数

県立図書館からの貸出点数	3,532点	県立図書館の借受点数	110点

(イ) 協力用図書の一括貸出

「協力用図書」を約4万8千冊所蔵し、市町村立図書館等を対象に蔵書を支援する目的で貸出しを行った。（来館型）

貸出件数	46件	貸出点数	26,471点

(ウ) 公立図書館長・公民館長会議、担当者会議

a 公立図書館長・公民館長会議をオンラインで開催し、県立図書館等の事業説明を実施した。

b 図書館相互協力事業等担当者会議をオンラインで開催し、市町村立図書館・公民館図書室等と県立図書館間の相互協力事業についての説明及び情報交換会を実施した。

(エ) 市町村立図書館等職員研修

a 図書館勤務概ね2年以内の市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館の役割や基本的なサービス等を理解するための講義と演習を行う市町村立図書館等職員初任者研修をオンラインで開催した。

b 市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館職員の資質向上のために特に重要なテーマ（資料管理）について、外部講師による講義と演習を行う市町村立図書館等職員基本研修をハイブリッドで開催した。

c 市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、公共図書館等の学校図書館支援や学校図書館との連携に関し、外部講師による講義を行う学校図書館支援研修をオンラインで開催した。

(オ) 市町村立図書館等巡回訪問

a 市町村立図書館等からの要請により、運営等について指導・助言及び情報提供等を行

い、市町村立図書館等の振興と連携強化等を図るため、令和4年度は1回の訪問を行った。

b 市町村立図書館等について、実態と課題を聴取して、今後の市町村支援の在り方を検討するため、令和4年度は3回の調査訪問を行った。

c 図書館の新設等の事由により重点的に助言及び支援を行うため、令和4年度は1回の重点支援訪問を行った。

(カ) 定期資料搬送

市町村立図書館等及び大学等図書館と資料を貸借するために、宅配便を利用した定期的な資料搬送を行った。

具体的には、市町村立図書館等との相互貸借、オンライン貸出サービスの貸出・回収、遠隔地返却サービスの回収、大学等図書館との相互貸借及び大学等図書館返却サービスの回収を行った。

エ 子どもの読書活動の支援

(ア) 子どもと本をつなげる催しの開催

子どもたちが、さまざまなことに興味を持ち、関連した本に触れることによって、読書への興味を持つとともに、図書館の利用促進となるような催しを開催した。

a おはなし会 毎月第2土曜日

絵本の読み聞かせやブック・トークを行った。令和4年度の参加者総数は117人であった（4月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）。

b おしえて先生！知るしるする探検隊 毎月第4土曜日（11・12・3月を除く）

科学やいろいろな仕事、スポーツなど、実験や交流体験を行った。令和4年度は8回開催し、参加者総数は139人であった（4月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）。

(イ) 児童閲覧室テーマ展示

おはなし会のテーマや読書週間等と連動した本の展示・貸出のほか、年中行事による小展示を行った。

期間	展 示 テ ー マ	小 展 示
4月11日～4月27日	令和3年度 おはなし会・おしえて先生！知るしるする探検隊で紹介した本	ぞう
4月29日～5月22日	ゆめのせかいへようこそ	まる
5月27日～6月22日	いらっしやいませ	へんしん！
6月24日～7月27日	みんなで、とぶぞ～！	やさい
7月29日～8月24日	なつやすみ	あお
8月26日～9月21日	はしる！	ライオン
9月23日～10月26日	おにぎょう	おやすみの日
10月28日～11月23日	パンダ	いい湯だな
12月1日～12月21日	くろ！くろ！くろ！	いぬ
12月23日～1月25日	いない！いない？	りんご
1月27日～2月15日	うたをうたうよ～ラララララ	てづくり
2月17日～3月22日	のびる!?	ふかふか
3月24日～4月26日	令和4年度 おはなし会・おしえて先生！知るしるする探検隊で紹介した本	ぴかぴか

(ウ) セット貸出

a 市町村内巡回図書セット

小・中学校の朝の読書活動や幼稚園・保育所等の読み聞かせ活動を支援するため、協力用図書を利用して図書セットを作成し、希望する市町村立図書館等に対し「市町村内巡回図書セット」として貸出を行った。借り受けた市町村立図書館等は管内の小中学校等に配本した。

図書セットの内容	利用対象	前 期		後 期	
		配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
小 学 校	低 学 年	39	3,680	36	3,200
	中 学 年	38	3,500	36	3,180
	高 学 年	36	3,300	35	3,040
中 学 校	中 学 校	11	480	11	480
読 聞 かせ 絵 本 等	幼 稚 園 ・ 保 育 所 等	54	7,830	45	5,820
大 型 絵 本	幼 稚 園 ・ 保 育 所 等	56	2,090	44	1,250

b 学習支援セット

児童生徒の学習支援や読書活動の推進等を支援するため、協力用図書を利用して「学習支援セット」を作成し、希望する小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等へ貸出を行った。（小・中学校は市町村立図書館等を経由して貸出。）

利 用 対 象	前 期		後 期	
	配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等	3	143	3	146

c ミニセット

各図書館等での展示・貸出を支援するため、協力用図書を利用して全国的なイベント等に対応した「ミニセット」を作成し、希望する高等学校、市町村立図書館等へ貸出を行った。

利 用 対 象	前 期		後 期	
	配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
市町村立図書館等（一部高等学校・特別支援学校を含む。）	21件	594冊	22件	590冊

(エ) 学校図書館アシスト事業プラス

小・中学校及び県立学校等を県立図書館職員が訪問し、学校図書館が抱える疑問などを解決するための具体的な助言や情報提供、学校図書館の活動に関する研修を行った。

また、必要に応じて追加の訪問や助言、情報を提供した。

訪問学校数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	計
	15校	3校	5校	0校	3校	26校

オ 関係機関との連携・協力

(ア) 図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに歴史的音源（れきおん）サービス

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を公共図書館等で閲覧・複写できる「図書館向けデジタル化資料送信サービス」並びに、歴史的

音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）がデジタル化した、1900年当初から1950年頃までに製作されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を公共図書館等で視聴できる「歴史的音源（れきおん）サービス」に参加館として加入。県民への資料提供の充実を図った。

図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに歴史的音源（れきおん）サービス	利用者数	174人
--------------------------------------	------	------

(イ) 国立国会図書館及び県外公共図書館等との連携

県域を越えた図書館資料資源の共有化及び効率的利用の促進を目的とする、和図書の総合目録ネットワーク「国立国会図書館総合目録ネットワーク（ゆにかねつと）」にデータ提供館・参加館として加入し、全国的な図書館連携に協力するとともに、県民への資料提供の充実を図った。

他都道府県公共図書館との相互貸借	貸出点数	654点	借受点数	146点
------------------	------	------	------	------

(ロ) 大学等図書館との連携

平成21年度から県内大学等図書館と連携・協力に関する協定（覚書）を締結している。大学等図書館とは、横断検索システムを活用した相互貸借や県立図書館で借受けた資料を在籍する大学等図書館に返却できるサービスを行った。

大学等図書館との相互貸借	貸出点数	151点	借受点数	27点
--------------	------	------	------	-----

(エ) 行政支援サービス

県職員を対象に、政策立案や行政サービスの改善に資するため、業務に関するレファレンス（調査・相談）や資料及び関連図書リストの提供を行った。また、県が主催する様々なセミナー等の会場において、参加者を対象に関連図書の展示・貸出を行った。

レファレンスサービス件数	50件
業務に関する図書貸出点数	112点
セミナー等における図書貸出点数	308点
県立図書館施設利用人数	649人

(オ) 産業支援サービス

県民を対象に、幅広く産業やビジネスを支援するため、創業・起業や経営改善に関する情報、農林水産資源を活用した商品開発などに関する情報等をデータベースで提供した。

また、創業・起業に関する相談会場等で、関連図書リストの提供を行った。

データベース情報検索件数	68件
相談会等におけるオーダーメイドリスト提供件数	8件

(2) 近代文学館

ア 資料の収集・保存

収集方針に基づき、佐藤紅緑・秋田雨雀・葛西善蔵・福土幸次郎・石坂洋次郎・北村小松・北畠八穂・高木恭造・太宰治・今官一・三浦哲郎・長部日出雄・寺山修司の13人の重点作家を中心とした本県ゆかりの作家の文学資料について、継続的に収集・整理・保存を行った。

令和4年度は、特別展「教室で出会った文学」、企画展「作家の愛用品展 - ちょっとレトロなものたち -」の開催を契機に、関連する資料の収集に力を注いだ。

受 入 数	3,848点	所 蔵 数	166,947点
-------	--------	-------	----------

イ 資料の展示

常設展示、企画展等の観覧者は4,799名であった。

※4月1日から4月10日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。

※2月11日から3月31日まで、展示室内設備の修繕及び改修のため臨時休館。

開 館 日 数	276日	観 覧 者 数	4,799人
---------	------	---------	--------

(ア) 常設展示

常設展示室では、青森県を代表する13人の作家の図書、雑誌、原稿、書簡、書画、遺品等の資料を展示し、その作品と生涯を紹介しているほか、青森県ゆかりの作家33人をジャンルごとに紹介した。

常設展示作家・青森県ゆかりの作家たちからピックアップして拡大展示する「エクステンド常設展示」を開催。令和4年度は、「文学県あおもり 平成・令和編」、「昭和から令和の時代を駆け抜けた作家の追想」のテーマで開催した。

(イ) 特別展・企画展の開催

企画展示室では、特定のテーマを設けて特別展・企画展を開催しており、開館以来、令和4年度までに計108回の特別展と企画展を開催した。

a 企画展「『座標』に集った人々展」

文芸雑誌「座標」は、1930（昭和5）年1月に創刊された。竹内俊吉の提唱により、「黎明」や「獵騎兵」等、複数の雑誌が合流して成った県下統一の総合文芸誌であった。文学上の主張の相違により多くのメンバーが離脱し、昭和7年に廃刊となったが、本県文学史に確かな足跡を刻んだ。淡谷悠蔵らとともに「黎明」を創刊し、「座標」では編集人を務めた船水公明の旧蔵資料を中心に構成し、「座標」に集った人々の活躍を振り返る展示を開催した。

b 特別展「教室で出会った文学」

森鷗外、夏目漱石、芥川龍之介ら国語教科書における定番作家たちを取り上げ、青森県との意外な関わりの部分に光を当てるとともに、太宰治や三浦哲郎ら教科書に作品が掲載されている本県出身作家の関連資料も紹介する展示を開催した。

c 企画展「作家の愛用品展 - ちょっとレトロなものたち -」

作家の愛用品からは、作家の好みやこだわり、感性がうかがえる。作家が作品を生み出すのに用いた文房具、身につけた着物や装飾品、生活が感じられる調度品や家具など、青森県ゆかりの作家たちが愛用した品々を紹介する展示を開催した。

d 太宰治他寄書帖「蘭兒帖」大公開

1947（昭和22）年、東京都神田神保町の出版社「昭森社」の経営者である森谷均は、喫茶「らんぼお」を開店した。その店にあった寄書帖「蘭兒帖」には、数多くの文人や芸術家達による様々な寄書が見られ、その中には、現在確認されている太宰治の描いた絵の中で唯一の水彩画「森谷均像」が含まれていた。戦後の日本文化の発展を各方面で担っていった人々の交流が垣間見える寄書帖「蘭兒帖」の寄贈を受け、初公開した。

(ウ) 各種展示・コーナーの設置

「近代文学ガイドコーナー」では、DVD（約18分）で、明治以降の青森県の文学の流れを解説しており、AVブースでは、青森県ゆかりの作家の業績や作品の世界、分野、地域、時代等特定のテーマで、1本15分～20分のDVD計37作品を鑑賞することができる。

また、展示ギャラリーには、13人の作家が青森県について語った文章と風景写真を組み合わせた「文学ギャラリー 作家が語る青森」パネルを展示した。

(エ) パネル展の開催

特別展・企画展の内容を再構成したパネル展を、文化施設や作家にゆかりの地域の高等学校など、延べ7か所で開催し、若い世代や遠隔地の県民に観覧の機会を提供した。

ウ 文学活動の環境づくり

(ア) 朗読劇「教室で出会った太宰作品メドレー」

特別展を記念して、津軽地方を中心に活動する声優劇団による、「走れメロス」「葉桜と魔笛」等、太宰作品のドラマリーディングを上演し、参加者は64人であった。

(イ) 文学ゼミ・朗読会の開催

a あおもり文学ゼミ

特別展や企画展の開催に併せて、当館職員によるあおもり文学ゼミを開催し、出品資料や展示内容に対する理解を深めてもらう機会を提供した。令和4年度は、2回開催し、参加者は27人であった。

b 「日曜午後の朗読会」

青森県を代表する13人の作家をテーマに、作家および作品の紹介を、朗読を交えて5回実施し、参加者は13人であった。

(ウ) 出前講座

職員が依頼を受けて学校等に出向き、青森県の近代文学についての講義を行う出前講座を1回実施し、参加者は130人であった。

(3) 印刷物の発行

印刷物の名称	摘 要
要覧	令和4年度版
青森県の図書館	令和4年度版
青森県立図書館報	第43号～第45号（年3回発行）
青森県近代文学館資料集	第十三輯「太宰治・句帖『亀の子』」

(4) 分類別受入資料数 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

			0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	E	K	その他	計
			総記	哲学宗教	歴史紀行	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	紙芝居		
本館資料	図書資料	一般資料	381	348	671	2,084	1,044	1,096	563	845	179	2,341	0	0	0	9,552
		児童資料	29	9	79	93	137	73	55	69	16	567	775	43	0	1,945
		参考資料	17	10	20	77	13	15	24	16	3	3	0	0	0	198
		郷土資料	33	1	77	225	22	35	65	26	2	9	0	0	0	495
		個人文庫等資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	460	368	847	2,479	1,216	1,219	707	966	200	2,920	775	43	0	12,190
	書庫資料	一般資料	320	24	108	401	65	39	185	128	18	287	0	0	0	1,575
		児童資料	0	0	1	0	0	0	0	0	1	10	26	0	0	38
		参考資料	1	0	0	12	0	0	1	1	3	0	0	0	0	18
		郷土資料	223	29	115	636	52	83	119	285	2	829	0	0	0	2,373
		個人文庫等資料	0	0	0	3	0	0	4	0	0	0	0	0	0	7
		計	544	53	224	1,052	117	122	309	414	24	1,126	26	0	0	4,011
		図書資料計	1,004	421	1,071	3,531	1,333	1,341	1,016	1,370	224	4,046	801	43	0	16,201
	非図書資料	80	0	19	6	1	2	5	7	131	0	0	0	0	251	
	電子書籍	12	12	42	292	67	92	74	31	3	39	0	0	0	664	
	本館資料計	1,096	433	1,132	3,829	1,401	1,435	1,095	1,408	358	4,085	801	43	0	17,116	
	近代文学館資料														3,848	
	協力用資料														4,845	
	図書館資料計														25,809	

(5) 分類別所蔵資料数 (令和5年3月31日現在)

			0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	E	K	その他	計
			総記	哲学宗教	歴史紀行	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	紙芝居		
本館資料	図書資料	一般資料	4,724	5,803	9,828	24,451	8,753	11,377	6,874	9,149	2,782	26,785	0	0	0	110,526
		児童資料	511	266	1,305	1,536	2,557	953	653	1,110	435	7,900	10,555	762	0	28,543
		参考資料	668	342	1,083	743	544	296	238	614	434	535	0	0	0	5,497
		郷土資料	752	106	2,774	2,239	395	534	809	612	60	233	0	0	0	8,514
		個人文庫等資料	626	4	104	24	13	9	11	604	0	2,196	0	0	0	3,591
		計	7,281	6,521	15,094	28,993	12,262	13,169	8,585	12,089	3,711	37,649	10,555	762	0	156,671
	書庫資料	一般資料	53,378	21,580	48,106	122,352	39,665	37,483	37,900	47,813	9,360	95,618	0	0	0	513,256
		児童資料	984	317	1,863	2,127	5,132	1,520	674	1,942	510	15,008	17,703	950	0	48,730
		参考資料	2,031	176	1,067	3,476	657	872	1,052	819	475	467	0	0	0	11,092
		郷土資料	17,089	2,019	13,644	44,998	6,864	6,620	18,388	10,846	454	37,098	0	0	0	158,020
		個人文庫等資料	6,579	2,453	10,425	14,260	1,041	466	6,983	1,779	1,717	6,933	1	0	9,302	61,939
		計	80,061	26,545	75,105	187,213	53,360	46,961	64,997	63,199	12,516	155,124	17,704	950	9,302	793,037
		図書資料計	87,342	33,066	90,199	216,206	65,622	60,130	73,582	75,288	16,227	192,773	28,259	1,712	9,302	949,708
	非図書資料	4,085	60	10,661	2,198	278	489	1,320	2,471	102	830	0	0	719	23,213	
	電子書籍	24	126	83	526	178	159	116	219	31	241	0	0	0	1,703	
	本館資料計	91,451	33,252	100,943	218,930	66,078	60,778	75,018	77,978	16,360	193,844	28,259	1,712	10,021	974,624	
	近代文学館資料														166,947	
	協力用資料														48,167	
	図書館資料計														1,189,738	

4 令和4年度主催事業の実績

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

【趣 旨】

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

【概 要】

図書セットの内容		利用対象	前 期		後 期	
			配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
1 市町村 村内巡回 図書 セット	(1)小学校	低学年	39	3,680	36	3,200
		中学年	38	3,500	36	3,180
		高学年	36	3,300	35	3,040
	(2)中学校	中学校	11	480	11	480
	(3)読み聞かせ絵 本児童書等	幼稚園・保育所等	54	7,830	45	5,820
(4)大型絵本	幼稚園・保育所等	56	2,090	44	1,250	
2 学習支援セット		小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等	3	143	3	146
3 ミニセット		市町村立図書館等 (一部高等学校・特別支援学校を含む。)	21	594	22	590

読書バリアフリー推進事業

【趣 旨】

視覚障害者等さまざまな障害のある方が図書館をより利用しやすい環境に整備することを目的として、読書バリアフリーのための機器、及び用具を整備する事業である。

【概 要】

- (1) 新しい機器の導入
- (2) バリアフリーサービス紹介コーナーの更新

近代文学館 特別展開催事業

【趣 旨】

文学にあまり興味・関心を持っていない中高生を中心とした新たな層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

【概 要】

- (1) 名称：特別展「教室で出会った文学」
- (2) 会期：7/16（土）～9/19（日）
- (3) 内容：展示、特別展イベントを実施する。

○展 示 森鷗外、夏目漱石、芥川龍之介ら国語教科書における定番作家たちを取り上

げ、青森県との意外な関わりの部分に光を当てるとともに、太宰治や三浦哲郎ら教科書に作品が掲載されている本県出身作家の関連資料も紹介する展示を開催。

展示資料数：91点

来館者数：811名

○特別展イベント

特別展と青森県の文学に関心を持ってもらうことを目的として、特別展のテーマに関連したイベントを開催。

ア あおもり文学ゼミ

内容：講演 「教室で出会った作家と青森」

特別展で大きく取り上げた7人の作家（森鷗外、夏目漱石、石川啄木、宮澤賢治、与謝野晶子、芥川龍之介、高村光太郎）について紹介し、青森との意外な関わりについて解説。

講師 柿崎 星哉（青森県近代文学館 文学専門主事）

日時：7/31（日） 14時～15時

場所：県立図書館研修室

参加者数：20名

イ ドラマリーディング

内容：朗読劇 「教室で出会った太宰作品メドレー」

津軽地方を中心に活動している声優劇団「津軽カタリスト」による太宰治作品「待つ」「葉桜と魔笛」「雀こ」「走れメロス」の朗読劇。

出演 津軽カタリスト

日時：8/21（日） 14時～15時20分

場所：県立図書館集会室

参加者数：64名（来館22名、配信視聴42名）

近代文学館 企画展開催事業

【趣 旨】

文学にあまり興味・関心を持っていない中高生を中心とした新たな層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

【概 要】

(1) 企画展「『座標』に集った人々展」

○会期：4/11（土）～5/15（日）

※当初は2月26日からの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2月22日から4月10日まで臨時休館となったため、4月11日からの開催となった。

○内容：文芸雑誌「座標」は、竹内俊吉の提唱により、「黎明」や「狐騎兵」等、複数の雑誌が合流して成った県下統一の総合文芸誌であった。1932（昭和7）年に廃刊となったが、本県文学史に確かな足跡を刻んだ。淡谷悠蔵らとともに「黎明」を創刊し、「座標」では編集人を務めた船水公明の旧蔵資料を中心に構成し、「座標」に

集った人々の活躍を振り返る展示を開催。

展示資料数：80点

来場者数：184名

(2) 企画展「作家の愛用品展－ちょっとレトロなものたち－」

○会期：10/29（土）～12/25（日）

○内容：作家の愛用品からは、作家の好みやこだわり、感性が窺える。作家が作品を生み出すのに用いた文房具、身につけた着物や装飾品、生活が感じられる調度品や家具など、青森県ゆかりの作家たちが愛用した品々を紹介する展示を開催。

展示資料数：442点

来場者数：820名

(3) 新収蔵資料展示「太宰治他寄書帖「蘭兎帖」大公開」

○会期：1/4（水）～2/10（金）

○内容：戦後間もない1947（昭和22）年、東京都神田神保町の出版社「昭森社」の経営者である森谷均が開店した喫茶「らんぼお」の店内には、数多くの文人や芸術家達による寄書帖「蘭兎帖」があり、その中には、現在確認されている太宰治の描いた絵の中で唯一の水彩画「森谷均像」が含まれていた。戦後の日本文化の発展を各方面で担っていった人々の交流が垣間見える寄書帖「蘭兎帖」を初公開する展示を開催。

展示資料数：10点

来館者数：306名

アウトリーチサービス推進事業

【趣 旨】

心身に障害があるなどの事由により、図書館への来館が困難な者に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

【概 要】

○登録者数：17名（うち新規登録者数1名）

○貸 出：件数106件／冊数525点

県立図書館資料整備

【趣 旨】

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

なお、令和3年度から電子書籍を閲覧することができる電子図書館システムを導入している。

【概 要】

(1) 受入資料数（R4/4/1～R5/3/31）

区分	受入資料数
県立図書館（本館）	17,116冊
（うち電子書籍）	（664冊）
市町村等協力用	4,845冊
近代文学館	3,848冊
合 計	25,809冊

(2) 図書館利用状況 (R4/4/1~R5/3/31)

図書館利用者数	173,439名		
近代文学館利用者数	15,709名		
年間利用資料数	一般閲覧室	133,793冊	
	児童閲覧室	49,620冊	
	オンライン貸出	10,546冊	
	新聞未合冊等	11,279冊	
	アウトリーチ (全体の内数)	(525冊)	※アウトリーチサービス： 身障者等への配本サービス
	市町村一括 (協力) 貸出等	39,876冊	
	計	245,114冊	
年間登録者数	新規登録者数	2,442名	※それぞれの登録者数には、 アウトリーチ登録者数を含む。
	総登録者数	14,569名	

(3) 市町村図書館等への貸出の状況 (R4/4/1~R5/3/31)

相互貸借 (県立図書館からの貸出)	県内市町村立図書館等	3,532冊
	県外公共図書館等	654冊
	計	4,186冊
団体一括貸出		26,471冊
集団読書用図書		122冊

市町村立図書館等職員研修事業

【趣 旨】

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的に、初任者研修、基本研修及び学校図書館支援研修等を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために図書館相互協力事業等担当者会議を開催する事業である。

【概 要】

(1) 図書館相互協力事業等担当者会議

ア 開催日	5/19 (木)
イ 場 所	オンライン (Zoom)
ウ 参加者	市町村立図書館等職員43名
エ 内 容	県立図書館と市町村立図書館等の間で行われる相互協力事業に関する説明、情報交換会

(2) 初任者研修

ア 開催日	6/15 (水)
イ 場 所	オンライン (Zoom)
ウ 対 象	勤務経験が概ね2年以内の図書館・公民館等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員46名、学校図書館業務担当職員1名
オ 内 容	一定レベルの図書館サービスを提供するための基礎的研修 「関係法規、公共図書館・学校図書館の現状と課題、資料管理、グループワーク」 ※児童サービスについては事前に録画した動画を配信

(3) 基本研修

ア 開催日	7/13 (水) ~7/14 (木)
イ 場所	1日目 (講義) : オンライン (Zoom)、2日目 (実習) : 県立図書館
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員93名、学校図書館業務担当職員9名、その他1名
オ 内容	テーマ「資料管理-本のカビ対策と簡易補修を中心に-」
カ 講師	公益社団法人日本図書館協会 資料保存委員会委員、 東京都立中央図書館 資料修復専門員 佐々木 紫乃

(4) 学校図書館支援研修

ア 開催日	9/14 (水)
イ 場所	オンライン (Zoom)
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員19名、学校図書館業務担当職員7名、その他17名
オ 内容	テーマ「これからの学校支援サービスを考える： 「G I G Aスクール構想」と読書バリアフリーへの対応を中心に」
カ 講師	専修大学 教授 野口 武悟

(5) ステップアップ研修

ア 開催日	11/24 (木)
イ 場所	オンライン (Zoom) + 集合型
ウ 対象	市町村立図書館、公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
エ 参加者	市町村立図書館等職員26名、学校図書館業務担当職員1名、その他2名
オ 内容	テーマ「自然災害の教訓から図書館の防災・減災をみんなで考える」
カ 講師	株式会社栗原研究室 代表 川島 宏 宮城県名取市図書館 司書 加藤 孔敬

2章 県立少年自然の家

1節 梵珠少年自然の家

1 施設・設備

(1) 施設

名 称	青森県立梵珠少年自然の家	
所 在 地	青森県五所川原市大字神山字殊ノ峰117-602	
設 置 年 月 日	昭和46年8月1日	
敷 地 面 積	6,514.42㎡	
建 物 面 積	2,196.35㎡	
構 造	鉄筋コンクリート2階建、体育館鉄骨平屋建	
収 容 人 員	160人	
屋 内 施 設	研 修 棟	研修室1 (60人)、研修室2 (60人)、和室、身体障害者用宿泊室兼医務室
	宿 泊 棟	宿泊室13 (14人用2室、12人用11室)、指導者室1 (5人用)
	体 育 館 (兼大研修室)	バレーボール (1面)、バスケットボール (1面)、バドミントン (2面)、卓球台 (4台)、研修 (160人)
屋 外 施 設	屋 外 施 設	キャンプセンター (120人)、キャンプ場、営火場、つどいの広場、星見の広場
	そ の 他	車庫

(2) 設備

視 聴 覚 用 具	液晶プロジェクター、ビデオデッキ、CDラジカセ、ポータブルアンテナ、テレビ、スクリーン
自 然 観 察 用 具	天体望遠鏡、双眼鏡等
野 外 活 動 用 具	スノーシュー、6人用ドームテント、タープテント、ロールマット、シュラフ、炊事用具一式、火起こし体験用具一式、無線機
レ ク リ エ ー シ ョ ン ス ポ ー ツ 等	バレーボール用具一式、バスケットボール用具、バドミントン用具一式、ユニホック用具一式、卓球用具一式、ディスクゴルフ用具、チャレンジ・ザ・ゲーム用具等

2 運営の方針と重点

(1) 方針

少年たちが、恵まれた自然の中で、多様な体験活動を行うことにより、豊かな感性、社会性、創造性等を培い、自ら学び、考え、行動する、社会を生き抜く力の養成が図れるよう諸条件を整備し、魅力ある活動の場や機会の提供に努めます。

(2) 重点

① 利用の促進

ア 主催事業の充実

- ・魅力あるプログラムの開発と提供
- ・ボランティアの養成と活用

イ 受入事業の促進

- ・多様な利用体系への対応
- ・幼稚園・保育園・社会教育団体の利用促進

② 支援体制の充実

ア 自然体験活動支援の充実

イ 指導者研修の充実

ウ ホームページ等による情報提供の充実

③ 活動プログラムの充実

ア 発達段階に対応した活動プログラムの開発

イ 自然環境を活用した活動プログラムの開発

ウ 郷土の素材を活用した活動プログラムの開発

④ 安全管理の徹底

ア 定期的な施設整備・活動エリアの安全点検の実施

イ 緊急時における適切な対応の徹底

ウ 給食における衛生管理の徹底

⑤ 施設設備の充実

ア 施設設備の保守と計画的な整備

イ 活動エリアの保守と整備

3 令和4年度主催事業の実績

看板事業

【趣 旨】

年長児から中学生まで幅広い年代の「子ども」を対象に、豊かな自然環境の中で行う野営・野外炊事などの様々な自然体験活動を通して、基本的な生活習慣の確立や仲間と協力しようとする態度を育てていく事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
年長すくすくキャンプ～おうちをはなれて大冒険～	7/9（土）～ 10（日）	年長児	14名	炊事体験、野外活動（森の冒険遊び、宝さがし）、館内テント泊、読み聞かせ、思い出クラフト（丸太メダル）
夏の7daysキャンプ～梵珠から西目屋へ 自転車と川下りで移動する真夏のチャレンジ！～	8/6（土）～ 12（金）	小学5年～中学3年の児童生徒	20名	自転車隊列移動、テント泊、野外炊事、りんごもぎ体験、花火大会、そば打ち体験、煎餅焼き体験、思い出クラフト（竹のフォトフレーム）
9歳チャレンジキャンプ～ひとりのできるぞ～	9/17（土）～ 19（月）	小学3年・4年の児童	24名	里山トレイル、ダンボール基地作り、野外活動（ディスクゴルフほか）、キャンドルサービス、炊事体験、思い出クラフト
冬の3daysキャンプ～かまくら基地をつくって冬を楽しもう～	1/13（金）～ 15（日）	小学4年～中学2年の児童生徒	25名	かまくら基地作り、野外活動（チューブそり、スノーシューハイク）、屋内活動（館内QRゲーム）、炊事体験、思い出クラフト（ぼんじゅ竹灯籠）
7歳ワンツーキャンプ～寒さに負けないぼんじゅキッズの冬遊び～	2/18（土）～ 19（日）	小学1年・2年の児童	20名	ぼんじゅスノーランド作り・遊び、炊事体験、思い出クラフト（松ぼっくりけん玉）

養成事業

【趣 旨】

当施設利用団体の引率者や高校生、大学生、青少年教育団体の関係者などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー、講座等の開催を通して、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
施設利用団体事前打合せ研修	(全体会) 4/19(火) (個別研修会) 利用日の 14日前ま で実施	令和4年度利用予定団体の引率者	(全体会) 42名	(全体会) 講義、説明、活動プログラム体験 ※宿泊体験あり (前日から希望者のみ)

<p>自然体験活動ほんじゅボランティアセミナー</p> <p>【必修】</p> <p>(1)入門セミナー (2)ふりかえりセミナー (3)実践レポート</p> <p>【選択】</p> <p>(4)年長すすくキャンプ (5)夏の7daysキャンプ (6)9歳チャレンジキャンプ (7)冬の3daysキャンプ (8)7歳ワンツーカーキャンプ</p>	<p>実施日は各事業を参照</p> <p>(1)5/21(土) (2)3/4(土)</p>	<p>高校生、大学生</p>	<p>(1)34名 (2)14名 (3)2名 (4)18名 (5)6名 (6)9名 (7)8名 (8)10名</p>	<p>自然体験活動ほんじゅボランティア入門セミナー対象事業の中から、興味関心や日程の都合に応じて参加し、梵珠少年自然の家ボランティアとして、自主企画の実践や子どもたちの活動を支援し、自己のスキルアップを図る。</p> <p>さらに、事後に企画及び運営に係るボランティアとしてのふりかえりを行い、次企画に向けた改善を図る。</p> <p>各事業は実施期間に応じて単位が付与されており、7単位以上取得した者は「ほんじゅマスターボランティア」、10単位以上取得した者は「指導補助員」としてそれぞれ認定する。</p> <p>【対象事業での活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管轄グループの活動支援、グループメンバーの体調管理及び安全管理 ・自主企画立案と運営 ・キャンプ等の野外活動における、基本的な知識や技術を習得するための研修や施設ボランティアとしての連携を深めるための実習など
<p>ほんじゅ出前講座</p>	<p>通年実施 【各回即日】 ※直接指導は11月～3月のみ対応</p>	<p>小・中学校、各種学校、青少年教育団体、幼児施設等</p>	<p>2,142名</p>	<p>団体が開催する各種行事（事業）に出向き、自然の家が提供するプログラムの実施における直接指導と助言を行う。直接指導及び助言とは、指導者への指導法等の伝達及び助言、児童生徒への直接指導、指導者研修会等での指導及び助言や実地指導である。</p> <p>また、過去に出前講座を実施した団体については、用具の貸し出しや創作材料の提供及び指導方法の伝達のみを行う「間接指導」の利用を積極的に勧めていく。</p> <p>活動プログラムは、自然の家ホームページにて「指導者養成～ほんじゅ出前講座～」プログラム一覧参照</p>

親子事業

【趣 旨】

小・中学生を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動を通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
春を楽しむサンday ～春の息吹を五感で感じよう～	4/29 (金・祝)	小・中学校の児童生徒を含む保護者とその家族	172名 (53家族)	野外活動「春の自然観察」、野外炊事「春のホットサンド」、創作活動「バードコール」
ファミリーキャンプ ～家族で初めてのキャンプ体験をしてみませんか～	7/23(土) ～24(日)		77名 (23家族)	テント泊、野外炊事(ダッチオープン料理、スキレット料理)、フリータイム①～昼の部、フリータイム②～夜の部、創作活動(森のタバストリー)
自然体験ほんじゅフェスタ～学・創・食・遊の体験ブースで梵珠の秋を満喫しよう～	10/23(日)		165名 (47家族)	ダッチオープン体験、ホットサンドメーカー体験、BBQコンロ体験、たき火・火起こし体験、本格リースづくり体験、創作プログラム体験、遊びリンピック、自然ふれあいハイク、館内食体験、セルフカフェ
冬をいろどるクラフトday～クリスマス・お正月飾りを親子でつくろう～	12/11(日)		105名 (32家族)	クラフト①「ミニ門松」 クラフト②「森の羽子板」 クラフト③「クリスマスフォトフレーム」 クラフト④「クリスマスきになる木」 ※その他、昼食提供やセルフカフェの開設あり
冬を楽しむホワイトday～親子で白銀の世界へとびだそう～	2/5(日)		115名 (31家族)	野外活動①(ミニ雪灯籠作りなど選択活動)、館内炊事、野外活動②(チューブそり遊びなど自由活動)

2節 種差少年自然の家

1 施設・設備

(1) 施設

名 称	青森県立種差少年自然の家	
所 在 地	青森県八戸市大字鮫町字膳並平2-26	
設 置 年 月 日	昭和50年12月1日	
敷 地 面 積	65,976.73㎡	
建 物 面 積	3,487.71㎡	
構 造	鉄筋コンクリート2階建 但し体育館棟鉄骨平屋建	
収 容 人 員	200人	
屋内施設	研 修 棟	統括室、事務室、会議室、医務室、食堂、ホール、大ホール（大研修室、200人）、小ホール（小研修室、50人）、自然観察室（50人）
	宿 泊 棟	宿泊室26（車椅子利用者対応3人用2室、8人用24室）、リーダー室（2、和室）、浴室2、トイレ4、車椅子利用者対応トイレ1
	プレーホール（体育館）	バレーボール（1面）、バドミントン（2面）648.90㎡ 移動式バスケットゴール2
屋外施設	屋 外 施 設	キャンプセンター、炊事場、営火場（2）、うどんう広場、トイレ
	そ の 他	つどいの広場、あそびの広場、なかよし広場、自然観察林、常設テント（13張、5～10月）電気室、車庫、ライフジャケット乾燥室、活動資材置場、倉庫

(2) 設備

視 聴 覚 用 具	C Dプレーヤー、MDプレーヤー、液晶プロジェクター、デジタルカメラ、ポータブルワイヤレスアンプ、実物投影機
自 然 観 察 用 具	顕微鏡、双眼実体顕微鏡、天体望遠鏡、双眼鏡、星座早見盤、クリノメーター、磯の生物観察用具、野山の生物観察用具、魚釣り用具、救命胴衣、懐中電灯、フィールドスコープ
体 育 用 具	卓球台、バレーボール用具、バドミントン用具、肋木、グラウンドゴルフ用具、デジタルタイマー
野 外 活 動 用 具	放送機、簡易無線機、テント、シュラフ、炊事用具
レクリエーション ス ポ ー ツ 等	ソフトバレーボール用具一式、バドミントン用具一式、卓球用具一式、フリスビーゴルフ用具、昔遊び用具、ノルディックポール、フロアカーリング、キンボルススポーツ用具一式、室内用ベタンク2セット、ヒットだターゲット、パッゴ、モルック2、ミニモルック1、卓球バレー2

2 運営の方針と重点

(1) 基本方針

少年たちが、豊かな自然の中でのびのびと体験活動をすることにより、自然と人間のかかわりを理解しながら、生きる力を養うことをめざす。

(2) 重点事項

- ① 利用団体の主体的活動を促進するために、引率指導者との連携強化を図る。
- ② 活動プログラムの開発と見直しを推進する。
- ③ 主催事業及び自主事業の充実を図る。
- ④ 教育環境整備と安全確保に努める。
- ⑤ 学校・地域・教育関係団体・民間団体との連携強化を図る。
- ⑥ 学校・教育機関・団体・報道機関等への資料提供と積極的な広報活動に努め、利用の促進を図る。
- ⑦ 職員研修の充実を図る。

3 令和4年度事業の実績

種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、子どもの祭典）

【趣 旨】

年長児・小・中学生が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

【概 要】

(1) 自然と遊ぼう

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/15 (日)	年長児・ 小・中学 生とその 保護者	109名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他
たねさしワールド 「エンジョイ！ 海遊び」①②③④ ※4回開催	7/2 (土)		117名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラ フト作り、磯遊び 他 ・7/9、10は降雨のため、館内活動
	7/3 (日)		120名	
	7/9 (土)		98名	
	7/10 (日)		106名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/16 (日)	121名	秋の自然を楽しもう ・ツリークライミング、ネイチャー ゲーム 年輪アクセサリーづくり 他	
たねさしワールド 「冬の季節を感じて」 ※2回開催	12/3 (土)	50名	創作しめ飾り、門松を作ろう ・ミニしめ飾り ・ミニ門松	
	12/4 (日)	68名		
たねさしワールド 「エンジョイ！ 雪遊び」①② ※2回開催	2/4 (土)	4歳以上 の幼保・ 小・中学 生とその 保護者	107名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりすべ り、ぐにゃぐにゃ風揚げ、ニュー スポーツ、シュリンクシートの キーホルダー 他
	2/5 (日)	92名		
たねさしワールド 「こども大作戦」①② ※2回開催	2/25 (土) ～26 (日)	小学3年 ～4年	136名	子どもだけでとまってみよう ・仲間づくり、レクリエーション、 夜の森探検、創作活動 他
	3/4 (土) ～5 (日)	小学1年 ～2年	142名	

(2) 子どもの祭典

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
おいでよ！ サマーキャンプA	7/27 (水) ～28 (木)	小学5年 ～ 中学3年	27名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ナイトハイク ・山や海での活動 他
おいでよ！ サマーキャンプB	8/5 (金) ～6 (土)		32名	
わくわくどきどきウイ ンターキャンプ	12/24 (土) ～26 (月)		32名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ウォークラリー 他

自然体験活動支援事業

【趣 旨】

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、子どもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

【概 要】

事業名	期 日	対 象	参加者数	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10月～3月 *6月～9月 は原則として 実施なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童 館、公民館、放課後 児童クラブ、青少年 団体や成人団体 等	159団体 10,778人	・種差少年自然の家のプログラムの 中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、 どんぐりアート、動物マグネット、 竹とんぼ、たねさしアロマアート 他)
自然体験活動 研修会	5/28(土) ～29(日)	幼保・小・中学校教 員、高校・大学生、 児童館など関係機 関の指導者、その他 自然体験活動に興 味のある方	12名	・野外炊事や創作活動等のプログラ ムの実習 ・アドベンチャーゲーム、ウォーク ラリー、野外炊事、キャンプファイ ヤー、いかだ活動、磯遊び、救 助訓練、AED操作法 他

在学少年宿泊指導者研修

【趣 旨】

種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

- 期日：4/18(月)～19(火)
- 場所：種差少年自然の家
- 対象：令和4年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

【概 要】

- 講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方
- 実習：活動プログラムの実習（野外、自然、創作活動、夜の活動）、施設等の利用方法
- 演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

親子で学ぶ防災キャンプ事業

【趣 旨】

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中学生とその家族及び小・中学校の教員を対象に行う研修事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
「親子の絆」 防災キャンプ	9/24(土) ～25(日)	小・中学生と保護 者、小・中学校の 教員	14家族 44名	親子キャンプで防災力、減災力を身に 付けよう ・避難所体験 ・非常食の炊事体験 ・AED講習 ・防災グッズ作り 他

3章 青森県総合社会教育センター

1 施設・設備

(1) 施設

所在地	青森市荒川字藤戸119-7
設置年月日	平成元年7月1日
敷地面積	16,815㎡
建物延床面積	7,053㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階
研修室	大研修室、第1研修室～第10研修室
実習室	和室、調理実習室、第1工作室、第2工作室、教材編集室、第1多目的研修室、第2多目的研修室、第1教材開発室、第2教材開発室、第3教材開発室
その他	ラーニングスペース、学習情報サービス室、学習相談室、保健室、ほのぼののルーム、団体連絡室、情報処理室、視聴覚ライブラリー

(2) 設備(主なもの)

学習情報サービス室(ありず)	ビデオ教材、DVD教材、インターネット端末
教材編集室	モニターテレビ、編集・調整機器一式、編集用パソコン、βカムVTR編集機、デジタルビデオ編集機、ダビング装置一式
第1教材開発室	プロジェクター、VTR、実物提示装置、モニターテレビ、DVDプレイヤー
第10研修室	パーソナルコンピュータ、プリンタ、サーバー
視聴覚ライブラリー	16ミリ映写機、スライド映写機、モニターテレビ、16ミリフィルム教材
共用機器	テレビ、VTR、OHP、ビデオプロジェクター、アンプ、DVDプレイヤー、DVDレコーダー、ブルーレイプレイヤー、ブルーレイレコーダー
情報処理室	データベースサーバー、Webサーバー、ゲートウェイサーバー、ファイルサーバー、プリンタ、パーソナルコンピュータ
第1工作室	糸のこ盤、グラインダー、木工具
第2工作室	金工具、土練機、ろくろ

2 運営の方針と重点

青森県総合社会教育センターは、社会教育の充実振興を図り、県民の生涯にわたる学習意欲の高揚と学習活動の進展に資するため、市町村及び関係機関・団体と連携しながら、次の事業を総合的に実施する。

- (1) **人 財 育 成**
地域を支える人財の育成
次代を担う青少年の育成
- (2) **教育活動支援**
地域学校協働活動の促進
家庭教育支援の充実
地域によるキャリア教育支援の充実
- (3) **市町村・団体支援**
生涯学習・社会教育関係職員等の養成と資質向上
学習情報等の充実
- (4) **生涯学習活動支援**
県民の学習活動への支援
県民の社会参加活動への支援
- (5) **施設提供**
研修施設・視聴覚機材の提供

3 事業内容

(1) 概 況

センターは、人財育成、教育活動支援、市町村・団体支援、生涯学習活動支援の4区分により事業を実施した。

人財育成は、地域を支える人財や次代を担う青少年を育成するため、受講者の実践活動を含め専門的・実践的な研修を行った。

教育活動支援は、家庭や地域の教育力の向上を図るため、地域づくりや家庭教育支援の人財育成に関する専門的・実践的な研修を行った。

市町村・団体支援は、生涯学習・社会教育関係職員の資質向上及び社会参加活動を推進するため、生涯学習・社会教育に関する専門的な研修や社会参加活動支援機関の研修と情報交換を行った。

生涯学習活動支援は、県民の学習活動や社会参加活動を支援するため、生涯学習に関する情報提供、学習相談を行うとともに、今日的課題や生涯の各時期における課題に対応した学習講座を行った。

(2) 相 談 状 況

① 生涯学習相談

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数(計)		3	10	8	3	6	2	1	2	2	3	2	4	46
相談者	個人	1	7	6	2	2	2	1	2	2	3	2	4	34
	機関	2	1		1	4								8
	団体		2	2										4
形態	窓口	1	5	4	1	2	1	1	2	2	2	1	3	25
	電話	2	5	2	2	4	1				1	1	1	19
	FAX													0
	郵便													0
	Eメールその他			2										2
分野別	人材	1	2	1							2	1	2	9
	学習機会		4	7	1	1				2				15
	施設													0
	教材												1	1
	学習プログラム	1	1											2
	団体サークル													0
	資格													0
	調査研究				1									
活動その他					1	1								2
	1	3		1	4	1		1	2		1	1	1	16

分類別

	個人 34					機関 8					団体 4					総計 46							
	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール その他	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール その他	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール その他	窓 口	電 話	F A X	郵 便	E メ ール その他			
計	23	10	0	0	1	0	8	0	0	0	2	1	0	0	1	0	25	19	0	0	2	0	46
人材	6					1					1				1	7	1	0	0	1	0	9	
学習機会	7	5			1		1				1					8	6	0	0	1	0	15	
施設																0	0	0	0	0	0	0	
教材	1														1	0	0	0	0	0	0	1	
学習プログラム	1					1									1	1	0	0	0	0	0	2	
団体サークル															0	0	0	0	0	0	0	0	
資格															0	0	0	0	0	0	0	0	
調査研究						1									0	1	0	0	0	0	0	1	
活動	2														2	0	0	0	0	0	0	2	
その他	6	5				4					1				6	10	0	0	0	0	0	16	

② 家庭教育相談

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計			
電話・メール別		電話	メール	電話	メール	電話	メール	電話	メール	電話	メール	電話	メール	電話	メール	面談	合計
来所面談		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	18	0	48
月別計		3	7	6	1	4	2	5	6	4	3	3	4				
相談者	父							1						2	0		2
	母	1	2	3	1	2	4	1	3	1	1	1	1	23	18		41
	祖父													1	0		1
対象	本人			1										4	0		4
	その他			2					1					0	0		0
	乳幼児		2	2		1				1	2	1	1	8	3		11
対象	小1					1					1	1	1	2	3		5
	小2									3				1	0		1
	小3													1	0		1
	小4				1					1				1	0		1
	小5					1								1	0		1
	小6	1									1	1	1	4	0		4
	中1		2											1	2		3
	中2									1				1	0		1
	中3								1					1	0		1
	高1			2				1	2	1				6	0		6
対象	高2							2				1		1	2		3
	高3				1	4		1	1					0	7		7
	その他(一般)		2										1	3	0		3
食事	1 母乳・ミルク										1			0	1		1
	2 食事・離乳食						1							1	0		1
発達	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		2
	3 身体													0	0		0
	4 と													0	0		0
	5 性格													0	0		0
	6 行動	1	1	1						1		2		5	1		6
	7 発達障害											1		1	1		2
	8 その他												1	1	0		0
	計	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1
養育・しつけ	9 しつけ・習慣		1						1	2		1		2	3		5
	10 睡眠													0	0		0
	11 排泄													0	0		0
疾病等	12 その他													0	0		0
	計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		0
	13 疾病・異常													0	0		0
	14 け													0	0		0
対人関係	15 予防接種													0	0		0
	16 その他(関係機関問合せ)								1					1	0		1
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		1
	17 友達										1			1	0		1
対人関係	18 家族				4		1	1					0	6		6	
	19 教師												0	0		0	
	20 その他												0	0		0	
	計	0	0	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	1	6		7
問題行動	21 いじめ						1		1				2	0		2	
	22 虐待												0	0		0	
	23 不慮(引きこもり等)												0	0		0	
	24 不登校			1		1					1	1	1	4	1		5
	25 非行・暴力								1					1	0		1
	26 反抗		2											0	2		2
	27 その他							1	1					2	0		2
計	0	2	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	9	3		12	
学習・進路	28 態度									1			1	0		1	
	29 不振								2				0	2		2	
	30 勉強												0	0		0	
	31 進学												0	0		0	
	32 就職												0	0		0	
性	33 その他		2										2	0		2	
	計	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2		5
	34 男女交際													0	0		0
心	35 性について												0	0		0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	36 情緒不安定												0	0		0	
	37 神経症的反応												0	0		0	
その他	38 心身症状												0	0		0	
	39 その他												0	0		0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	40 園・学校等への要望				1								1	2	0		2
	41 相談者自身(一般)		2								1	1		3	1		4
	42 問い合わせ													0	0		0
	43 その他				1									2	0		2
計	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	7	1		8	

4 施設利用状況

	研修室等利用								学習情報サービス室 (あります)		ロビー (ラウンジスペース)	総計	累計
	主催事業		個人		団体利用		計						
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	人員	
4月	129	6	20	2	2,745	19	2,894	19	493	19	0	3,387	3,387
5月	240	12	46	5	2,678	26	2,964	26	763	30	0	3,727	7,114
6月	245	10	32	4	3,842	28	4,119	29	1,153	29	476	5,748	12,862
7月	232	14	30	5	3,238	31	3,500	31	1,272	30	540	5,312	18,174
8月	193	9	46	5	1,929	26	2,168	28	1,185	30	473	3,826	22,000
9月	169	9	46	6	2,497	28	2,712	29	1,232	29	540	4,484	26,484
10月	635	11	49	4	2,648	30	3,332	31	1,062	30	481	4,875	31,359
11月	166	9	32	3	3,726	29	3,924	29	1,335	29	451	5,710	37,069
12月	116	10	60	6	3,376	27	3,552	27	932	27	188	4,672	41,741
1月	56	6	0	0	2,088	24	2,144	24	980	27	466	3,590	45,331
2月	607	9	55	4	3,048	26	3,710	26	1,035	27	450	5,195	50,526
3月	122	5	68	6	1,956	28	2,146	28	1,102	30	427	3,675	54,201
合計	2,910	110	484	50	33,771	322	37,165	327	12,544	337	4,492	54,201	
(昨年度)	(2,164)	(99)	(251)	(18)	(21,311)	(225)	(23,726)	(235)	(11,882)	(250)	(6,338)	(41,946)	

団体利用内訳

	団体利用		内 訳										民間団体			
			社会教育 団 体		学校教育 団 体		学校		大学等		モデル 団体等				公共団体	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数		
4月	2,745	19	762	14	1,054	12	0	0	0	0	0	0	430	7	499	8
5月	2,678	26	953	20	1,176	18	60	1	0	0	0	0	295	6	194	26
6月	3,842	28	803	23	1,481	22	124	2	0	0	25	2	719	15	690	13
7月	3,238	31	870	23	722	15	20	1	0	0	36	1	830	19	760	21
8月	1,929	26	394	12	686	14	17	1	0	0	76	2	578	12	178	9
9月	2,497	28	562	21	765	13	8	1	0	0	30	1	678	12	454	17
10月	2,648	30	819	18	365	11	0	0	20	1	50	1	574	16	820	18
11月	3,726	29	1,494	23	746	15	22	1	0	0	65	4	996	16	403	13
12月	3,376	27	842	17	905	15	0	0	0	0	80	1	1,174	23	375	27
1月	2,088	24	429	15	484	13	0	0	0	0	0	0	807	11	368	10
2月	3,048	26	1,020	18	634	13	0	0	0	0	60	1	814	16	520	20
3月	1,956	28	1,026	18	94	7	0	0	0	0	0	0	151	6	685	14
合計	33,771	322	9,974	222	9,112	168	251	7	20	1	422	13	8,046	159	5,946	196
(昨年度)	(21,311)	(225)	(5,871)	(157)	(6,003)	(125)	(146)	(6)	(35)	(1)	(105)	(6)	(4,947)	(93)	(4,204)	(117)

5 令和4年度主催事業の実績

(1) 人 財 育 成

① 地域を支える人財の育成

パワフルAOMORI！創造塾

【趣 旨】

新たな地域活動者の発掘・育成を行うとともに、仲間づくりの促進やネットワークの形成・強化、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成する事業である。

【概 要】

(1) 講座内容

回	期日	内容・講師等
1	7/23(土)	「出会う」 【開 講 式】 【講義・演習】「連携協働により地域をつくる」 講師 ヴィジョンリーパワー株式会社 代表取締役 戸田 達昭
2	8/20(土)	「見つめる」 【講義・演習】「地域活動に必要な条件整備」 講師 sannohe yell 代表 五十嵐 淳 【事 例 発 表】「パワフルAOMORI！創造塾から得たもの」 発表者 第29期卒業生 佐藤 智絵 第30、33期卒業生 高階 智晴 【実 践 活 動】「実践活動の実施に向けての話し合い」
3	9/17(土)	「広げる」 【講義・演習】「『オンライン』何をどう活用する？」 講師 NPO法人あおもりIT活用サポートセンター理事 デーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子 【実 践 活 動】「実践活動の実施に向けての話し合い」
4	10/1(土)	「試みる」 【実 践 活 動】「生涯学習フェア2022における実践活動」
5	10/29(土)	「深める」 【講義・演習】「人を巻き込み、場面を掴め」 講師 ものがたり法人FireWorks 代表取締役 林 弘樹
6	12/3(土)	「伝える」 【演 習】「アクションプラン発表会」 講師者 NPO法人ACTY 理事長 株式会社ACプロモート 代表取締役 町田 直子 【閉 講 式】

(2) 場所

県総合社会教育センター

(3) 参加者

塾生21名

内訳：(年代別) 20代9名、30代6名、40代5名、50代1名

(地域別) 東青地域9名、西北地域5名、中南地域3名、上北地域2名、三八地域2名

(職種別) 会社員3名、自営業2名、団体職員3名、小・中学校教員2名、県職員1名、

市町村職員(地域おこし協力隊含む) 10名

元気青森人を創造するeラーニング推進事業

【趣 旨】

県民の誰もが、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べるeラーニング教材を配信するため、各種学習教材の管理を行うとともに、配信に要するサーバ機器等を維持管理する事業である。

【概 要】

- (1) インターネットによる学習教材の配信 (eラーニング)
 - ア 元気青森人PowerUpコンテンツ 計 92本 (アクセス件数: 1,369件)
 - (ア) はたらく心 92本
 - イ あおもり学インターネット講座 計 21本 (アクセス件数: 3,471件)
 - (ア) あおもりエトセトラ 6本
 - (イ) 青森県の先人 1本
 - (ウ) 青森県の山 7本
 - (エ) わがふるさと 7本
 - ウ あおもり子育てネット 計 34本 (アクセス件数: 15,449件)
 - (ア) 子育て動画 34本
- (2) サーバ機器等維持管理
- (3) センターホームページ再構築

② 次代を担う青少年の育成

青森で生きる未来人財育成事業

【趣 旨】

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を地域で行われる子どものための活動に派遣して異年齢交流を図る事業である。

【概 要】

(1) ボランティアチーム養成講座の実施

異年齢交流実施のため、ボランティアやコミュニケーションについて扱う講座を実施。

	実施日時	内容・講師	受講者数	動画再生回数
第1回	5/29(日) 14:00～15:00	「ボランティアを考える」 八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 学科長 吉田 守実	143名	306回
第2回	6/12(日) 14:00～15:00	「異年齢交流」 NPO法人日本人財発掘育成協会 理事長 坂本 徹	146名	242回
第3回	6/26(日) 14:00～15:00	「コミュニケーションについて学ぶ」 青森教育カウンセラー協会 理事 尾崎 洋子	61名	278回
第4回	7/10(日) 14:00～15:00	「実践！ボランティア活動」 日本赤十字社青森県支部 主事 岩井 雄太郎	77名	182回
第5回	7/31(日) 14:00～15:00	「実践！レクリエーション」 青森市レクリエーション協会 会長 塩谷 彰宏	66名	127回

※受講者数は、講義視聴後アンケートを提出した者をさす。

(2) ボランティアチーム員の派遣

	派遣日	市町村	活動名	活動内容	派遣人数
1	6/3(金)	五戸町	子どもあそびの広場	小学生と工作活動	1名
2	8/18(木) 19(金)	弘前市	東部児童センター	小学生と交流活動	のべ2名
3	9/18(日)	弘前市	キッズハローワーク	お仕事体験の手伝い	2名
4	9/25(日)	八戸市	はちのへホコテン	魚釣り遊びの担当	2名
5	10/2(日)	五所川原市	すてっぷ子ども教室	小学生と一緒に運動	1名
6	10/9(日)	五所川原市	family café あづま〜る	子育てサロンの手伝い	2名
7	10/15(土)	青森市	県総合社会教育センター	映画鑑賞会の手伝い	2名
8	10/16(日)	青森市	青森献血ルーム	献血のボラティア	3名
9	10/29(土)	弘前市	キッズハローワーク	お仕事体験の手伝い	1名
10	11/20(日)	八戸市	こどもはっちミニフェス	魚釣り遊びの担当	2名
11	11/23(水)	青森市	子どもクッキング	クッキングの補助	1名
12	1/11(水)	弘前市	キッズハローワーク	カレー作りの補助	1名

大学生とカタル！キャリアサポート形成事業
【趣 旨】

規定の研修を修了した大学生が自身の体験談や生徒と直接対話するワークショッププログラムを企画・運営し、中学生・高校生には、今と将来の自分について考え、向き合う機会とすることで、互いに自らの夢や目標に向かう主体性が育まれるよう促し、キャリア形成を図る事業である。

【概 要】

- (1) 中学生及び高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つめ直しにつながる、大学生ワークショップ「キャリアサポ」（高校企画）、「J r.キャリアサポ」（中学校企画）の実施
- ア 実施校数 18校（高等学校17校、中学校1校）
- イ 参加生徒数 2,043名（高校生1,990名、中学生53名）
- ウ 延べ参加大学生数 723名

No.	期日	実施校	対象中学生・対象高校生	参加大学生
1	6/11(土)	県立弘前南高等学校	1学年(6クラス221名)	63名
2	8/19(金)	県立鶴田高等学校	3学年(2クラス29名)	24名
3	8/25(木)	県立三本木農業恵拓高等学校	1・2学年(5クラス138名)	46名
4	8/26(金)	県立六ヶ所高等学校	1・2学年(3クラス63名)	30名
5	8/29(月)	県立大湊高等学校	1学年(4クラス130名)	49名
6	8/30(火)	県立浪岡高等学校	1学年(1クラス26名)	23名
7	9/2(金)	県立大間高等学校	1・2学年(4クラス70名)	32名
8	9/5(月)	県立黒石高等学校	1学年(5クラス182名)	65名
9	9/7(水)	県立百石高等学校	1学年(3クラス100名)	43名
10	9/9(金)	県立青森南高等学校	2学年(5クラス158名)	60名

No.	期日	実施校	対象中学生・対象高校生	参加大学生
11	9/13(火)	十和田市立十和田中学校	3学年(2クラス53名)	23名
12	9/14(水)	県立七戸高等学校	1学年(3クラス101名)	38名
13	11/19(土)	県立北斗高等学校	中間年次(8クラス106名)	38名
14	2/15(水)	八戸工業大学第二高等学校	1学年(9クラス200名)	46名
15	2/16(木)	柴田学園高等学校	1学年(5クラス128名)	42名
16	2/17(金)	五所川原商業高等学校	2学年(3クラス68名)	24名
17	3/2(木)	県立青森中央高等学校	1学年(5クラス196名)	48名
18	3/3(金)	県立柏木農業高等学校	2学年(4クラス74名)	29名

(2) オンラインワークショップの実施

ア オンライン企画 11/26(土) 参加大学生31名

※全員がオンラインで参加

(3) キャリア形成の支援

ア 大学生会議 4回(5/1(日)、7/10(日)、12/11(日)、3/10(金))

イ 進路指導関係者研修会(11/11(金)) 参加者 14校 14名(高校生スキルアッププログラムと共催)

講演 「地域と協働して探究的な学びを実現するために必要な3つのこと」

講師 岩手県大槌町教育専門官、認定NPO法人カタリバディレクター

菅野 祐太

事例紹介 発表者 県立七戸高等学校 実習教諭 橘 百代

発表者 県立大間高等学校 臨時講師 沢田 茉央

ウ 大学生対象研修会の開催

○基本研修(計6回) 受講者数 143名

○ワークショップ演習(計6回) 受講者数 147名

○中学校対応研修(計3回) 受講者数 23名

○応用研修(計4回) 受講者数 23名

高校生スキルアッププログラム推進事業

【趣 旨】

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

【概 要】

(1) 高校生スキルアッププログラム(スキルアップ認定証・奨励証の交付)の運営

(2) 進路指導関係者研修会の実施

「進路指導関係者研修会」の開催(大学生とカタリ!キャリア形成サポート事業と共催)

ア 期日:11/11(金)

イ 場所:県総合社会教育センター

ウ 対象:県内高等学校教員及び高校生スキルアッププログラム担当者、参加を希望する高等学校教員

エ 参加者：14校14名

オ 事業説明・情報交換：県総合社会教育センター職員

(3) 評価サービス

参加校・参加生徒数・奨励証および認定証交付者数

地区	参加校数	参加生徒数	認定証交付者数	奨励証交付者数
東青	8校	667名	6名	28名
西北	3校	448名	0名	0名
中南	3校	172名	2名	5名
上北	3校	40名	13名	4名
下北	3校	1,131名	3名	2名
三八	6校	1,966名	11名	21名
合計	26校	4,424名	35名	60名

(4) 県民カレッジとの連携

事業連携によるあおり県民カレッジ新規入学者数 2,251名

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業

【趣 旨】

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組むための方策の研究を目的として、高校生・大学生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

【概 要】

- (1) 団体募集（高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体）
- (2) 団体の指定

【社会参加活動モデル団体】

	団体名	校種	主な活動内容	メンバー数
1	キャリアサポートクラブコンソーシアム（キャリアサポ連合）	大学	・「大学生とカタル！キャリア形成サポート事業」へのボランティア参加 ・スキル向上イベントの企画 ・県内大学生参加交流会の企画	622名
2	学生団体LINDEAL	高校	・青森県中高生向けの無料イベントの企画、開催 ・SNSで課外活動等の情報発信 ・学生のプラットフォームとして機能	7名
3	L e s t a（レスタ）	高校 大学	・異年齢交流活動の企画、運営 ・小中学生対象の学習支援 ・発達障害等についての研修	20名

【創作活動モデル団体】

	団体名	校種	主な活動内容	メンバー数
1	確原色	高校	青森市内高校生を主体とした合同文化イベントの企画・発表	12名

(3) 団体の活動に対する支援

- ア 研修室等使用料の減免
- イ 運営会議・研修・作業等での教材開発室の使用承認
- ウ 発表の場の提供（生涯学習フェア等）
- エ 情報発信用の専用掲示スペースの設置
- オ 所報「響」やHP等での活動状況の紹介
- カ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス
- キ 地域活動団体、創作活動団体、教育活動団体等との連携に関する連絡調整
- ク 協力名義使用の承認（「協力 青森県総合社会教育センター」など）

(2) 教育活動支援

① 地域学校協働活動の促進

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座

【趣 旨】

学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」について理解を深め、その実現に向けて学校・家庭・地域が『チーム』として連携することを目的として、“未来の学校づくり・人づくり”に取り組む目的と重要性を共有し、具現化するための実践的な研修を行う事業である。

【概 要】

- (1) 期日：11/17（木）
- (2) 場所：県総合社会教育センター
- (3) 対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員等、地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員
- (4) 受講者数：41名
- (5) 事業内容
 - ア 講義：「学校から見たコミュニティ・スクールの成果」
講師 CSマイスター 由利本荘市立西目中学校 校長 高野 睦
 - イ 演習：「目的を共有するための“熟議”」（グループワーク）
ナビゲーター CSマイスター 由利本荘市立西目中学校 校長 高野 睦

② 家庭教育支援の充実

あおり家庭教育力向上事業

【趣 旨】

地域における家庭教育支援体制を整備することを目的として、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人財を「あおり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣する事業である。

【概 要】

- (1) あおり家庭教育アドバイザー養成講座
 - ア 場所：県内2地区 上北地区（三沢市国際交流教育センター）
西北地区（つがる市生涯学習交流センター「松の館」）
 - イ 回数：両地区6回
 - ウ 受講者数（1回以上の受講者数）：34名（上北地区20名、西北地区14名）

エ あおもり家庭教育アドバイザー登録者：17名（上北地区8名、西北地区9名）

オ 内容：家庭教育支援講座・演習（全6回：6～11月）

回	開催地区 開催日	内 容
1	上北地区 6/9(木)	講義 「家庭教育支援者の心構え」 講師 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事 平間 恵美
	西北地区 6/21(火)	講義 「家庭教育支援者の心構え」 講師 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事 平間 恵美
2	上北地区 7/7(木)	講義 「子どもをもつ親の気持ち」 講師 青森県八戸児童相談所 こども相談第二課 課長 山田 憲子 演習 「あおもり親楽プログラムⅠ」 進行 県総合社会教育センター職員
	西北地区 7/21(木)	講義 「子どもをもつ親の気持ち」 講師 青森県八戸児童相談所 こども相談第二課 課長 山田 憲子 演習 「あおもり親楽プログラムⅠ」 進行 県総合社会教育センター職員
3	上北地区 8/25(木)	講義・演習 「家庭教育支援チーム・子育て団体等参観」 講師 特定非営利法人十和田NPO子どもセンター ハビタの 代表理事 中沢 洋子
	西北地区 8/27(土)	講義・演習 「家庭教育支援チーム・子育て団体等参観」 講師 特定非営利法人子どもネットワーク すてっぷ 代表理事 奈良 陽子
4	上北地区 9/5(月)	講義 「子どもの気持ちを理解するために」 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 准教授 高橋 多恵子 演習 「あおもり親楽プログラムⅡ」 進行 県総合社会教育センター職員
	西北地区 9/7(水)	講義 「子どもの気持ちを理解するために」 講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科 准教授 高橋 多恵子 演習 「あおもり親楽プログラムⅡ」 進行 県総合社会教育センター職員
5	上北地区 10/4(火)	講義 「今、親が悩むこと～食育～」 講師 柴田学園大学生生活創生学部 健康栄養学科 准教授 今村 麻里子 演習 「あおもり親楽プログラムⅢ」 進行 県総合社会教育センター職員
	西北地区 10/20(木)	講義 「今、親が悩むこと～食育～」 講師 柴田学園大学生生活創生学部 健康栄養学科 准教授 今村 麻里子 演習 「あおもり親楽プログラムⅢ」 進行 県総合社会教育センター職員

回	開催地区 開催日	内 容
6	上北地区 11/2(水)	演習 「あおり親楽プログラムⅣ」 進行 県総合社会教育センター職員
	西北地区 11/9(水)	演習 「あおり親楽プログラムⅣ」 進行 県総合社会教育センター職員

(2) あおり家庭教育アドバイザースキルアップ講座

ア 実施方法：あおり家庭教育アドバイザーを対象としたオンライン講座

イ 受講者数：第1回 9名 第2回 8名

ウ 内 容：今日的な家庭教育支援の現状について、講義・演習形式で学ぶ。

第1回 7/24(日) 9:30~12:15

講義「離乳食についてと幼児期の食と栄養」

講師 青森中央短期大学 食物栄養学科 准教授 森山 洋美

演習「あおり親楽プログラム」

進行役 あおり家庭教育アドバイザー 工藤 清子

第2回 9/17(土) 10:00~12:00

実践発表「県内の家庭教育支援の実践」

発表者 五戸町家庭教育支援チーム 五戸町家庭教育応援隊

代表 小宮 香

情報交換

(3) あおり親楽プログラム普及活動

「あおり親楽プログラム」を活用した研修会等に、あおり家庭教育アドバイザーを派遣する。

(4) あおり家庭教育アドバイザー登録情報の管理

(5) あおり家庭教育アドバイザーの活用

家庭教育支援動画制作普及事業

[趣 旨]

子育てに対する不安や悩みを解決する糸口とし、家庭教育の充実を図ることを目的として、子育て情報を動画により発信する事業である。

[概 要]

(1) 家庭教育支援動画制作普及委員会の設置

○委員

No.	氏 名	所 属 等
1	川 内 規 会	青森県立保健大学 教授
2	渡 部 泰 雄	青森県教育庁生涯学習課 課長
3	吉 田 圭 子	青森県子ども家庭支援センター 部長 (指定管理者 未来へつなぐネットあおもりグループ)
4	山 子 泰 典	青森県PTA連合会 会長
5	大 門 あすか	あおもり家庭教育アドバイザー

(2) 家庭教育支援動画制作普及委員会の開催

ア 6/7(火) 委託業者を審査・選定

イ 3/3(金) 次年度の動画制作に向けての意見交換

(3) 家庭教育支援動画及びあおもり子育てネットCMの制作(委託業者制作)

家庭教育の重要性を広く普及するため、以下の動画やCMを作成した。

ア マスクが子どもの発達に影響！?

イ 子育てで悩んだときは?

ウ ヤングケアラーの支援

エ お金の教育していますか?

オ ほめて育てるのススメ

カ 幼児期からの性教育

キ 「あおもり子育てネット」CM

(4) 家庭教育支援動画及びあおもり子育てネットCMの放映・配信

11月～1月の期間、RAB青森放送にて、土曜日13:55～14:00の時間帯で、全6話を放映した他、「あおもり子育てネット」CMを20回、番組宣伝用CMも適宜放映をした。

2月1日よりYouTubeへの配信を開始し、総合社会教育センターホームページにも反映した。YouTubeでの7秒間のCM広告では、2週間で21.2万回流し、広く普及・周知を行った。

(5) あおもり子育てネットのポスター・チラシの制作

あおもり子育てネットに関するポスター・チラシを制作し、県内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・特別支援学校、子育てに関する各関係機関、大型商業施設等へ11月下旬より順次発送し、周知した。

家庭教育相談事業

【趣 旨】

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

【概 要】

- (1) 対 象：乳幼児から高校生までの子をもつ保護者やその家族
- (2) 実施方法：電話相談 週3回 月・水・木曜日（祝日・年末年始を除く）13：00～16：00
メール相談 24時間受付
- (3) 場 所：県総合社会教育センター電話相談室
- (4) 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などの子どもに対する悩みや家庭教育全般について
- (5) 相談体制：家庭教育相談員、県総合社会教育センター教育活動支援課職員が対応
- (6) 相談件数：48件（電話相談30件、メール相談18件）

③ 地域によるキャリア教育支援の充実

地域の今と未来をつなぐ教育支援活動コーディネーター等研修

【趣 旨】

学校・家庭・地域が連携・協働して地域の子どもを育むことを目的として、学校と地域住民・企業・NPO・各種団体等をつなぐコーディネーター等のスキルアップ及び人財の拡充を図るための研修を行う事業である。

【概 要】

- (1) 学校と地域・企業等をつなぐコーディネーターのスキルアップ研修の実施
 - ア 期日・場所：下北地区 6/15（水） むつ市中央公民館 受講者20名
西北地区 6/16（木） 五所川原市中央公民館 受講者24名
 - イ 対象：教育支援活動推進員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員等
 - ウ 講師：特定非営利活動法人ハーベスト 代表理事 山崎 賢治
講演テーマ「多様な出会いの場を通じて、一人ひとりが主体性を伸ばせる、力強くしなやかな地域を創ろう」
- (2) 地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラムの開催
 - ア 期日：10/28（金）
 - イ 場所：県総合社会教育センター
 - ウ 対象：教育支援活動推進員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員、一般県民等
 - エ 内容：あおりキャリア教育応援企業の表彰式、青森県企画政策部地域活力振興課による情報提供、講演の3部構成
 - オ 講師：株式会社教育と探求社 代表取締役社長 宮地 勘司
講演テーマ「変化の激しい時代において、人の育ちに必要なのは何か」
 - カ 参加者：100名
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」の運営全般
 - ア 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営

- ・登録企業から報告された令和3年度実績の集計結果
出前授業：861件、職場見学：407件、職場体験・インターシップ：273件、その他427件
- イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録9社
- ・登録企業数：802社（令和5年3月現在）
- ウ 学校からの依頼に対する仲介 7件

(3) 市町村・団体支援

① 生涯学習・社会教育関係職員等の養成と資質向上

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

【趣 旨】

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

【概 要】

(1) センター研修（全6回）

	実施日	場 所	内 容	受講者
第1回	5/26(木) 10:00 ～15:00	県総合社会教育センター	講義「青森県の社会教育行政」 県生涯学習課・県総合社会教育センター職員 講義「社会教育概論」 八洲学園大学 教授 浅井 経子	20名
第2回	6/3(金) 10:00 ～15:00		発表「あおり家庭教育アドバイザーを活用した家庭教育支援の在り方」 県総合社会教育センター職員 講義「家庭教育支援の充実」 横浜創英大学 教授 中村 由美子	15名
第3回	7/26(火) 10:00 ～15:00		講義・演習「地域活動者のネットワークの構築」 弘前大学大学院 教授 内山 大史	10名
第4回	8/23(火) 10:00 ～15:00		発表「多様なニーズに応じた学びの機会の充実」 県総合社会教育センター職員 講義「生涯に渡って学ぶということ」 株式会社まちなかキャンパス 代表取締役 辻 正太	17名
第5回	9/28(水) 10:00 ～15:00		発表「私たちの取り組み」 令和3年度優良公民館受賞館等 講義「公民館事業を組み立てる」 弘前大学 准教授 越村 康英	37名
第6回	10/7(金) 10:00 ～15:00		演習「生涯学習のこれから」 講義「これからの生涯学習」 文教大学 准教授 青山 鉄兵	9名

(3) 地区研修

	実施日	場 所	内 容	受講者
東青	7/15(金) 13:00 ～16:00	県総合社会教育センター	講義・演習「ICTを活用した社会教育事業」 関東学院大学 教授 吉田 広毅	19名
西北	9/9(金) 13:30 ～16:10	五所川原市中央公民館	講義・演習「地域の特色を生かした魅力的な講座づくり」 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹	16名
中南	8/30(火) 13:30～ 16:00	平川市文化センター	講義・演習「家庭教育支援のために」 県総合社会教育センター職員 あおり家庭教育アドバイザー 工藤 貴子	31名
上北	5/20(金) 14:00 ～16:00	(オンデマンド型配信)	講義「活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成」 弘前大学 准教授 蒔田 純	動画再生回数 62回
下北	9/6(火) 13:30 ～16:00	むつ市中央公民館	講義・演習「事業の企画力の向上」 Mr.マサックこと工藤 貴正	18名
三八	9/26(月) 13:30 ～15:50	階上町道仏交流センター	講義「誰ひとり取り残されない社会の仕組みづくり」 ～子ども食堂の取り組みを通して～ 認定特定非営利活動法人 インクルいわて 理事長 山屋 理恵	24名

ボランティア関係機関職員養成講座

【趣 旨】

ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的として、本県の社会参加活動の推進及び充実に向けた対話・参加型のディスカッションを開催する事業である。

【概 要】

- (1) 「地域に求められるこれからのボランティア」をテーマとした講座の実施

ア 期 日：6/30(木) 13:00～15:30

イ 講 師：特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

副代表理事 青山 織衣

ウ 開催方法：オンライン受講、スクリーン会場による受講

エ 受講者数：オンライン受講105名、会場受講24名、計129名

- (2) 「気軽に始められるボランティア活動とは」をテーマとした講座の実施

ア 期 日：10/8(土) 10:00～12:00

イ 講 師：特定非営利活動法人SEEDS NETWORK 理事長 大西 晶子

ウ 開催方法：オンライン受講、会場受講

エ 受講者数：オンライン受講26名、会場受講6名、計32名

② 学習情報等の充実

学習情報の収集・提供事業

[趣 旨]

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、インターネットにより県民へ提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

[概 要]

(1) 学習情報の収集・提供

4情報（学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材）の収集・提供を行った。

・登録データ件数	学習機会情報	1,715件
	指導者人材情報	136件
	団体・サークル情報	144件
	視聴覚教材情報	6,156件
	計	8,151件

・ありすネットアクセス回数	学習機会情報	1,043回
	指導者人材情報	696回
	団体・サークル情報	693回
	視聴覚教材情報	486回
	計	2,918回

・ありすネット検索回数	学習機会情報	1,097回
	指導者人材情報	595回
	団体・サークル情報	540回
	視聴覚教材情報	272回
	計	2,504回

(2) サーバ・パソコン機器等維持管理

学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

青森県視聴覚ライブラリー運営事業

[趣 旨]

16mmフィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

[概 要]

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入 7本
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務 240本

(4) 生涯学習活動支援

① 県民の学習活動への支援

あおもり県民カレッジ運営業務

[趣 旨]

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

[概 要]

(1) あおもり県民カレッジの運営全般

ア 学生募集（ポスターやパンフレットの作成）

(ア) 各種講座・イベント・映画鑑賞会の開催時に募集

(イ) あおもり県民カレッジ&生涯学習情報紙「てのひら」、ホームページ活用による募集

イ 学生対応

(ア) 入学受付

(イ) あおもり県民カレッジ学生数 29,122名（新規2,442名）

・教養学習コース 24,764名（新規2,412名）

・子どもカレッジコース 4,358名（新規30名）

(ウ) 単位認定・評価サービス

・認定証交付数（教養学習コース 175名、子どもカレッジコース 75名）

・奨励賞交付数（教養学習コース 24名、子どもカレッジコース 21名）

※移行・退会の処理あり

ウ 学友会活動支援

エ あおもり県民カレッジ連携機関との関係強化

(ア) 連携機関登録団体に対し、協力関係の継続を依頼

連携機関数：574機関（体験施設120か所を含む）

(イ) 教育事務所訪問により、あおもり県民カレッジの取組について説明

(ウ) 講座開催における協力などを通して、関係強化を推進

(2) 普及啓発事業

ア (ア) 子ども向けイベント「夏休み子どもイベント2022」の開催（8/11（木・祝）実施）

参加者：42名

オープニング（青森大学三味線部による演奏）

マジックショー

ものづくり体験（①糸掛け曼荼羅②木工ペン立て から選択）

「冬のキッズフェア」の開催（2/11（土・祝）実施）

参加者：454名

オープニング（歌とダンス披露）

みんなが先生！ゼミナール

イグルーをつくろう

世界でたった一つの宝物をつくろう

冬こそ体を動かそう

おいしく食べて冬を乗り越えよう

- (イ) 生涯学習フェアの開催 (10/1 (土) 実施)
 - 参加者：150名
 - オープニング (市内高校生徒による手話コース)
 - 認定証交付式
 - 公開授業 (英語・国語)
 - 体験ブース (声優体験、フラワーアレンジメント、どんぐりごま他)
- イ 県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の制作発行 (年6回)
- ウ 映画鑑賞会開催 (毎月)
- エ ホームページによる情報提供
 - 地域キャンパス講座、ボランティア講師による自主講座、まなびサポーター募集等の情報掲載と更新 (https://www.manabi-aomori.com)
- (3) 学習相談・学習情報提供事業
 - ア 学習相談の実施
 - 窓口・電話・FAX・郵便・Eメールによる学習相談の受付件数 46件
 - イ 学習機会情報の収集及び提供
 - (ア) 学習機会情報登録件数1,733件
 - (イ) 連携機関に対し新たな講座情報登録を依頼
 - ウ A T V 「いきいき健やか事業」との連携などテレビ、ラジオを通して講座情報や県民カレッジPRを放送
- (4) 学習機会提供事業
 - ア 地域キャンパス講座 (県内6地区) 開催
 - (ア) 開催数：35講座 (内訳：東青7、西北10、中南6、上北2、下北5、三八5)
 - (イ) 受講者数 延べ864名
 - イ 社会参加活動支援
 - (ア) ボランティア講師登録の奨励と自主講座の開催
 - ※講師登録数 124名
 - ※講座数 63講座 受講者数 延べ514名
 - (イ) ボランティア活動証明書の発行：91件
 - (ウ) 各種講座やイベントにおける運営ボランティアの活用
 - 活動者数：延べ65名
 - (エ) まなびサポーターの募集

② 県民の社会参加活動への支援

インフォメーションプラザありすの運営

【趣 旨】

インフォメーションプラザありす（学習情報サービス室）は、生涯学習に関する総合窓口であり、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービスを行う事業である。

【概 要】

- (1) 窓口対応時間 9：00～19：00
- (2) 視聴覚教材貸出サービス
- (3) ラーニング・スペース、自主学習室の管理
- (4) ポスター、チラシの配架
- (5) 各種講座、イベント等の学習成果の展示
 - ア 2F展示スペース（「画伯のたまご」、ギャラリーありす、コリドー展示室）、1Fロビーへの作品展示
 - イ 季節ごとの館内装飾と展示
- (6) コロナ禍においての座席の配置換えや消毒作業の実施

4章 青森県総合学校教育センター

1 施設・設備

所在地 青森市大字大矢沢字野田80-2

敷地面積 40,000㎡ 建物敷地 11,484㎡ 多目的広場等 13,285㎡ その他 15,231㎡

建物（鉄骨・鉄筋コンクリート造、4階建、他にピロティ及び塔屋）

延床面積 15,439㎡（管理研修棟 10,210㎡ 大研修室棟 1,113㎡
体育館棟 1,342㎡ 食堂・宿泊棟 2,774㎡）

管理研修棟（10,210㎡）

ピロティ階 駐車場（洪水時の遊水施設）

1 階（2,837㎡）

【管理】 所長室、職員室、応接室、講師室、会議室等

【特別支援教育・管理】 相談室、プレイルーム、検査室、職員室等

2 階（2,359㎡）

【研修・一般】 中研修室（80人）、第1～第3研修室（32人）、
第4～第6研修室（30人）、第7研修室（20人）等

【共用】 図書資料室

【教育相談・管理】 相談室、プレイルーム、学びの部屋、職員室等

3 階（2,351㎡）

【研修・情報教育】 応用技術研修室（40人）、情報教育研修室1（30人）、情報教育研
修室2（32人）、情報教育研修室3（24人）、CAD・CG研修室
（76人）、産業教育研修室（76人）等

4 階（2,498㎡）

【研修・実験実習】 音楽・美術・技術・食物・被服・物理・化学・有機化学・生物・
地学研修室、初等理科準備室等
プラネタリウム（26席＋補助14席）
走査電子顕微鏡（35～20万倍まで）

塔屋（165㎡）

【研修・実験実習】 天体望遠鏡（60cm反射望遠鏡）

大研修室棟（1,113㎡）

大研修室座席（410席）、控室、ロビー等

体育館棟（1,342㎡）

アリーナ（バスケットボールコート2面又はバレーボールコート2面又はバドミントン
コート6面）、器具庫、更衣室（男女別）、体育準備室等

食堂・宿泊棟（2,774㎡）

【1階】 食堂（収容椅子席133人、和室84人）

【2～4階】 宿泊室（一般用84室、身障者用1室、ゲスト用1室）

多目的広場等（13,285㎡）

駐車場

500台（ピロティ階220台、屋外280台）

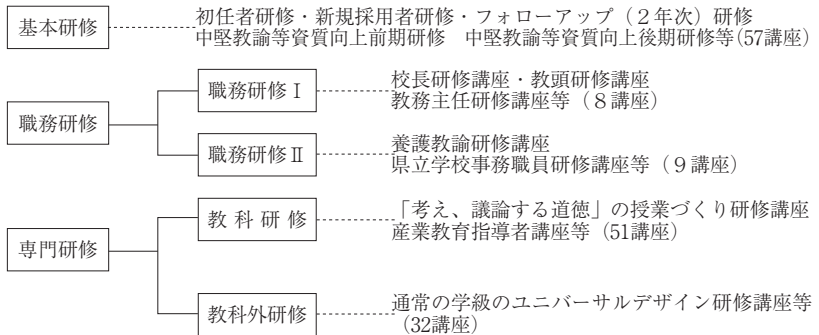
2 運営の方針

青森県総合学校教育センターは、子どもたちの未来を創るため、所員の心と力を結集して、学校を支援します。

3 研修事業

(1) 概要

青森県教職員研修体系に基づき、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資する各種の研修を行った。



（計157講座）

(2) 実績

① 基本研修

ア 初任者研修

講座名	対象	修了人数	期日	内容
初任者研修 （小学校） 学級経営基礎講座Ⅰ	令和4年度初任者 研修（小学校）対 象教諭	小49	5/10～5/11	・初任者に期待する ・信頼関係を築き上げる学級経営への取組 ・ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営 ・望ましい集団へと変容を促す学級担任の取組 ・学級経営案から考えるこれまでとこれからの学級経営 ・社会人としてのマナー 講師：office eyelet 代表 石岡 知華
初任者研修 （小学校） 学級経営基礎講座Ⅱ	令和4年度初任者 研修（小学校）対 象教諭	小49	9/1	・小学校における生徒指導とは ・教師のメンタルヘルスについて ・教育相談の進め方 ・危機管理を通じた学級経営の見直し
初任者研修 （小学校） 学級経営基礎講座Ⅲ	令和4年度初任者 研修（小学校）対 象教諭	小49	1/19	・学級経営の評価と改善 ・学級経営の評価と改善策 ・2年目に期待すること

講座名	対象	修了人数	期日	内容
初任者研修 (小学校) 学習指導基礎講座Ⅰ	令和4年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小49	6/10	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの基礎・基本 ・「主体的な学び」の授業を目指して
初任者研修 (小学校) 学習指導基礎講座Ⅱ	令和4年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小49	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協力し、実践する学級活動の展開 ・情報モラルの指導について ・児童がよりよく生きるための道徳科の展開
初任者研修 (中学校) 学級経営基礎講座Ⅰ	令和4年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中31	5/9	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の意義とねらい ・研修におけるICT活用 ・学級経営を支える「道徳科」の授業の在り方 ・生徒や保護者に応じた教育相談の進め方 ・教師のメンタルヘルスについて
初任者研修 (中学校) 学級経営基礎講座Ⅱ	令和4年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中31	8/25	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の進め方 ～生徒理解の深化のために～ ・一人一人を大切にしている学級経営 ～いじめ・不登校への対応～ ・一人一人を大切にしている学級経営 ～特別支援教育の視点から～ ・学級経営を核とした学級経営
初任者研修 (中学校) 教科等教育基礎講座Ⅰ	令和4年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中31	6/8～6/9	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくり ・授業改善に向けて ～2か月の授業実践を振り返って～ ・社会人としてのビジネスマナー ～魅力ある教師になるために～ 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子 ・単元計画の作成 ～主体的・対話的で深い学びを目指す～ ・単元計画の作成 ～学習評価から授業を考える～
初任者研修 (中学校) 教科等教育基礎講座Ⅱ	令和4年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中31	10/13	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の果たす役割 ・総合的な学習の時間の進め方 ・教科指導におけるICT活用
初任者研修 (中学校) 教科等教育基礎講座Ⅲ	令和4年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中31	11/16	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの指導 ・授業実践を振り返って ～教科等教育基礎講座Ⅰの振り返り～ ・2年目に期待すること
初任者研修 (高等学校) 教職基礎講座	令和4年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高25	4/14～4/15	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・教職員のメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子 ・初任者研修ガイダンス ・生徒理解への取組 ・温かい人間関係づくり ・特別な配慮を要する生徒への対応 ・初任者に期待すること
初任者研修 (高等学校) 教科教育基礎講座Ⅰ	令和4年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高25	5/12～5/13	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で身に付けさせる資質・能力 ・資質・能力を育む授業づくり ～単元指導評価計画の作成を通して～

講座名	対象	修了人数	期日	内容
初任者研修 (高等学校) 教科教育基礎講座Ⅱ	令和4年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高25	6/16～6/17	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業づくり ・ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ・資質・能力を育む授業の工夫
初任者研修 (高等学校) 教科教育基礎講座Ⅲ	令和3年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高25	11/10～11/11	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返り ～授業改善に向けて～ ・資質・能力を育む学習指導と評価の工夫
初任者研修 (高等学校) ホームルーム経営 基礎講座	令和4年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高25	7/28～7/29	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校と問題行動への理解と対応 ・特別活動におけるホームルーム活動 ・ホームルーム担任としての在り方 ・ホームルーム経営目標の作成
初任者研修 (高等学校) 協力校 研修	令和4年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高25	10/14,21, 22,28,29	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の授業について ・参観授業について
初任者研修 (高等学校) まとめ 研修	令和3年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高25	1/6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体で進める道徳教育 ・探究的な学びに向けて ・学校において初任者に期待すること ・1年間の研修を振り返る ～学び続ける教員となるために～
初任者研修 (特別支援 学校) 教職 基礎講座	令和4年度初任者 研修(特別支援学 校) 対象教諭	特36	4/14～4/15	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・教職員のメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子 ・初任者に期待する ・青森県の特別支援教育 ・効果的な協議・発表の仕方 ・初任者研修を終えて ・新たに教員になって
初任者研修 (特別支援 学校) 特別 支援教育指 導法基礎講 座Ⅰ	令和4年度初任者 研修(特別支援学 校) 対象教諭	特36	5/26～5/27	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の教育課程 ・自立活動の基礎・基本 ・障害特性に応じた指導 ・個別の指導計画の作成と活用 ・障害のある幼児児童生徒の実態把握と目標設定
初任者研修 (特別支援 学校) 特別 支援教育指 導法基礎講 座Ⅱ	令和4年度初任者 研修(特別支援学 校) 対象教諭	特36	6/30～7/1	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が主体的・対話的で深い学びに向かう 授業づくり ～教科指導の基礎・基本～ ・特別支援学校における授業実践 ・特別支援学校における授業づくり① ～教科別の指導・各教科等を合わせた指導 の基礎・基本～ ・特別支援学校における授業づくり② ～ICTの活用～ ・一人一人のニーズに応じた指導① ～授業づくり～
初任者研修 (特別支援 学校) 特別 支援教育指 導法基礎講 座Ⅲ	令和4年度初任者 研修(特別支援学 校) 対象教諭	特36	12/1～12/2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習評価の基本的な在り方 ・一人一人のニーズに応じた指導② ～評価と改善～ ・小・中学校等における特別支援教育 ～インクルーシブ教育システムの観点から～

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
初任者研修 (特別支援 学校)学級 経営基礎講 座	令和4年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特36	4/25	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の基礎・基本 ・保護者との関係づくり ・学級経営で大切なこと
初任者研修 (特別支援 学校)生徒 指導基礎講 座	令和4年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特36	6/9～6/10	<ul style="list-style-type: none"> ・発達を踏まえた幼児児童生徒の理解 ・特別支援教育における教育相談 ・生徒指導上の課題への対応① ～情報モラル～ ・生徒指導上の課題への対応② ～いじめ・不登校～ ・発達障害の理解と支援 ・青森県発達障害者支援センターの役割につ いて 講師：青森県発達障害者支援センター センター長 町田 徳子 ・安心・安全な生活を支える児童相談所の機能 講師：青森県中央児童相談所 心理判定課長 石田 大地 ・生徒指導における幼児児童生徒理解
初任者研修 (特別支援 学校)まとめ 研修	令和4年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭	特36	1/6	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教員に期待すること 講師：県立弘前第一養護学校 前校長 古木名 博 ・1年間の研修を振り返って ～実地研修、校外研修をとおして～

イ 新規採用者研修

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
新規採用養 護教諭研修 I	令和4年度採用養 護教諭	小3 中3 特1	5/25～5/26	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健の現状と課題 ・養護教諭に関する法規と職務内容 ・スクールカウンセラーとの連携 ・感染症・食中毒の知識 ・養護教諭が行う救急処置活動 講師：女子栄養大学 教授 遠藤 伸子 ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子
新規採用養 護教諭研修 II	令和4年度採用養 護教諭	小3 中3 特1	7/28～7/29	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭が行う健康相談の考え方と進め方 ・学校管理下における災害 講師：独立行政法人日本振興センター 審査第二係長 浅沼 久美子 主任 小関 伽奈 ・発達障害の理解と対応 ・保健室経営について ・心肺蘇生法の理解と実習 ～様々な状況への対応～ 講師：八戸赤十字病院 看護師長 佐藤 千雪 日本赤十字社青森県支部 課長 山野内 博見 係長 船橋 訓子 主事 館 篤
新規採用養 護教諭研修 III	令和4年度採用養 護教諭	小3 中3 特1	12/20～12/21	<ul style="list-style-type: none"> ・保健教育の工夫 ・学校における健康教育の進め方 ～健康状態の評価、健康問題の原因と分析 と対応、健康診断の事前・事後措置～ ・ネットトラブルへの対応 ・養護教諭のためのICT活用 ・保健室経営について ～学級(HR)担任との連携～ ・養護教諭のメンタルヘルス

講座名	対象	修了人数	期日	内容
新規採用栄養教諭・学校栄養職員研修Ⅰ	令和4年度採用栄養教諭・学校栄養職員	中1 特1	5/12～5/13	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の歴史 ・学校教育の中の栄養教諭及び学校栄養職員の役割と職務内容 ・栄養教諭・学校栄養職員が行う食に関する指導 ・学校給食物資について ・衛生管理の基本 ・栄養教諭・学校栄養職員が行う食に関する指導の実際 ・職場のメンタルヘルス
新規採用栄養教諭・学校栄養職員研修Ⅱ	令和4年度採用栄養教諭・学校栄養職員	中1 特1	6/2～6/3 一部オンライン 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における衛生管理 ・学校給食の管理と実務(1) ・学校給食における地場産物の活用 ・学校給食の管理と実務(2) ・給食業務の実際 ・管理運営上の諸問題 ・教科等における食に関する指導の実際
新規採用栄養教諭・学校栄養職員研修Ⅲ	令和4年度採用栄養教諭・学校栄養職員	中1 特1	7/28～7/29	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食施設の衛生管理 講師：青森大学 教授 川村 仁 ・簡易検査法 講師：青森大学 教授 川村 仁 ・揭示資料の作成と授業におけるICTの利活用 ・教科等における食に関する指導の実際 ～模擬授業とその検討会～ ・これからの栄養教諭・学校栄養職員に求められるもの
新規採用公立学校事務職員研修	令和4年度採用の公立学校事務職員を含む (臨時事務職員を含む)	小4 中5 高5 特1	5/24～5/25	<ul style="list-style-type: none"> ・服務について ・福利厚生制度について ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子 ・学校における事務職員としての役割 ・旅費制度について ・給与制度について
新規採用県立学校実習助手研修 (前期) (後期)	令和4年度採用の県立学校実習助手	高1 特1	前期 4/14 後期 9/1	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・教職員のメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 NPO法人いわてキャリアコンサルタント 研究会 理事 大阪 彰子 ・実習助手の職務について <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の視点に立った生徒理解への取組 ・実習助手の職務と課題について ・学校における人間関係づくり・役割について ・私の実践発表 ・ICT機器の接続 ・実習時における安全管理について
幼児教育基礎講座Ⅰ	幼稚園教諭、保育教諭	その他 5	5/20	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県の幼児教育 ・特別な配慮を要する幼児との関わり方 ・健やかな成長のための環境と習慣づくり 講師：千葉幼稚園 園長 岡本 潤子

講座名	対象	修了人数	期日	内容
幼児教育基礎講座Ⅱ	幼稚園教諭、保育教諭	その他 6	9/30	<ul style="list-style-type: none"> ・素材に親しみ工夫して遊ぶためのつくる活動 ・幼児期における発達の理解と幼小連携 講師：弘前大学 准教授 武内 裕明 <ul style="list-style-type: none"> ・保育の展開と援助の在り方 ～教材づくりを通して～ 講師：青森明の星短期大学 准教授 高橋 多恵子

ウ 経験者研修

講座名	対象	修了人数	期日	内容
小・中学校フォローアップ(2年次)研修講座(前期)(後期)	令和3年度初任者研修(小学校)(中学校)対象教諭前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	小53 中27	前期6/1 後期12/16	<ul style="list-style-type: none"> ・教員2年目としての心構え ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～ ・学びと社会を関連付けるキャリア教育の実際 ・学習指導を振り返る ～2年目の学習指導プラン作成～ ・実践を振り返って ・カリキュラム・マネジメントの実際
高等学校フォローアップ(2年次)研修講座	令和3年度初任者研修(高等学校)対象教諭前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	高38	5/17～5/18	<ul style="list-style-type: none"> ・学び続ける教員を目指して ・創意を生かしたホームルーム経営 ・ホームルーム担任のための教育相談 ～保護者との連携を深めるために～ ・ホームルームにおける課題解決に向けて ・学校安全と危機管理 講師：日本災害医学会 災害セミナーインストラクター 吉川 靖之 <ul style="list-style-type: none"> ・思考力を引き出す教科指導
特別支援学校フォローアップ(2年次)研修講座	令和3年度初任者研修(特別支援学校)対象教諭前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	特31	9/21～9/22	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画に基づく授業改善 講師：東北福祉大学 教授 大西 孝志 <ul style="list-style-type: none"> ・授業検討 ・これからの教員に求められること
養護教諭フォローアップ(2年次)研修講座	前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は終了していない者	小10 中2 高4 特1	10/29	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の保健室経営について
栄養教諭・学校栄養職員フォローアップ(2年次)研修講座	令和3年度新規採用栄養教諭・学校栄養職員研修対象者前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	小1 特1	7/1	<ul style="list-style-type: none"> ・給食業務の実際 ・学習指導の実際 ・給食指導の実際 ・給食業務の実際 ・管理運営上の諸問題 ・児童生徒の心理
中堅教諭等資質向上前期研修(小・中学校)共通講座	令和4年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(小・中学校)	小55 中23	7/5～7/6	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の理解と指導について振り返る ・“児童生徒が育つ”働きかけ 講師：日本大学 文理学部 教授 藤平 敦 <ul style="list-style-type: none"> ・特別の教科 道徳 ～学習指導要領と授業づくり～ ・特別の教科 道徳の授業づくり ・後期中堅教諭までの研修プランを考える ・中堅前期教諭に期待すること

講座名	対象	修了人数	期日	内容
中堅教諭等 資質向上前期 研修(高等学校)共 通講座Ⅰ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (高等学校)	高62	5/23	<ul style="list-style-type: none"> ・前期中堅教諭に期待すること ～本県教育の現状と課題をふまえて～ ・地域との連携・協働を生かしたキャリア教育 ・いじめのない学校づくり ～情報モラル教育～ ・いじめ・不登校のない学校づくり ～温かいホームルームづくり～ ・保護者との連携について
中堅教諭等 資質向上前期 研修(高等学校)共 通講座Ⅱ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (高等学校)	高62	9/13	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学校教育を考える ～生徒の主體的・対話的で深い学びのために～ ・「主體的・対話的で深い学び」の視点で行 う授業改善
中堅教諭等 資質向上前期 研修(特別支援学 校)共通講 座Ⅰ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (特別支援学校)	特25	5/24	<ul style="list-style-type: none"> ・前期中堅教諭に期待すること ～本県教育の現状と課題をふまえて～ ・関係機関との連携 ・主體的・対話的で深い学びとキャリア発達 支援 講師：弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文
中堅教諭等 資質向上前期 研修(特別支援学 校)共通講 座Ⅱ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (特別支援学校)	特25	6/15	<ul style="list-style-type: none"> ・主體的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善 講師：上越教育大学大学院 教授 村中 智彦 ・メンティーチャーとしてのチームティーチング ・授業を見直す
中堅教諭等 資質向上前期・後 期研修(養護教 諭)Ⅰ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (養護教諭) 令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者 (養護教諭)	小11 中高9 特2	6/23～6/24	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の今日的課題 ・養護教諭に関する法規と職務内容 ・救急処置の理論・応用 講師：日本赤十字社青森県支部 課長 山野内 博見 係長 船橋 訓子 主事 館 篤 赤十字救急法指導員 三浦 一郎 大坂 美保 ・保健教育の在り方／保健教育の実際 講師：鎌倉女子大学 講師 藤原 昌太
中堅教諭等 資質向上前期・後 期研修(養護教 諭)Ⅱ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (養護教諭) 令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者 (養護教諭)	小11 中高9 特2	11/24～11/25	<ul style="list-style-type: none"> ・学校環境衛生と保健室における薬剤管理 講師：青森大学 教授 川村 仁 ・中堅養護教諭の役割と資質能力の向上 講師：神奈川県立保健福祉大学 准教授 高橋 佐和子 ・ネットトラブルへの対応 ・スクールソーシャルワーカーとの連携 ・養護教諭として身につけたいマナー 講師：Office Rinko 代表 工藤 倫子
中堅教諭等 資質向上前期・後 期研修(栄養教 諭・学校栄養 職員)Ⅰ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (栄養教諭・学校 栄養職員) 令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者 (栄養教諭・学校 栄養職員)	中2	6/23～6/24	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の今日的課題 ・歯と口に関する基礎知識 ・衛生管理責任者の役割 ・保健教育の在り方 ・保健教育の実際 講師：鎌倉女子大学 講師 藤原 昌太

講座名	対象	修了人数	期日	内容
中堅教諭等 資質向上前期・後期研修 (栄養教諭・学校 栄養職員)Ⅱ	令和4年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(栄養教諭・学校栄養職員) 令和4年度中堅教諭等資質向上研修(後期)対象者(栄養教諭・学校栄養職員)	中2	10/4～10/5	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等における食に関する指導 ～模擬授業とその検討会～ ・栄養教諭・学校栄養職員の食に関する指導の在り方と進め方 ・食に関する指導の充実 ・児童生徒の心理 ・給食業務の実際 ・アレルギー対応食の取組 ・健康教育と栄養教諭・学校栄養職員の役割
中堅事務職員 資質向上前期・後期研修(小・中学校)	平成23年度及び平成29年度に公立学校(小・中学校)の事務職員として採用された者受講を希望する公立学校(小・中学校)の事務職員(臨時事務職員を含む)	小6	9/8	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校教職員の身分制度と服務 ・学校における情報公開と個人情報 ・これからの学校組織と事務職員の役割 ～教職員等中央研修の伝達を通して～ ・学校における事務職員の役割 ～これまでの振り返りと今後の方策について～
中堅教諭等 資質向上後期研修(小・中学校)スクールマネジメント講座	令和4年度中堅教諭等資質向上研修(後期)対象者(小・中学校)	小23 中22	7/7～7/8	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭に必要なマネジメント意識 講師：上越教育大学大学院 教授 安藤 知子 ・協働で取り組む職場のメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・協働で取り組む特別支援教育 ・協働で取り組む危機管理 ・協働で取り組む校務分掌 ・PDCAサイクルをもとにした授業実践に向けて
中堅教諭等 資質向上後期研修(小・中学校)授業実践力アップ講座	令和4年度中堅教諭等資質向上研修(後期)対象者(小・中学校)	小23 中22	12/15～12/16	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを基にした授業の自己評価 ・同僚性を発揮した授業改善のために ・PDCAサイクルを基にした授業改善に向けて ・同僚性を高める実践に向けて ～2年目教員との切磋琢磨を通して～ ・中堅後期研修後に向けたキャリアデザイン ・中堅後期教員に期待すること
中堅教諭等 資質向上後期研修(高等学校)共通講座Ⅰ	令和4年度中堅教諭等資質向上研修(後期)対象者(高等学校)	高59	6/28～6/29	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教育の担い手として ～カリキュラム・マネジメント～ 講師：國學院大學 教授 田村 学 ・教職員の服務規律について ・組織で取り組むメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・学校改善に向けた組織的な取組 講師：弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文 教授 三戸 延聖 教授 甲田 隆 教授 吉田 美穂 ・温かい人間関係づくり ～保護者・同僚との接し方～ ・配慮を要する生徒への組織対応

講座名	対象	修了人数	期日	内容
中堅教諭等 資質向上後 期研修（高 等学校）共 通講座Ⅱ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 （後期）対象者 （高等学校）	高56	8/26	<ul style="list-style-type: none"> 生徒を生かす学習指導 講師：教育コンサルタント 盛岡白百合学園講師 （元花巻北高等学校長）下町 壽男 資質・能力を育む学習指導と評価の工夫 資質・能力を育む授業づくりに向けて
中堅教諭等 資質向上後 期研修（高 等学校）共 通講座Ⅲ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 （後期）対象者 （高等学校）	高51	12/9	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善に向けた取組 後期中堅教諭に期待すること
中堅教諭等 資質向上後 期研修（特 別支援学 校）共通講 座Ⅰ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 （後期）対象者 （特別支援学校）	特30	6/28～6/29 一部オンライン 講義	<ul style="list-style-type: none"> これからの教育の担い手として ～カリキュラム・マネジメント～ 講師：國學院大學 教授 田村 学 教職員の勤務規律について 組織で取り組むメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 学校改善に向けた組織的な取組 講師：弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文 教授 三戸 延聖 教授 甲田 隆 教授 吉田 美穂 本県特別支援教育の現状と課題 中堅教員としての資質向上に向けて
中堅教諭等 資質向上後 期研修（特 別支援学 校）共通講 座Ⅱ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 （後期）対象者 （特別支援学校）	特31	9/7	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 組織的な授業改善 講師：北海道教育大学函館校 教授 北村 博幸 自校の教育活動についての課題の分析と改 善策の検討
中堅教諭等 資質向上後 期研修（特 別支援学 校）共通講 座Ⅲ	令和4年度中堅教 諭等資質向上研修 （後期）対象者 （特別支援学校）	特29	12/9	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある生徒の自立と社会参加 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 榎本 容子 関係機関との連携・協働 後期中堅教諭として期待すること

② 職務研修

講座名	対象	修了人数	期日	内容
校長研修講 座（前期） （後期）< 指定>	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校の新任教長 前年度までの受講 対象者のうち、本 研修を受講又は修 了していない者	小41 中7 高13 特5	前期 4/26 後期 7/26	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> 新任校長に期待する 学校における情報公開 個人情報保護 私の学校経営（校種別） 学校課題への取組（校種別） <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織の危機管理対策とリーダーシップのあり方 ～学校組織の危機管理対応の失敗事例からの教訓～ 講師：青森中央学院大学 教授 大泉 常長 子どもがより良く育つ学校づくり ～教師力・学校力の向上を目指して～ 講師：國學院大學 教授 杉田 洋

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
教頭研修講座（前期）＜（後期）指定＞	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の新任教頭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	小33 中16 高9 特6	前期 5/9 後期 8/29	前期 ・新任教頭・新任事務長に望むこと ・教育法規について ・学校におけるリスクマネジメント 講師：有限会社 エンカツ社 代表取締役社長 宇於崎 裕美 後期 ・教頭の職務と役割 後期 ・学校組織を活性化させるためのマネジメント 講師：兵庫教育大学大学院 教授 浅野 良一
県立学校事務長研修講座（前期）＜（後期）指定＞	県立学校の新任事務長・事務長心得 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	高4 特5	前期 5/9 後期 8/29	前期 ・新任教頭・新任事務長に望むこと ・教育法規について ・学校施設の管理について ・情報公開・個人情報保護について 後期 ・事務長の職務と役割について ・学校事務室経営について
教務主任研修講座＜一部指定＞	（指定）新任教務主任 （希望）教務主任	小24 中17 高14 特8	5/24	・教務主任に期待する ・教育活動と教育法規について ・教務主任の職務について（講義） ・教務主任の職務について（協議）
学年主任研修講座＜一部指定＞	（指定）新任学年主任 （希望）学年主任、その他学年経営の中核となる教員	小6 中25 高27 特7	5/31	・学年主任の役割とは ・組織経営とミドルリーダー 講師：日本大学 教授 藤平 敦
保健主事研修講座＜一部指定＞	（指定）新任保健主事 （希望）保健主事及び学校保健活動の中核となる教員	小8 中4 高11 特7	5/19	・保健主事の職務と役割 ・学校保健活動の実践～健康教育実践研究支援事業指定校として～ ・保健主事としての取組について
生徒指導主任・主事研修講座＜一部指定＞	（指定）新任生徒指導主任・主事 （希望）生徒指導主任・主事、その他生徒指導の中核となる教員	小16 中15 高14 特3	4/28	・県内の生徒指導上の諸課題について ・児童虐待の現在（いま）～学校対応の基本と最近の話題～ 講師：青森県公認心理士・臨床心理士協会 顧問 関谷 道夫 ・生徒指導の役割連携の推進に向けて －生徒指導主事に求められる具体的な行動－
中学校進路指導担当者研修講座	中学校の進路指導主事及び進路指導に関わる教員	中16 特1	5/27	・進路指導の考え方と進路指導主事の役割 ・自校における進路指導の課題と対策 ・自校における進路指導の進め方
校内研修担当者研修講座（前期）＜（後期）指定＞	小学校、中学校の新任研修主任特別支援学校の新任研修担当教員上記以外で希望する教員	小17 中13 特5	前期 5/19 後期 8/19	前期 ・研修主任の職務・校内研修の充実 ・活性化・本校の校内研修 後期 ・カリキュラム・マネジメントと校内研修 講師：甲南女子大学 教授 村川 雅弘 ・1学期の振り返りと今後の対策

講座名	対象	修了人数	期日	内容
道徳教育推進教師研修講座	小学校、中学校の新任道徳教育推進教師特別支援学校の新任道徳教育担当教員上記以外で希望する教員	小9 中10 特8 その他1	6/14～6/15	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育推進教師の役割と取組 ～コーディネーター・アドバイザーとして～ 我が校の道徳教育 ～学校全体で取り組む道徳教育の実際～ 自校の特色を生かした道徳教育展開プランづくり 学校の特色を生かした道徳教育 ～道徳教育をマネジメントする～ 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 浅見 哲也
特別支援教育コーディネーター研修講座＜一部指定＞	(指定)教頭以外の新任特別支援教育コーディネーター (希望)新任以外の特別支援教育コーディネーター (希望)特別支援教育コーディネーターの教頭	小11 中14 高4 特8	6/7	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターの役割 特別支援教育コーディネーターの実践 事例検討の進め方
養護教諭研修講座	養護教諭・養護助教諭	小4 中6	9/7～9/8	<ul style="list-style-type: none"> 中央研修会伝達 新型コロナウイルス感染症に伴う新しい健康相談活動の在り方 講師：女子栄養大学 教授 大沼 久美子 SOSの出し方教育の実践 講師：中央大学 客員研究員 高橋 聡美
食育研修講座	小学校、中学校、特別支援学校の教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員	小1 中4 特1	8/15	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動における食育の授業づくり 子どもの食育活動の充実に向けて 講師：文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 食育調査官 山上 望
県立学校事務職員研修講座	県立学校事務職員(臨時事務職員を含む)	高9	10/4	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の勤務条件について 学校における災害対応 講師：日本赤十字社青森県支部 事業推進課長 山野内 博見 就学支援金の手続きについて
県立学校臨時講師等研修講座Ⅰ	令和3年度に採用された県立学校の臨時講師・臨時養護助教諭(本研修講座当日において勤務している者)	高16 特12	4/12～4/13	<ul style="list-style-type: none"> 教職員としての心構え 教職員の服務規律について 学校安全について 生徒理解について 教職員として知っておきたいこと ～情報セキュリティについて～ ～特別支援教育について～ 教科指導について 教育課程・特別支援教育について 各教科における指導について 指導上の課題とその対応について
県立学校臨時講師等研修講座Ⅱ	令和4年度に採用された県立学校の臨時講師・臨時養護助教諭(本研修講座当日において勤務している者)	高2 特5	10/11～10/12	<ul style="list-style-type: none"> 教職員としての心構え 教職員の服務規律について 学校安全について・生徒理解について 教職員として知っておきたいこと ～情報セキュリティについて～ ～特別支援教育について～ 教科指導について 教育課程・特別支援教育について 各教科における指導について 指導上の課題とその対応について

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
寄宿舎指導員研修講座	寄宿舎指導員臨時 寄宿舎指導員	特11	7/27	・教職員の服務について ・身に付けさせたい社会生活力 講師：青森大学 教授 舟木 昭夫 ・寄宿舎指導員としての私の実践 ・寄宿舎における指導・支援

③ 専門研修
ア 教科研修

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
「考え、議論する道徳」の授業づくり研修講座	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校教員	小13 中10 その他2	10/31～11/1	・「考え、議論する道徳」の実現に向けて ・「考え、議論する道徳」の授業づくり ・「特別の教科 道徳」の教材研究と授業構想 講師：秋田公立美術大学 副学長 毛内 嘉威 ・「考え、議論する道徳」の授業づくりの実際 ・「考え、議論する道徳」の授業実践
小学校国語科授業づくり講座〔書く〕	小学校及び特別支援学校小学部、中学部・高等部国語科担当教員	小7 特1	8/30～8/31 一部オンライン 講義	・書く力を育てる授業改善 ・書く力を育てる言語活動 ・タブレット端末を活用した国語科の授業 ・主体的・対話的で深い学びを実現する「書くこと」の指導 講師：京都女子大学 教授 水戸部 修治 ◆オンライン ・書く力を育てる単元構想 ～プランニング力を磨く～
中学校国語科授業づくり講座	中学校国語科担当及び特別支援学校中学部・高等部国語科担当教員	中11 特1 その他1	6/2～6/3	・学習指導要領に基づいた「読むこと」指導の授業改善 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点で考えるこれからの国語授業～ ・付けたい力と「主体的・対話的で深い学び」を関連付けたICT活用 ・付けたい力と「主体的・対話的で深い学び」を関連付けた「読むこと」指導の授業構想 ・学習指導要領に基づいた「読むこと」指導の授業改善 講師：岩手大学 教授 藤井 知弘
高等学校国語科授業づくり講座	高等学校 特別支援学校は高等部国語担当教員 臨時講師も対象	高16	6/21～6/22	・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり 講師：筑波大学 教授 鳥田 康行 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
主体的・対話的で深い学びを実現する国語科「言語活動」実践力アップ講座	小学校、中学校・高等学校国語科担当及び特別支援学校小学部、中学部・高等部国語科担当教員	小4 中5 高2 特3 その他1	6/30～7/1	・子どもの成長に応じた言語活動の実践 ・主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動の実践 ・主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動のモデルづくり 〔書くこと〕 ・実生活で生きる言語能力 講師：青森朝日放送株式会社 報道記者兼アナウンサー 石塚 絵里子 ・主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動のモデルづくり 〔話すこと・聞くこと〕

講座名	対象	修了人数	期日	内容
考える力を高める小学校社会科教育講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小4	9/15～9/16	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の授業改善 ・ICTを活用した社会科の授業・思考力、判断力、表現力等を育てる社会科教育の実践 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の在り方 講師：大妻女子大学 教授 澤井 陽介
中学校社会科教育講座	中学校社会科担当及び特別支援学校中学部社会科担当教員	小1 中6 特3	9/15～9/16	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力等の育成を図る社会科の授業 ・ICTを活用した社会科の授業 ・思考力、判断力、表現力等の育成を図る社会科の授業実践 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の在り方 講師：大妻女子大学 教授 澤井 陽介
社会科教材開発講座	特別支援学校は中学校部社会科担当教員、高等部地理歴史科及び公民科教員	中2 高1 特1	7/12～7/13	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科授業における地域調査の進め方（講義）～自然環境と防災の視点から～ 講師：弘前大学 教授 小岩 直人 ・社会科授業における地域調査の進め方（実地調査）～自然環境と防災の視点から～ 講師：弘前大学 教授 小岩 直人 ・資質・能力を育む授業づくり ・「社会的な見方・考え方」を働かせる授業づくり（演習） ～地理領域 地域調査の実施に向けて～ ・「社会的な見方・考え方」を働かせる授業づくり（協議） ～地理領域 地域調査の実施に向けて～
高等学校地理歴史科公民科教育講座	高等学校、特別支援学校（高等部）は地理歴史科、公民科担当教員	高12 特1 その他1	8/23～8/24	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力を育む「地理総合」の授業づくり 講師：文部科学省初等中等教育局 教科調査官 中嶋 則夫 ・ICTを活用した授業改善の視点 ・主権者を育てる「公共」の授業デザイン 講師：明治大学 特任教授 藤井 剛 ・資質・能力を育む授業づくりに向けて
小学校算数科教育講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小14 特1	7/26	<ul style="list-style-type: none"> ・既習をいかす授業づくり ～主体的・対話的で深い学びのある授業～ ・指導と評価の一体化に向けた授業の在り方 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一
小学校算数科授業づくり講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小26 特4 その他3	8/16	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用した算数科の授業 ・数学的な見方・考え方を広げる授業 ・深い学びのある授業 講師：弘前大学大学院教育学研究科 教授 中野 博之
中学校数学科教育講座	中学校数学担当及び特別支援学校中学部数学担当教員	中12 その他3	6/30	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの資質・能力を育む授業 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官 水谷 尚人 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業実践

講座名	対象	修了人数	期日	内容
中・高等学校数学科授業づくり講座	中学校、高等学校及び特別支援学校 中学部・高等部数学科担当教員	中4 高14 その他 1	8/23～8/24	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決の過程をイメージした授業づくり ・思考力・判断力・表現力を問う素材(問題)構想 ・構想した素材を振り返る ・ICTを効果的に活用した数学科の授業づくり ・「付けさせたい力」を明確にした授業実践 ・「付けさせたい力」を明確にした授業づくり ・これからの授業づくりに向けて
高等学校数学科教育講座	特別支援学校は高等部数学科担当教員	高12 特1 その他 1	8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における探究的な授業について 講師：東京学芸大学大学院 教育学研究科 教授 西村 圭一 ・仮説検定の考え方 講師：東京学芸大学大学院 教育学研究科 教授 西村 圭一 ・数学的活動を取り入れた授業づくりに向けて
小学校理科実践力向上研修講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小7	6/6～6/7	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業改善の視点 ・観察、実験の工夫～A物質・エネルギー～ ～B生命・地球～ ・問題解決の力を育む観察、実験 ・理科におけるプログラミング学習
小・中学校理科授業づくり講座	小学校、中学校理科担当及び特別支援学校小学部、中学部理科担当教員	小4 中2 特1	8/18～8/19	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業改善の視点 ・問題解決の力を育む観察、実験(中学校編) ・問題解決の力を育む観察、実験(小学校編) ・問題解決の力を育む授業づくり ～評価計画と単元構想～ ・問題解決の力を育む授業づくり ～指導計画～ ・問題解決の力を育む授業の在り方
中学校理科実験講座	中学校理科担当及び特別支援学校中学部理科担当教員	中8	6/21～6/22	<ul style="list-style-type: none"> ・理科授業改善の視点 ・授業で使える観察・実験の工夫 (3学年1分野の内容、1学年1分野の内容、2学年2分野の内容)
高等学校理科研修講座 [物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎]	特別支援学校は高等部理科担当教員 実習助手も対象	高5	6/24	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験を取り入れた授業づくり ～物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎～
学びを実感させる高等学校理科研修講座 [物理]	特別支援学校は高等部理科担当教員 実習助手も対象	高2	8/30～8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を働かせる授業デザイン ・身近な素材を用いた観察・実験とその教材開発 ・単元を貫く観察・実験を取り入れた授業づくり ～資質・能力をバランスよく育むために～ ・思考力・判断力・表現力を引き出す実践とその工夫
学びを実感させる高等学校理科研修講座 [化学]	特別支援学校は高等部理科担当教員 を対象実習教諭も対象	高5	8/23～8/24	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を働かせる授業デザイン ～観察・実験やICTの活用を通して～ ・興味・関心を引き出す観察・実験とその工夫 ・身近な素材を用いた観察・実験とその教材開発 ・単元を貫く観察・実験を取り入れた授業づくり ～資質・能力をバランスよく育むために～ ・思考力・判断力・表現力を引き出す実践とその工夫

講座名	対象	修了人数	期日	内容
学びを実感させる高等学校理科研修講座〔生物〕	特別支援学校は高等部教員を対象臨時講師、実習教諭等も対象	高5	9/29～9/30	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを実感させる授業・実験の工夫 ・観察・実験に関する指導の工夫 ・資質・能力の育成を意識した観察・実験への取組
時間的・空間的な関係を探る理科野外実習講座〔地学〕	特別支援学校は小学部教員、中学部・高等部理科担当教員を対象実習助手等も対象	中2 高2	7/6	<ul style="list-style-type: none"> ・野外観察の方法 ・地域素材の活用方法
学びを実感させる理科実習講座〔天体観察〕	特別支援学校は小学部教員、中学部・高等部理科担当教員を対象実習助手等も対象	小1 中2 高1	10/17	<ul style="list-style-type: none"> ・天体望遠鏡の基本操作 講師：星空案内人資格認定制度運営機構副機構長 甲田 昌樹 ・天体観察の方法
気付きの質を高める小学校生活科講座	幼稚園等教職員、小学校及び特別支援学校小学部教員	小2 特2	9/8～9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・気付きの質を高める生活科の授業づくり 講師：千葉大学教授 鈴木 隆司 ・気付きの質を高める生活科の授業 ・身近な素材を通した指導と評価の在り方 ・望ましい動物飼育の在り方
感性を育む音楽科実践講座	特別支援学校は中学部音楽担当教員	中7 特4	8/19	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞から広がるこれからの学び 講師：武蔵野音楽大学 講師 山崎 正彦 ・資質・能力を育む鑑賞の授業づくりについて
豊かな表現力を育む音楽科講座	特別支援学校は中学部・高等部音楽担当教員	中11 高4 特4	11/30	<ul style="list-style-type: none"> ・表現から広がるこれからの学び 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 河合 紳和 ・資質・能力を育む授業づくりについて
芸術系教科の資質・能力を育む授業づくり講座	特別支援学校は中学部音楽または美術担当教員・高等部芸術担当教員	高4 特3	7/1	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術科が育む資質・能力について ・資質・能力を育む授業づくり①～単元・題材構成の工夫～ ・資質・能力を育む授業づくり②～指導と評価の一体化について～
「見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する！小学校 図工・音楽科講座	幼稚園等教職員、小学校及び特別支援学校小学部教員	小7 特5 その他1	6/21～6/22	<ul style="list-style-type: none"> ・図面工作科における指導と評価の一体化 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小林 恭代 ・「造形的な見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する造形遊び ・「音楽的な見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する表現活動 ・造形と音楽のコラボレーション①② ・これからの図工と音楽の授業づくり
鑑賞の学びを考える！小学校 図工・音楽科講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小11 特6 その他1	8/18～8/19	<ul style="list-style-type: none"> ・意味や価値をつくりだす鑑賞の学習・見方や感じ方を深める美術鑑賞の学び 講師：国立文化財機構文化財活用センター 研究員 小島 有紀子 研究員 松沼 穂積 ・感性を育むこれからの資質・能力 ・鑑賞から広がるこれからの学び 講師：武蔵野音楽大学 講師 山崎 正彦 ・資質・能力を育む鑑賞の授業づくりについて
創造活動を通じた学びを考える美術科教育講座	中学校、高等学校及び特別支援学校 中学部・高等部美術担当教員	中1 高1 特4 その他1	9/21	<ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化を目指す美術の授業 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 平田 朝一 ・指導と評価の一体化を目指す美術の授業づくり

講座名	対象	修了人数	期日	内容
見方や感じ方を深める美術科教育講座〔鑑賞〕	中学校、高等学校及び特別支援学校 中学部・高等部美術担当教員	小2 中1 特3	8/18	・意味や価値をつくりだす鑑賞の学習 ・見方や感じ方を深める美術鑑賞の学び 講師：国立文化財機構文化財活用センター 研究員 小島 有紀子 研究員 松沼 穂積
家庭科教育講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（家庭科担当）教員	小1 中5 高3 特4	11/1	・タブレットPCを活用した効果的な被服実習の授業デザイン
中学校技術・家庭科（家庭分野）・高等学校家庭科教育講座	中学校、高等学校、特別支援学校 中等部・高等部（家庭科担当）教員	中5 高3 特4	9/6	・中・高家庭科における消費者教育について ・青森県の消費者問題に関する現状について 講師：青森県消費生活センター業務部 教育啓発課長 増田 あけみ ・消費者教育における授業デザイン
中学校技術・家庭科教育講座〔材料と加工・生物育成〕	中学校教員及び特別支援学校（中学部）教員	中2 特1	5/26～5/27	・技術・家庭科の学習指導の現状と課題 ・木材製品の設計・製作 ・技術の見方・考え方を動かさせた授業づくり
中学校技術・家庭科教育講座〔情報〕	中学校教員及び特別支援学校（中学部）教員	中5	9/29～9/30	・技術・家庭科の学習指導の現状と課題 ・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツの設計・制作 ・計測・制御システムの設計・制作
中学校技術・家庭科教育講座〔エネルギー変換〕	中学校教員及び特別支援学校（中学部）教員	中4	7/27	・エネルギー変換の技術の指導内容と指導計画 ・電気機器の設計・製作
小学校体育科研修講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小10 中1 特1 その他1	8/30	・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・表現運動系の特性や魅力を生かした授業づくり 講師：東北文教大学短期大学部 講師 鈴木 純
小・中学校体育授業づくり研修講座	小学校、中学校及び特別支援学校小学部、中学部体育担当教員	小9 中8 特2	9/26	・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・豊かなスポーツライフの基礎を築く共生体育の在り方 講師 横浜国立大学 教授 梅澤 秋久
豊かなスポーツライフを実現する保健体育授業研修講座	中学校・高等学校・特別支援学校（中学部・高等部）教員（臨時講師も含む）	中10 高15 特8	11/21	・体育授業における課題と工夫 ・新学習指導要領に基づいた体育授業づくり 講師：日本女子体育大学 教授 高橋 修一
保健授業づくり研修講座	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校（小学部・中学部・高等部）教員（臨時講師も含む）	小3 中7 高14 特6	7/25	・保健における課題と工夫 ・新学習指導要領に基づいた保健の授業づくり～保健におけるがん教育の進め方～ 講師：横浜国立大学 教授 物部 博文
小学校外国語・外国語活動研修講座	小学校及び特別支援学校小学部教員	小3 特1 その他1	6/14	・外国語・外国語活動の授業づくり ・外国語・外国語活動の指導の在り方 講師：東京学芸大学 教授 粕谷 恭子

講座名	対象	修了人数	期日	内容
中学校英語指導法研修講座	中学校外国語（英語）科担当及び特別支援学校中学部外国語（英語）科担当教員	中9特2	9/20	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校英語における課題と改善の方向性 ・中学校英語教師に求められる役割 講師：東京家政大学 教授 太田 洋
中学校英語授業づくり研修講座	中学校外国語（英語）科担当及び特別支援学校中学部外国語（英語）科担当教員	中7特1	10/11	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業改善の視点 ・子どもの資質・能力を高める授業づくり 講師：信州大学学術研究院 教授 酒井 英樹
高等学校英語科言語活動実践講座	高等学校（英語科担当）教員、特別支援学校（高等部英語科担当）教員	高6	6/21～6/22	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の英語運用能力を育成する言語活動の実際 ～授業デザイン、ICT活用、指導と評価の一体化～ ・言語活動を取り入れた授業デザインの構築
高等学校英語指導法改善講座	高等学校（英語科担当）教員、特別支援学校（高等部英語科担当）教員	高8	8/30～8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導法の改善に向けて 講師：上智大学 教授 和泉 伸一 <ul style="list-style-type: none"> ・統合的な言語活動を重視した授業づくり
情報科教育講座	高等学校（情報科担当）教員、特別支援学校高等部（情報科担当）教員	高4	1/12～1/13	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の問題解決について ・コミュニケーションと情報デザインについて ・情報通信ネットワークとデータの活用について
高等学校プログラミング基礎講座	プログラミングを担当している高等学校教員、特別支援学校高等部教員	高12特2	9/27～9/28	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育と環境構築 ・アルゴリズムと基本制御構文 ・応用的プログラム ・プログラムの関数化 ・ライブラリとWebAPIの活用 ・事象のモデル化とシミュレーション
産業教育指導者講座	高等学校（農業・工業・商業・情報・家庭・水産等）で産業系の教科を担当している教員または実習助手	高17	前期 6/10 後期 9/20	前期 <ul style="list-style-type: none"> ・青森県地場産業の現状と展望～ブナコ編 講師：ブナコ株式会社 代表取締役 倉田 昌直 ・青森県産業の現状と展望 後期 <ul style="list-style-type: none"> ・探究する学習のデザイン ・学習活動の設計と評価 講師：東北学院大学 教授 稲垣 忠
農業教育指導者講座	高等学校（農業科担当）教員、実習助手特別支援学校（農業科担当）教員、実習助手	高11特1	7/12～7/13	<ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」のための学習評価 ・高等学校における農業教育について ・「攻めの農林水産業」における農業の担い手対策について ・ICTを活用した教科指導の実践 ・地域農業振興への取組 講師：もりやま園株式会社 代表取締役 森山 聡彦 有限会社まごころ農場 代表取締役 斎藤 靖彦
工業教育指導者講座	高等学校（工業科担当）教員、実習助手特別支援学校（工業科担当）教員、実習助手	高7	10/25～10/26	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領 教科「工業」について ・3Dプリンターの活用 ・移動式ロボットRobotino® ・Arduino等プログラミング制御

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
商業教育指導者講座	高等学校（商業科担当）教員、実習助手	高8	7/12～7/13	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルを構造化して考える ～儲けの仕組みをBMCから探り、経営戦略を読み解く～ ・予測困難な時代に勝ち残る新たなビジネスの創造 ～付加価値を最大限に生かし、顧客に提供するビジネスとは～ 講師：（一社）ビジネスモデルイノベーション協会 認定ジュニアコンサルタント 申原 憲和 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける資産形成とリスク管理 講師：R & C株式会社 青森支社 セミナー推進部 マネージャー 石澤 枝美子 <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の教科商業の趣旨の実現に向けた教科指導

イ 教科外研修

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
総合的な学習の時間研修講座	小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部教員	小2 中7	5/24～5/25	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の役割 ・置かれた場所で、夢を叶える方法 ～思いのチカラ・行動のチカラ～ 講師：有限会社 リンゴミュージック 代表取締役 樋川 新一 <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の過程で学ぶ総合的な学習の時間 ・探究的に学ぶ総合的な学習の時間の実践 ・探究的な学習の過程で取り組む総合的な学習の時間 講師：山形大学学術研究院 教授 野口 徹
高等学校総合的な探究の時間研修講座	高等学校教員及び特別支援学校（高等部）の教員	高18 特 2	9/15	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間における評価方法 ・改善の視点 講師：山形大学学術研究院 教授 野口 徹 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間への取組
小・中学校特別活動研修講座	小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部教員	小15 中16 特 2 その他 3	8/29	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的・実践的な態度を育てる学級活動の指導の工夫 ・生きる力の育成と特別活動の役割 講師：文部科学省初等中等教育局 教科調査官 安部 恭子
教育活動全体をつなぐキャリア教育研修講座	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小 2 中 7 高20 特 5 その他 2	9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・いま、なぜキャリア教育なのか？ ～学校教育におけるキャリア教育の役割～ 講師：筑波大学人間系 教授 藤田 晃之 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育への取組
高等学校における道徳教育講座	特別支援学校は高等部教員	高54 特 2	6/13	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における道徳教育の推進 ・小・中学校における道徳教育の実際 ・本校の道徳教育 ・自校の特色を活かした道徳教育の展開に向けて
高等学校における特別支援教育講座	高等学校教員	高22	10/3	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における特別支援教育 ・高等学校における特別支援教育の実践に向けて ・高等学校における特別支援教育 ～個別の指導計画の作成に向けて～

講座名	対象	修了人数	期日	内容
「気になる子供」のかわり方研修講座	幼稚園教員、保育所（園）職員、認定こども園職員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小9 中15 高13 特16 その他2	10/5 一部オンライン 講義	・「気になる子供」の視点でかかわり方を見直す 講師：教育心理支援教室・研究所ガジュマルつがる 代表 松本 敏治 ・医師の視点からかかわり方を見直す 講師：弘前大学医学部心理支援科学科 弘前大学大学院保健学研究所 教授 栗林 理人
SOSの出し方教育研修講座	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	中12 高9 特5 その他2	9/8	・子供の安心・安全な生活を支える児童相談所の機能 ・SOSの出し方教育の実践 講師：中央大学 客員研究員 高橋 聡美
今日から始めるいじめ対策研修講座（一部指定）	（指定）新任ハートフルリーダー（希望）小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小9 中5 高13 特3 その他2	5/13	・いじめについての認識と理解 ・いじめの理解といじめ防止のための取組 講師：上越教育大学大学院・いじめ生徒指導研究センター 教授・センター長 高橋 知己
今日から始める保護者対応研修講座	幼稚園教員、保育所（園）職員、認定こども園職員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、寄宿舎指導員	小5 中6 高14 特8 その他4	7/1	・保護者理解と信頼関係を築くための対応 講師：神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男
今日から始める学級（HR）集団づくり研修講座	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小3 中5 高4 その他5	7/14	・教育相談アプローチによる学級経営実践 ・より良い学級（HR）集団づくり 講師：文教大学 教授 会沢 信彦
今日から始めるグループ・アプローチ研修講座	小学校教員、中学校教員、特別支援学校教員	小6 中10 高3 特6 その他4	8/17	・グループ・アプローチについて 講師：豊岡短期大学 教授 鈴木 由美
今日から始める不登校対策研修講座	幼稚園教員、保育所（園）職員、認定こども園職員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小7 中9 高13 特2 その他2	8/31	・不登校児童生徒の理解・対応とチーム連携 講師：東京家政大学・同大学院 名誉教授・客員教授 相馬 誠一
今日から始める教育相談研修講座	幼稚園教員、保育所（園）職員、認定こども園職員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小2 中9 高10 特7	9/21	・教育相談の実際 講師：明治大学 教授 諸富 祥彦

講座名	対象	修了人数	期日	内容
特別支援教育新担当教員研修講座〔知的、肢体、病弱、通級コース〕	特別支援学級（知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱）及び通級指導教室新担当教員	小21 中15	前期 5/17 後期 11/15	（前期） ・特別支援教育の基礎・基本 ・保護者との関係づくり ・障害特性に応じた指導 （後期） ・特別支援教育におけるICT活用の基礎・基本 ・特別支援学級、通級指導教室児童生徒の進路 ・障害特性に応じた指導 ～授業改善と評価～
特別支援教育新担当教員研修講座〔自・情、弱視、難聴コース〕	特別支援学級（自閉症・情緒障害、弱視、難聴）新担当教員	小19 中19	前期 5/20 後期 11/22	（前期） ・特別支援教育の基礎・基本 ・保護者との関係づくり・障害特性に応じた指導 （後期） ・特別支援教育におけるICT活用の基礎・基本 ・特別支援学級、通級指導教室児童生徒の進路 ・障害特性に応じた指導 ～授業改善と評価～
特別支援学級授業づくり研修講座	特別支援学級2～6年目担当教員	小2	前期 7/26 後期 9～12月から 1日	（前期） ・特別支援学級における授業づくり・授業をつくる （後期） ・現地研修（授業参観、助言）
自立活動研修講座		小3 中4 高7 特2 その他 1	6/23	・自立活動の指導の基本的理解 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 北川 貴章 ・自立活動の指導の充実に向けて
特別支援教育におけるICT活用「基礎・基本」研修講座	小学校及び中学校は特別支援学級担当教員	小2 中1 特24	8/24	・特別支援教育におけるICT活用について～基本的な考え方と実践で大事にしたいこと～ 講師：東北福祉大学 准教授 杉浦 徹 ・特別支援学校におけるICTを活用した実践 ・授業改善に向けて
教育相談（特別支援教育）研修講座	寄宿舎指導員も対象	小3 中3 高1 特19 その他 1	7/12 一部オンライン 講義	・本人・保護者の思いによりそう教育相談 講師：弘前大学 准教授 天海 丈久 ・学校における教育相談の実際 ・保護者との面談
通常の学級のユニバーサルデザイン研修講座	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小23 中2 高5 特3 その他 3	10/14	・通常の学級における教育のユニバーサルデザイン 講師：星槎大学大学院 教授 阿部 利彦 ・通常の学級における教育のユニバーサルデザイン ・自校の課題解決に向けて
読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援研修講座		小12 中10 高7	7/4 オンライン講義	・読み書きに困難のある児童生徒の学び方～タブレットPCを読み書きの道具にする方法～ 講師：学びプラネット合同会社 代表 平林 ルミ

講座名	対象	修了人数	期日	内容
発達支援と教材教具研修講座	・小学校は、特別支援学級及び通級指導教室担当教員 ・障害の程度の重い幼児児童生徒の初期の発達について学びたい教員	小6 特17 その他2	11/8	・発達支援と教材教具 講師：淑徳大学 准教授 池畑 美恵子 ・発達を促す授業の検討
子どもたちの学びを止めない！オンライン授業実践講座	小学校教職員、中学校教職員、高等学校教職員、特別支援学校教職員	小3 中3 高4 特5	6/27	・「個別最適な学びの実現」とオンライン授業 ・オンライン授業における著作権 ・Web会議システムを活用したオンライン授業 ・動画共有サービスを活用したオンライン授業 ・クラウドサービスを活用したオンライン授業
校内LAN講座 [はじめてのネットワーク]	初めて校内LANの管理をされる方、基礎的なPCのネットワーク設定について学びたい方	中1 高5 特1	5/19	・IPアドレスとネットワーク機器 ・PCのネットワーク設定
校内LAN講座 [Windows ServerAD管理]	高等学校教職員、特別支援学校教職員	高9 特3	7/26	・ユーザー・グループの管理 ・アクセス権の設定 ・バックアップとリストア
ゼロから学ぶChromebook初心者講座	はじめてChromebookを使用する方	小2 中7 高1	6/7	・Chromebookの基本操作 ・標準アプリの活用 ・電子黒板との接続 ・授業への活用
はじめてのMicrosoft Teams	Windows OSの基本操作ができる方で、はじめてMicrosoft Teamsを操作する方	小1 中3 その他1	5/31	・クラウドの活用について ・PowerPointによる動画作成 ・OneNoteの基本操作 ・Formsの基本操作 ・Teamsの基本操作 ・OneNoteとTeamsの連携 ・FormsとTeamsの連携
はじめてのGoogleWorkspace [iPad編]	iPadの基本操作ができる方で、はじめてGoogleWorkspaceを操作する方	中1 高3 特8	9/5	・クラウドの活用について ・Googleドライブの機能と基本操作 ・GoogleFormsの機能と基本操作 ・GoogleClassroomの機能と基本操作 ・GoogleClassroomの活用
はじめてのGoogleWorkspace [Chromebook編]	Chromebookの基本操作ができる方で、はじめてGoogleWorkspaceを操作する方	小3 中8 高2 その他2	9/5	・クラウドの活用について ・Googleドライブの機能と基本操作 ・GoogleFormsの機能と基本操作 ・GoogleClassroomの機能と基本操作 ・GoogleClassroomの活用
NetCommons活用講座	高等学校教員、特別支援学校教員	高8 特3	6/21～6/22	・情報モラルに関する基礎知識 ・設定・管理画面 ・基本ページの作成 ・ルーム管理 ・FTPによるファイル転送
小学校プログラミング教育研修講座	小学校教員、中学校教員、特別支援学校（小・中学部）教員	小16 特14 その他1	8/25	・小学校段階におけるプログラミング教育の在り方 講師：岩手県立大学 准教授 高木 正則 ・自校におけるプログラミング教育 ・プログラミングツールの演習

4 研究事業

本県学校教育の諸課題について調査研究を行い、その成果を公表及び提供します。

- 学校への還元を第一とし、教育活動に役立つ実践的・先導的な研究を行います。
- 学校での活用を進めるため、研究報告書、実践の手引き、指導資料等を作成して学校に提供します。
- 研究成果や研究過程を、Web上へ掲載し、広く県民に理解いただくとともに、全国に向け発信します。

(1) 研究の種類

① センター研究

本県学校教育の課題解決や学校支援に資する実践的・先導的な研究として、「学校におけるICTの効果的な利活用」をテーマとして、全指導主事が研究にあたり、成果物等をWebページに掲載した。

2022 センター研究 第I期（令和4年度）

グループ名	研究テーマ
国語	国語科の学習指導におけるICTの効果的な利活用に関する研究
社会、地理歴史、公民	「社会的事象等について調べまとめる技能」を育成するための1人1台端末を活用した授業計画開発研究
算数、数学	小中高の学びを体系的に考えるICTを活用した算数・数学科教育の研究
理科、物理、化学、生物、地学	ICTを活用した理科、物理、化学、生物、地学の授業づくり
音楽、図画工作、美術	ICTを活用した音楽、図画工作、美術科の授業づくりと評価
体育、保健体育	体育科・保健体育科の学習指導における1人1台端末の活用
家庭、技術・家庭	家庭、技術・家庭科の指導におけるICT活用に関する研究
外国語	言語活動の充実に向けた、ICT活用による効果的なアプローチに関する研究
特別支援教育	特別な支援を要する児童生徒への機能代替アプローチによるICT活用の理解啓発に関する研究～読み書きに困難のある児童生徒に焦点を当てて～

② 研究員研究（2年間）

義務教育課、産業教育課、特別支援教育課、教育相談課に所属する研究員が、所属課の領域に関する研究主題を設定して、個人研究を行い、研究論文を作成し、Web上に掲載した。

(2) 「あおり教育研究発表会2022」

2年目研究員の研究発表、センター研究の発表、県内の学校からの実践発表、外部講師による講演会等を行った。

5 教育相談事業

幼児・児童及び生徒の教育に関する諸問題の解決に向け、医師等の専門相談員の指導助言を受けながら、本人、保護者及び教育関係者の相談に応じた。

相談件数

相談件数(件)		電話(件)	来所(件)
2,798	①教育相談課 2,614	1,465	1,149
	②特別支援教育課 184	82	102

6 資料・情報の収集・提供の事業

学校教育に関する資料及び情報を収集・整理し、これを保存するとともに、研修、研究その他に活用できるように提供した。

(所蔵資料数)

図書	20,673冊
資料(教科等関係)	4,068冊
視聴覚教材	427本

7 その他の事業

(1) 広報事業

センターの事業について理解を得、周知徹底を図るため、刊行物・Webページ等により広報事業を進めた。

主な内容は次のとおりである。

要覧の発行

研修講座等のWebページ公開

「教育相談のご案内」等のリーフレットの配布

「教育広報あおりけん」(教育庁教育政策課発行)等への記事提供

「センターだより」の発行とWebページ公開(年5回)

「開催した講座の様子」のWebページ公開

(2) 情報化の推進

学校教育の情報化推進に関する相談や情報通信ネットワークに関する技術支援を行った。

①「教育の情報化」支援

学習用タブレットや電子黒板等のICT機器の整備や活用法など教育の情報化に関わる技術の提供。

②教育情報の提供

ア 教育の情報化に向けたICTサポート状況や「WEB授業動画配信」など授業で役立つ情報の提供。

イ 青森県教育ネットワーク(ASN)に関わる技術支援及び情報の提供。

(3) 校内研修等講師派遣事業

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援する。

① 申込方法

当センターWebページの「Web申込みフォーム」から申し込む。

② 研修までの流れ

日時が決定し、文書が通知された後、担当者間で詳細な打合せを行う。

(4) 教科指導等サポート事業

県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートする。

① 利用方法

当センターWebページの「質問入力フォーム」から入力する。

② サポートの方法

当センター指導主事が、電話、電子メール、オンライン等により情報を提供してサポートする。

(5) 青森県総合学校教育センター センターセミナー（年2回）

教育の今日的課題や学校を取り巻く喫緊の課題についての理解を深めるため、著名な講師を迎えセミナーを開催した。

① センターセミナーⅠ

「不登校児童生徒への支援」

参加者：70名

FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 氏を講師に迎え、年々増加傾向にある不登校児童生徒への支援について、花輪先生が出会った数多くの不登校児童生徒や保護者、教師との事例をもとに、子ども達の社会的自立や学校復帰に向けて、周囲の大人はどのような支援を行えばよいのかを、具体的な言葉や行動で示唆していただいた。

② センターセミナーⅡ

「子どもと教師の未来を拓く総合戦略」

参加者：47名

甲南女子大学 教授 村川 雅弘 氏を講師に迎え、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、どのように授業改善をしたらよいのか御講義いただいた。子どもが主体的に学ぶための方策やカリキュラム・マネジメントなどの具体について理解を深めた。

5章 青森県営体育施設

[1] 施設の概要

1 新青森県総合運動公園

- (1) 所在地 青森市大字宮田字高瀬22の2
(2) 設置年月日 平成15年1月8日
(3) 敷地面積 626,000㎡
(4) 施設 ①～③の総合体育館には、「マエダアリーナ」、⑦の陸上競技場には、「カクヒログループアスレチックスタジアム」の特定呼称が付与されています。

① メインアリーナ・サブアリーナ

構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び一部鉄骨造
競技施設

(メインアリーナ) 面積2,944㎡ (64m×46m)

バレーボール4、バスケットボール3、テニス3、ハンドボール2、卓球24、バドミントン14、柔道、体操、その他
観覧席 5,348人

(固定席3,368人、移動席1,980人)

(サブアリーナ) 面積1,472㎡ (46m×32m)

バレーボール3、バスケットボール2、テニス2、ハンドボール1、卓球12、バドミントン6、柔道、その他
(その他) シャワー室、ロッカー室、研修室等

② 室内プール 25m 8 コース

③ 合宿所

構造 鉄筋コンクリート造

面積 3,700㎡

収容人数等 145名

部屋タイプ：シングル20、ツイン28、トリプル3、和室(15畳)6
食堂約100名収容、談話室、ランドリールーム、浴室、その他

④ テニスコート (平成23年7月23日サブコート供用開始)

面積 20,800㎡

競技施設 砂入人工芝24面(内4面サブコート)、一部ナイター照明有

観覧席 4,213席

その他 クラブハウス(トイレ、ロッカー室、シャワー室、休憩ラウンジ)、
かべ打ちテニスコート

⑤ 多目的運動場

面積 21,150㎡

競技施設 天然芝

⑥ 球技場 (平成24年6月23日供用開始)

面積 フィールド11,620㎡ (140m×83m)

競技施設 天然芝、ナイター照明完備、電光掲示板

観覧席 3,300席(固定席1,500席、芝生席1,800席)

そ の 他 本部棟（本部室、放送室、審判控室、事務室、介護室）
更衣室・トイレ棟（更衣室2チーム分、トイレ、シャワー室）
トイレ棟
倉庫

- ⑦ 陸上競技場（令和元年9月1日供用開始）
面 積 43,438.1㎡
競技施設 トラック1周400m、直線140m、9コース、フィールド(天然芝)、走幅跳・三段跳砂場6、棒高跳6、走高跳7、砲丸投3、やり投2、円盤投・ハンマー投2
観 客 席 20,809席
- ⑧ 補助陸上競技場（令和元年9月1日供用開始）
面 積 22,802.4㎡
競技施設 トラック1周400m、8コース、フィールド(天然芝)、走幅跳・三段跳砂場6、棒高跳6、走高跳7、砲丸投3、やり投2、円盤投・ハンマー投2
観 客 数 320席
- ⑨ 投てき・アーチェリー場（令和元年9月1日供用開始）
面 積 23,394.9㎡
競技施設 フィールド(天然芝)、砲丸投3、円盤投・ハンマー投1、やり投1
- ⑩ スポーツ科学センター
面 積 3,089.21㎡
施設内容 トレーニングルーム、体力測定室、メンタルトレーニング室、カウンセリング室、スポーツ科学研究室、スタジオ、リコンディショニング室、キッズルーム
- ⑪ 遊具広場
面 積 11,000㎡
整備施設 複合遊具 2基（児童用 1基、幼児用 1基）
跳躍遊具 2基（児童用 1基、幼児用 1基）
単体遊具 16基（児童用 14基、幼児用 2基）
健康遊具 10基（大人用）
監視カメラ 1台
四 阿 3基
ベ ン チ 3基

2 青森県総合運動公園

- (1) 所在地 青森市大字安田字近野234の7
(2) 設置年月日 昭和41年6月5日
(3) 敷地面積 171,000㎡
(4) 競技施設
- ① 野球場
グラウンド 本塁・センター間121m 両翼93m
観 覧 席 21,016人

メインスタンド 1,492人
内野スタンド 3,524人
外野スタンド 16,000人

② 水泳場

競技施設 屋外プール(50m・日本水泳連盟公認)・屋内プール(25m)、徒渉プール
(変形)・深水プール

観覧席 800人

※屋内プールは休止中

(5) 公園施設

① 中央広場

② 展望広場 面積 1,052.2㎡

③ 旧陸上競技場(旧主競技場及び旧補助競技場)

※令和2年7月17日園地として一般開放

3 盛運輸アリーナ(青森県営スケート場)

(1) 所在地 青森市大字浜田字豊田地内

(2) 設置年月日 昭和60年11月1日

(3) 敷地面積 42,913.815㎡

(4) 建築面積 11,884.208㎡

(5) 施設規模

① 屋内施設

(ア) スケートリンク 冬期間はアイススケートリンク、夏期間はインラインスケートリンク
1周250mスピードリンク1面、ホッケーリンク1面
(30m×60m)

(イ) スポーツライミング施設 ボルダリング壁 高さ 約5.3m 幅 約18m
リード壁 高さ 約13.7m 幅 約12m

(ウ) 観覧席 1,058席(固定席)

(エ) 事務室、会議室、選手控室、食堂、ロッカー室、貸靴コーナー、採暖室他

(オ) 機械室(空調、ボイラー、電気室等)

② 屋外施設

(ア) 運動広場 3,900㎡

(イ) ジョギングコース 1周860m

4 青森県武道館

- (1) 所在地 弘前市大字豊田2丁目3番
(2) 設置年月日 平成12年5月1日
(3) 敷地面積 22,810㎡
(4) 施設

① 武道館

構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造

競技施設

(主競技場) 面積2,265㎡ (47.6m×47.6m)、相撲1 (移動式土俵)、柔道8、
剣道9、バスケットボール2、バレーボール2、卓球20、
バドミントン10、テニス2、体操、その他
観覧席5,000人

(固定席1,700人、移動式席640人、移動椅子席2,660人)

(補助競技場) 面積 419㎡、各種競技の練習等の多目的利用

(柔道場) 面積 529㎡、2面

(剣道場) 面積 529㎡、2面

(相撲場) 面積 777㎡、常設土俵1、支度部屋、観覧席480人 (ます席)

(近的弓道場) 面積 1,344㎡、射場12人立、射程28m、観覧席100人

(トレーニング室)、(会議室)、(軽食・喫茶室)

② 合宿棟

構造 鉄筋コンクリート造

面積 1,626.9㎡

宿泊人員等 宿泊100人程度、和室16室 (1～4階)、ミーティングルーム兼食堂

③ 遠的弓道場

構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造

競技施設 射場 6人立、射程 60m

観覧席 100人程度 (固定席)

〔2〕 事 業

1 指定管理者による各施設の管理・運営

- ・新総合運動公園
指定管理者 スポーツ青い森グループ
- ・総合運動公園
指定管理者 スポーツ青い森グループ
- ・盛運輸アリーナ（県営スケート場）
指定管理者 豊産管理(株)
- ・県武道館
指定管理者 （公財）弘前市スポーツ協会

令和4年度に新総合運動公園(マエダアリーナ、カクヒログループアスレチックスタジアム等)、総合運動公園、盛運輸アリーナ(県営スケート場)及び県武道館で行われた主な大会等は、次の表のとおりである。

(1) 施設の利用状況

① 主な大会等

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	・マエダアリーナ（メイン/サブ）	
	青森県中学生剣道錬成会	4月16日
	第41回全日本クラブ卓球選手権大会青森県予選会	4月17日
	青森県特別支援学校技能検定・発表会第1回ワーキングチーム会議	4月21日
	令和4年度青森市春季中学校バスケットボール大会	4月22日～23日
	2021-22 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦 青森ワッツVSアースフレンズ東京Z	4月22日～24日
	第29回青森県バウンドテニス選手権大会	4月24日
	あおもりスポーツアカデミー事業「第1回育成プログラム及び認定授与式」	4月28日～29日
	令和4年度青森市春季中学校バスケットボール大会	4月29日
	2022東北ジュニアトランポリンカップシリーズ第1戦	4月30日
	青森県フットサルリーグ	5月1日
	青森県中学校春季バドミントン選手権大会	5月3日～4日
	青森県中学校春季選手権大会	5月4日～5日
	審判伝達講習会 兼 東青ブロック強化練習会	5月7日
	青森市社会人卓球リーグ戦（前期）	5月8日
	令和4年度青森県高等学校春季バドミントン大会	5月12日～15日
	BEST OF THE SUPER Jr.29	5月21日
スポーツ交流会	5月21日	
第4回 AOMORI VENUS CUP（女子新体操競技）	5月27日～28日	
青森市小・中学校卓球大会	5月28日	
青森県フットサルリーグ	5月29日	
第75回青森県高等学校総合体育大会バドミントン競技	6月3日	
第75回青森県高等学校総合体育大会バスケットボール競技	6月3日～6日	
青森県特別支援学校技能検定・発表会	6月9日	

区分	行 事 名	期 間
新	第72回青森県高等学校定時制通信制総合体育大会卓球競技	6月11日
	青麗杯・玄妙杯・県予選会	6月12日
	令和4年度宮田保育園運動会	6月17日
	令和4年度第73回青森市中学校体育大会夏季大会（卓球競技）	6月17日～20日
	第75回東北高等学校ハンドボール選手権大会	6月23日～26日
	第15回青森県民スポーツ・レクリエーション祭ソフトバレーボール競技	7月1日～2日
	第15回青森県民スポーツ・レクリエーション祭トランポリン競技・エアロビク競技	7月2日～3日
	青森県特別支援学校技能検定・発表会第2回ワーキングチーム会議	7月7日
	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会青森県予選会	7月9日
	令和4年度あおもりスポーツアカデミー事業「第2回育成プログラム」	7月9日
青	青森市卓球協会100周年記念第1回VICTAS杯卓球選手権大会	7月10日
	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会青森県予選会	7月10日
	令和4年度第2回青森県特別支援学校総合スポーツ大会	7月13日～14日
	令和4年度第73回青森県中学校体育大会夏季大会	7月16日～17日
	青森県私立高等学校バレーボール選手権大会兼東北私立高等学校バレーボール選手権大会青森県予選会	7月23日
	令和4年度全日本卓球選手権大会（カデットの部）青森県予選会	7月23日～24日
	U-14サマーリーグ	7月30日
	青森県中学校剣道錬成会	8月2日～3日
	第37回青森県トランポリン競技選手権オープン大会	8月6日
	JFA全日本U-15フットサル選手権大会青森県大会	8月6日～7日
森	第49回東北総合体育大会バレーボール競技	8月18日～21日
	第49回東北総合体育大会バスケットボール競技	8月25日～28日
	NHK杯第44回青森県小学生バレーボール大会兼第37回東北小学生バレーボール選手権大会青森県予選会	9月3日
	AHBA-BASEカップU-12ミニバスケットボール大会	9月9日～11日
	第23回あおもりシニアフェスティバル「スポーツイベント」ソフトバレーボール交流大会	9月11日
	AHBA-BASEカップU-12ミニバスケットボール大会	9月15日
	令和4年度第73回青森市中学校体育大会秋季大会	9月16日～20日
	東北地区支部設立57周年記念講演会	9月23日～24日
	第23回あおもりシニアフェスティバル「スポーツイベント」バウンドテニス交流大会	9月25日
	第23回あおもりシニアフェスティバル「スポーツイベント」ラジボール卓球・交流大会	9月25日
県	2022-23 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦	9月30日～10月2日
	令和4年度あおもりスポーツアカデミー事業「第3回育成プログラム」	10月1日
	青森県フットサルリーグ	10月2日
	令和4年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練	10月7日～8日
	社会福祉法人和幸園大運動会	10月8日
	第37回東北小学生バレーボール選手権大会	10月8日～10日
	第32回全国産業教育フェア青森大会	10月12日～17日
	青森県特別支援学校技能検定・発表会第4回ワーキングチーム会議	10月19日～20日
	令和4年度青森県高等学校体操競技・新体操選手権大会青森県予選会・令和4年度東北ジュニア新体操選手権大会青森県予選会	10月23日
	バトル・オータム'22	10月23日
園	2022-23 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦 青森ワッツVSアルティエーリ千葉	10月25日～27日
	第72回青森県高等学校秋季ハンドボール選手権大会	10月28日～29日
	第72回青森県高等学校秋季ハンドボール選手権大会	10月30日
	第72回青森県高等学校秋季ハンドボール選手権大会	10月30日

区分	行 事 名	期 間
新	第25回青森県ユニバーサルホッケー選手権大会	10月30日
	第33回ナガセ杯東北レディースインドア大会県予選会	11月1日
	第41回秋季選抜大会小学生バレーボール青森大会	11月3日
	2022-23 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦 青森ワッツVS西宮ストークス	11月4日～6日
	令和4年度あおもりスポーツアカデミー事業「発掘プログラム(一次選考会)」	11月5日～6日
	TTCスポーツ科学セミナー	11月12日
	あおもりマーチングフェスタ2022	11月13日
	第64回NHK杯青森県卓球選手権大会	11月18日～20日
	第20回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会青森県大会	11月23日
	ハーツバスケット大会冬	11月26日
青	東京卓球選手権大会青森県予選会	11月26日～27日
	Motoki CUP (バスケットボール競技)	12月3日
	第6回青森県剣道総合錬成会 (コーチスキルアップ事業)	12月4日
	東北女子フットサル選手権大会 兼 全日本女子フットサル選手権大会東北大会	12月9日～11日
	U-15バスケットボール強化練習会	12月11日
	令和4年度全国ミニバスケットボール大会青森県予選	12月16日～18日
	県下高校室内テニス大会	12月24日～25日
	県ジュニア冬季強化合宿	12月26日
	第58回青森県高等学校ソフトテニスインドア大会	12月26日～28日
	令和4年度青森地区江東区ソフトテニスインドア大会	1月5日～6日
森	青森県卓球連盟強化リーグ	1月7日～9日
	あおもりフットサルリーグ2022	1月9日
	青森県中学冬季バドミントン選手権大会	1月13日～14日
	全国ホープス選抜卓球大会青森県予選会	1月15日
	2022-23 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦 青森ワッツVS熊谷アルファーズ、VSライジングゼファー福岡	1月18日～22日
	TSC青森ソフトテニス強化大会	1月21日～22日
	令和4年度青森県高等学校新人バレーボール選手権大会	1月27日～30日
	令和4年度第46回東北高等学校選抜卓球大会兼第50回全国高等学校選抜卓球大会東北予選会	2月2日～5日
	教員指導者研修会	2月5日
	会長杯 第1回青森オープン小学生卓球大会	2月11日～12日
県	青森県選抜中学校インドアソフトテニス選手権大会	2月18日～19日
	令和4年度あおもりスポーツアカデミー事業「第5回育成プログラム」	2月23日
	東青地区小・中学校ソフトテニス講習会 (Step 1 講習会)	2月23日
	青森フットサルフェスティバル (U-14) 2023	2月25日
	青森市社会人卓球リーグ戦 (後期)	2月26日
	あおもりフットサルリーグ2022	2月26日
	2022-23 B2.LEAGUE青森ワッツ公式戦 青森ワッツVS熊本ヴォルターズ	3月3日～5日
	JFA女子サッカーデー2022青森in新運動公園サブアリーナ	3月4日
	令和4年度青森地区交流会 (硬式テニス)	3月10日
	青森市ジュニア卓球選手権大会及び青森市カブ・バンビ卓球大会	3月11日
総	第25回青森県ユニバーサルホッケー交流大会	3月12日
	あおもりフットサルリーグ2022	3月12日
	ボネーラカップフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	ボネーラカップフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
合	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
運	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
動	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
公	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
園	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日
	あおもりフットサル大会	3月12日

区分	行 事 名	期 間
新	ハーツバスケット大会春	3月18日
	AOFA青森県フットサル選手権大会	3月19日
	青森県公認ソフトテニス審判員講習会兼青森県ソフトテニスジュニアショートテニス大会	3月19日
	第22回青森マスターズフットサル	3月21日
	2022-23 B2LEAGUE青森ワッツ公式戦 青森ワッツVSアルティエーリ千葉	3月24日～26日
青	・テニスコート	
	令和4年度青森地区高等学校ソフトテニス春季大会	4月16日
	青森県シングルス・ソフトテニス選手権大会	4月17日
	令和4年度県下高校春季テニス選手権大会中央地区予選会	4月23日～24日
	青森市民春季ソフトテニス大会	4月29日
森	令和4年度青森オープンジュニアチーム対抗テニス大会	4月30日～5月1日
	青森県ジュニア選手権	5月3日～5日
	第72回青森県高等学校ソフトテニス春季大会	5月6日～9日
	令和4年度青森県マスターズテニス春季大会	5月12日
	青森県ソフトテニス選手権大会	5月15日
県	青森県春季シングルス選手権 兼 国スポ一時予選会(男子A・B級)	5月15日
	第62回東北ソフトテニス選手権大会	5月20日～22日
	第44回全日本レディース青森県大会	6月2日
	第75回青森県高等学校総合体育大会テニス競技	6月3日～6日
	第44回全日本レディース青森県大会	6月9日
総	令和4年度青森県高体連テニス専門部中央地区強化練習会	6月11日
	第72回青森県高等学校定時制通信制総合体育大会ソフトテニス競技	6月11日～12日
	青森県春季ダブルス選手権 兼 国スポ一次予選	6月12日
	東北シニアテニスオープン青森大会	6月14日
	ダンロップキャンピング北東北	6月18日～19日
運	Princeレディーストーナメント2022	6月22日～23日
	第18回青森県レディースミズノカップ大会	6月23日
	第5回東北学連杯争奪東北小学校ソフトテニス大会	6月25日～28日
	青森県少年国スポ選手選考会ダンロップジュニア選手権	7月2日～3日
	第15回青森県民スポーツ・レクリエーション祭	7月3日
動	青森市シングルス・ソフトテニス大会	7月9日
	令和4年度東青地区審判講習会および強化練習会	7月10日
	ピンクリボンレディーステニス大会by Admiral	7月13日～14日
	令和4年度第73回青森県中学校体育大会夏季大会ソフトテニス競技	7月16日～18日
	第17回青森県ジュニア・オープンソフトテニス大会	7月23日～24日
公	青森県サマーカップジュニアテニス大会U-15S・D	7月27日
	青森県サマーカップジュニアテニス大会U13	7月28日
	第49回東北総合体育大会テニス競技	7月29日～31日
	青森県ヨネックスカップジュニア選手権	8月6日～7日
	北海道・北東北高校テニス選手権大会	8月9日～10日
園	青森県ソフトテニス連盟強化練習会	8月12日～13日
	第72回東奥日報杯県下総合ソフトテニス選手権大会	8月14日

区分	行 事 名	期 間	
新 青 森 県	青森県ジュニア夏季強化練習会	8月17日～18日	
	第49回東北総合体育大会「ソフトテニス競技」兼 第77回国民体育大会東北予選会	8月19日～21日	
	令和4年度青森地区高等学校ソフトテニス新人大会	8月27日	
	東北DUNLOP SRIXON県予選男女ABベテラン男女	8月28日	
	令和4年度青森地区高等学校ソフトテニス新人大会団体戦	8月28日	
	第44回県下レディースルーセント杯選手権大会（団体戦）	9月1日	
	東北秋季ジュニアテニス選手権大会	9月3日～4日	
	青森県秋季シングルス選手権男女A・Bベテラン男女	9月4日	
	ヨネックスレディースチャレンジカップ2022	9月7日	
	青森市民クラブ対抗ソフトテニス大会	9月10日	
	第15回青森市小学生ソフトテニス大会	9月10日	
	MUFGジュニア'23県予選	9月11日	
	第68回青森市・函館市・盛岡市・秋田市4都市対抗ソフトテニス大会	9月11日	
	第67回青森県高等学校ソフトテニス新人大会	9月16日～18日	
第4回みちのくベテランテニス選手権大会	9月19日～25日		
県	第23回あおもりシニアフェスティバル「スポーツイベント」テニス交流大会	9月25日	
	第15回YONEX杯青森県レディース大会	9月29日	
	青森県下中学校ソフトテニス選手権大会	10月1日～2日	
	東北春季ジュニア県予選	10月8日～9日	
	総	第17回青森県ミックスダブルス・ソフトテニス大会	10月10日
		DUNLOP SRIXONジュニアダブルス選手権	10月15日～16日
		東北インドアダブルス選手権	10月16日
		第24回ルーセントカップin青森	10月22日～23日
	合	青森県学生テニス選手権大会	10月29日～30日
		青森フレンドリーシップカップテニス大会	11月13日
運 動 公 園	・多目的運動場（旧アーチェリー場）		
	青森オープンバタック大会	5月8日	
	2022U12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～	6月4日	
	2022U12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～	6月18日	
	U10青森県少年サッカー大会青森地区予選	7月16日～18日	
	U11青森県少年サッカー大会青森地区予選	8月6日～7日	
	U11青森県少年サッカー大会青森地区予選	8月20日～21日	
	2022U12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～	9月3日～4日	
	2022U12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～	9月17日	
	第23回あおもりシニアフェスティバル「スポーツイベント」バタック・ゲートボール交流大会	9月24日～25日	
2022U11サッカーチビリン大会 青森地区予選会	9月29日～30日		
園	・球技場		
	第24回JFLラインメール青森FCホーム戦	4月30日～5月1日	
	第75回青森県高校総合体育大会サッカー競技	6月2日～4日	
	第24回JFLラインメール青森FCホーム戦	6月11日～12日	
	令和4年度U-16東北ブロックトレンセン・U-17東北ブロックアウト並びに高校日本代表候補1次選考会	6月23日～26日	

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	第24回JFLラインメール青森FCホーム戦	7月9日～10日
	令和4年度第2回青森県特別支援学校総合スポーツ大会	7月13日～14日
	青森ユースサッカーフェスティバル	8月11日～13日
	第24回JFLラインメール青森FCホーム戦	9月2日～3日
	第30回青森県民駅伝競走大会	9月4日
	第24回JFLラインメール青森FCホーム戦	9月24日～25日
	青森県高等学校男子・女子駅伝競走大会	10月20日
	第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会青森県予選会	10月26日～29日
	第24回JFLラインメール青森FCホーム戦	11月12日～13日
	・室内プール	
	小学校体育実技(着衣泳)研修講座	4月26日
	第30回青森県障害者スポーツ大会水泳競技の部	9月4日
	令和5年度青森県公立学校教員採用候補者選考試験二次試験	9月23日
	・陸上競技場(主/補助)	
	第24回日本フットボールリーグ第5節ラインメール青森FC対クリアソン新宿	5月5日
	青森県春季陸上競技選手権	5月6日～8日
	第36回東青地区中学校春季陸上競技選手権大会 兼 2022年東青小学生陸上競技記録会	5月21日～22日
	第75回青森県高等学校総合体育大会陸上競技兼第72回青森県高等学校校定時制・通信制総合体育大会陸上競技	5月27日～31日
	第75回青森県高等学校総合体育大会サッカー競技	6月4日～6日
	第35回青森県自治体職員職域対抗駅伝大会	6月11日
	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会知的障害者サッカー競技	6月11日～12日
	東北高等学校総合体育大会陸上競技	6月13日～17日
	令和4年度第73回青森市中学校体育大会夏季大会	6月18日～19日
	第69回青森市小学校体育デー	6月23日～24日
第24回日本フットボールリーグ第13節ラインメール青森FC対高知ユナイテッドSC	6月25日	
全国小学生陸上競技交流大会青森県予選会	6月26日	
令和4年度青森県立青森工業高等学校運動会	7月1日	
全日本中学校通信陸上競技青森県大会	7月2日～3日	
第22回全国障害者スポーツ大会陸上競技強化練習会	7月10日	
令和4年度第2回青森県特別支援学校総合スポーツ大会	7月14日	
第24回日本フットボールリーグ第16節ラインメール青森FC対鈴鹿ポイントゲッターズ	7月16日	
令和4年度第73回青森県中学校体育大会夏季大会	7月16日～18日	
東奥学園高等学校体育祭	7月20日	
第13回東青地区陸上競技選手権大会兼第41回青森県小学生交流陸上競技大会東青ブロック予選	7月23日～24日	
青森ユースサッカーフェスティバル	7月29日	
第50回市職労団結駅伝大会	7月30日	
全国小学生陸上競技交流大会青森県選手結団式	7月31日	
2026国スポ強化事業・2022年度中学校・高校合同夏季県内選抜強化合宿	8月4日～5日	
全国統一かけっこチャレンジ2022	8月6日	
第22回全国障害者スポーツ大会陸上競技強化練習会	8月7日	
東北中学校陸上競技選手権大会	8月7日～10日	

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	青森ユースサッカーフェスティバル	8月14日～15日
	東北総合体育大会陸上競技	8月19日～21日
	第1回東青地区陸上競技記録会	8月22日
	第30回青森県障害者スポーツ大会陸上競技の部	8月27日～28日
	第30回青森県障害者スポーツ大会フライングディスク競技の部	8月27日～28日
	令和4年度青森県立東高等学校体育祭	9月1日
	第30回青森県民駅伝競走大会	9月3日～4日
	青森県高等学校新人陸上競技選手権大会	9月9日～11日
	令和4年度第73回青森市中学校体育大会秋季大会	9月17日～18日
	長距離記録会	9月18日
	ファミリー向けサッカーフェスティバル	9月19日
	ユニバース・S&B杯ちびっこ健康マラソン大会	9月30日～10月1日
	第43回青森市民駅伝第5回長距離記録会	10月8日
	U15青森県あすなろサッカーリーグ	10月8日
	第24回日本フットボールリーグ第24節ラインメール青森FC対奈良クラブ	10月8日～9日
	第22回全国障害者スポーツ大会陸上競技強化練習会	10月10日
	青森県立青森南高等学校第47回マラソン大会	10月14日
	青森県障害者スポーツ選手等・強化事業陸上競技強化練習	10月15日
	青森県小学生リレーマラソン	10月16日
	青森県高等学校男子・女子駅伝競走大会	10月20日
第24回フットボールリーグ第26節ラインメール青森FC対FC大阪	10月22日～23日	
青森県秋季陸上競技選手権大会	10月28日～30日	
第101回全国高校サッカー選手権大会青森県大会準決勝及び代表決定戦	11月2日～6日	
JAAFアスリート育成プロジェクトU13クリニック	11月3日	
駅伝選考会	11月5日	
北海道ラグビー中学校選抜	11月11日	
長距離強化練習会	11月23日	
国体に向けた長距離強化練習会	12月3日	
オリンピック巡回指導事業	12月4日	
あおりりディスタンス冬季トライアル	12月10日	
国体に向けた長距離強化練習会	12月11日	
県中体連陸上競技選抜練習会	12月11日	
第1回冬季国体県内選抜週末強化練習会	12月17日～18日	
2022年度日本陸上競技連盟U-19強化練習会	12月24日～27日	
国体に向けた長距離強化練習会	1月7日～8日	
県中体連陸上競技選抜練習会	1月8日	
冬季県内選抜週末強化練習会	1月14日～15日	
あおりりディスタンス冬季トライアル	1月28日	
冬季県内選抜週末強化練習会	1月29日	
あおりりディスタンス冬季トライアル	2月18日	
冬季県内選抜週末強化練習会	2月25日～26日	
冬季県内選抜週末強化練習会	3月4日～5日	
あおりりディスタンス冬季トライアル	3月18日	

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	県中体連陸上競技選抜練習会	3月26日
	・投てき、アーチェリー場	
	青森県春季陸上競技選手権	5月4日～8日
	第75回青森県高等学校総合体育大会アーチェリー競技	6月3日～5日
	東北高等学校総合体育陸上競技	6月13日～17日
	国民体育大会アーチェリー競技青森県予選会兼青森県アーチェリー記録会	7月2日～3日
	アーチェリー青函対抗	7月16日～17日
	第1回青森県高校アーチェリー記録会	7月28日～29日
	夏季選手強化講習会	7月30日～31日
	2026国スポ強化事業・2022年度中学校・高校合同夏季県内選抜強化合宿	8月3日～5日
	東北総合体育大会アーチェリー競技	8月19日～21日
	第30回青森県障害者スポーツ大会陸上競技の部	8月28日
	第30回青森県障害者スポーツ大会アーチェリー競技の部	9月3日
	第30回青森県民駅伝競走大会	9月4日
	青森県高等学校新人陸上競技選手権大会	9月9日～11日
	第23回あおもりシニアフェスティバル「スポーツイベント」グラウンドゴルフ大会	9月24日～25日
	全国高等学校アーチェリー選抜大会県予選会兼第2回青森県高校アーチェリー記録会	9月30日～10月1日
	青森県アーチェリー選手権大会	10月2日
	投てき記録会	10月15日
	青森県高等学校男子・女子駅伝競走大会	10月20日
青森県秋季陸上競技選手権大会	10月28日～30日	
・多目的広場		
全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会知的障害者サッカー競技	6月10日～12日	
第23回あおもりシニアフェスティバル「スポーツイベント」グラウンド・ゴルフ交流大会	9月24日～25日	
青 森 県 総 合 運 動 公 園	・野球場	
	令和4年度青森地区高等学校野球大会	4月16日～17日
	令和4年度青森地区高等学校野球大会	4月23日～24日
	青森山田学園高校野球招待試合	4月28日
	令和4年度青森地区高等学校野球大会	4月29日～30日
	第20回青森市軟式野球連盟会長旗争奪学童軟式野球大会兼高円宮賜杯第42回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント青森支部予選会	5月1日
	第20回青森市軟式野球連盟会長旗争奪学童軟式野球大会兼高円宮賜杯第42回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント青森支部予選会	5月3日～4日
	至孝旗争奪野球大会	5月5日
	令和4年度春季高等学校野球選手権大会五所川原地区予選会	5月7日～9日
	令和4年度春季青森県高等学校野球選手権大会青森地区予選会	5月12日～13日
	令和4年度北東北大学野球春季リーグ戦	5月14日～16日
	2022年度イースタン・リーグ公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス対北海道日本ハムファイターズ」	5月22日
	令和4年度春季青森地区高等学校野球大会	5月29日
	高円宮賜杯第66回全日本軟式野球大会（2部）青森県予選	6月4日～5日
第4回青森県スーパーエイジ野球大会	6月6日	
青森県古希軟式野球大会	6月9日	
エービッツ旗学童親善野球大会	6月11日～12日	

区分	行 事 名	期 間
青 森 県 総 合 運 動 公 園	令和4年度第73回青森市中学校体育大会夏季大会野球競技 青森県古希軟式野球大会	6月18日～21日 6月23日
	第35回JVA青森市長旗争奪野球大会	6月25日～26日
	令和4年度JA全農東北地区野球大会	6月30日～7月3日
	第53回青森県少年軟式野球大会青森支部予選会	7月9日～10日
	青森県50歳野球大会	7月16日～17日
	第62回全日本実業団男子ソフトボール大会	7月20日～26日
	天皇賜杯第77回全日本軟式野球大会青森県予選 青森県50歳野球大会	7月30日 7月31日
	文部科学大臣杯第14回全日本少年秋季軟式野球大会兼第20回東北少年軟式野球新人大会青森支部予選会	8月6日～7日
	令和4年度秋季青森地区高等学校野球大会	8月11日～12日
	第20回東北学童軟式野球新人大会青森支部予選会	8月14日
	令和4年度秋季青森地区高等学校野球大会	8月16日～17日
	令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会	8月19日～22日
	2022年度北東北大学野球秋季リーグ戦	8月27日～29日
	令和4年度秋季青森県高等学校野球選手権大会青森地区予選会	9月2日～5日
	令和4年度秋季青森県高等学校野球選手権大会青森地区予選会	9月9日～12日
	令和4年度秋季青森県高等学校野球選手権大会	9月16日～20日
	第5回NEXTチャレンジカップ	9月24日
	第6回CBS少年軟式野球「6年生選抜」全国大会青森大会 山田カップ2022	10月1日～2日 10月16日
	令和4年度青森地区高等学校野球連盟新人研修大会青森地区大会 令和4年度中学生強化事業青森県選抜交流会	10月22日～23日 10月29日～30日
	第6回CBS少年軟式野球「学童新人」全国大会青森県予選会 令和4年度青森地区高等学校野球連盟親善野球大会 第6回CBS少年軟式野球「学童新人」全国大会青森県予選会	11月3日 11月5日 11月6日
・水泳場 第75回青森県高等学校選手権水泳競技大会第70回東北高等学校選手権水泳大会県予選会 第26回青森県選手権水球競技大会 令和4年度第73回青森県中学校体育大会夏季大会 令和4年度国民体育大会北海道・東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会(水球)	6月18日～20日 6月25日～26日 7月16日～19日 7月29日～31日	
盛 運 輸 ア リ ー ナ (県 営 ス ケ ー ト 場)	THE RAMPAGE from EXILE TRIBE スポーツクライミングリード認定講習会 第77回国民体育大会スポーツクライミング競技青森県予選大会 インラインスケートリンクオープン・オープンイベント ジュニアインラインホッケー教室 インラインスケートスクール全9コース 3on3 インラインホッケー大会 THE RAMPAGE from EXILE TRIBE 国民体育大会兼東北総合体育大会スポーツクライミング競技 Housan Cup インラインホッケー大会 インラインスケートフェスタ	4月16日 4月24日 4月29日 4月29日 4月～8月 5月 5月29日 6月11日～12日 7月13日～19日 7月20日～29日 8月14日

区分	行 事 名	期 間
盛 運 輸 ア リ ー ナ (県 営 ス ケ ー ト 場)	青森県合同企業説明会	8月19日
	青森放送㈱2022RABまつり	9月10日～11日
	ヨコハマタイヤ試乗会	10月19日
	ブリヂストンタイヤ試乗会	10月20日～21日
	アイススケートリンクオープン・オープンイベント	10月22日～23日
	ジュニアアイスホッケー教室	10月～3月
	Housan Cup アイスホッケー大会	11月8日～16日
	第37回市内クラブ対抗アイスホッケーリーグ戦	11月30日～12月18日
	アイススケートスクール全10コース	11月～3月
	日本スケート連盟「基礎スケート青森教室」	12月17日
	クリスマスイベント	12月25日
	中・長距離陸上教室	12月～3月
	新年オープンイベント	1月2日～3日
	フィギュアスケート教室	2月
	氷上綱引き大会	2月5日
第36回市長杯争奪市民アイスホッケーリーグ戦	2月7日～25日	
氷まつり	2月12日	
アイスホッケーファイティングマッチ	3月7日～17日	
アイスホッケーファイナルマッチ	3月21日	
スケート場感謝祭	3月21日	
青 森 県 武 道 館	2021-2022B2リーグ青森ワッツホームゲーム	4月13日
	弘前地区春の安全・安心まちづくり推進大会	4月21日
	全国ホープス卓球大会弘前地区予選会及び全日本ホープス・カップ卓球選手権弘前地区予選会	4月24日
	青森県高体連弓道専門部春季錬成会	5月3日～5日
	第17回青森県小学生春季バドミントン選手権大会	5月4日～5日
	令和4年度県下春季高等学校弓道大会	5月7日～8日
	ニッタク杯第14回りんご花まつり弘前ラージボールオープン大会	5月14日～15日
	第52回青森県中学校春季バスケットボール大会	5月21日
	令和4年度春季ソフトバレーボール大会	5月29日
	第75回青森県高等学校総合体育大会相撲競技	6月3日～5日
	第76回青森県高等学校総合体育大会相撲競技	6月3日～6日
	令和4年度青森県高等学校総合体育大会弓道競技	6月3日～6日
	令和4年度南地方・弘前地区中体連夏季大会新体操競技	6月11日
	令和4年度第76回弘前地区中学校体育大会夏季大会バスケットボール競技	6月11日～12日
	福田昌由追悼記念第11回スポーツひのまるキッズ東北小学生柔道大会	6月19日
国際空手道連盟極真会館青森支部2022東北地区交流大会	6月19日	
令和4年度春季県下弓道大会	6月19日	
令和4年度第58回東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会	6月24日～26日	
第40回青森県小学生相撲大会兼第32回東北学童相撲大会青森県予選会	6月25日	
公益社団法人日本空手協会第65回内閣総理大臣杯文部科学大臣杯東北地区代表選手選考会兼第49回東北地区空手道選手権大会	7月2日～3日	
令和4年度青森県弓道遠征の選手権大会	7月3日	
第49回東北総合体育大会 新体操・トランポリン	7月8日～10日	
第73回青森県中学校体育大会夏季大会バドミントン競技	7月17日～18日	

区分	行 事 名	期 間	
青	東北総合体育大会・第77回国民体育大会東北ブロック大会	7月22日～24日	
	第23回青森県小学生バドミントン選手権兼第28回東北小学生バドミントン大会青森県予選会	7月31日	
	令和4年度青森県ジュニア新体操選手権大会兼全日本ジュニア新体操選手権大会東北ブロック青森県予選会	8月6日	
	令和4年度東北中学校体育大会第43回東北中学校相撲大会	8月9日～11日	
	令和4年度全国中学校体育大会第52回全国中学校バドミントン大会	8月19日～22日	
	令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会空手道競技	8月27日～28日	
	第30回全国高等学校ロボット競技大会青森県予選会	8月30日～31日	
	第47回青森県スポーツ少年団フェスティバル柔道競技会	9月4日	
	南地方・弘前地区中体連秋季大会新体操競技	9月17日	
	第48回東北地区軌道優勝大会	9月18日～19日	
森	幼児音体フェスティバル2022弘前会場	9月25日	
	第1回青森県フルオープンボッチャ大会	10月1日	
	青森県高等学校体育連盟弓道専門部令和4年度五所川原地区高等学校弓道錬成会	10月2日	
	令和4年度弘前地区高等学校弓道大会	10月9日	
	令和4年度秋季県下弓道選手権大会	10月10日	
	第30回全国高等学校ロボット競技大会	10月11日～17日	
	令和4年度秋季県下高等学校弓道大会	10月22日～23日	
	県民共済カップ第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦	10月29日～30日	
	令和4年度青森県武道館トップアスリート交流事業柔道教室	11月3日～6日	
	「オールあおもり」進学相談フェア	11月8日	
県	令和4年度スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会	11月12日	
	令和4年度あおもりスポーツアカデミー事業「発掘プログラム（一次選考会）」	11月12日～13日	
	令和4年度青森県高等学校新人バドミントン大会	11月19日～20日	
	令和4年度第4回青森県U14育成センター強化交流戦	11月26日～27日	
	2022-2023 B2リーグ青森ワッツホームゲーム	12月3日～4日	
	2022年度スポーツ振興くじ タレント発掘・一貫指導育成パスウェイ事業（U-10 U-15）北海道・東北ブロック研修	12月9日～11日	
	第22回東日本高等学校弓道大会青森県最終予選会	12月10日～11日	
	第15回東北中学校バドミントン選手権大会	12月25日～28日	
	第54回東北高等学校インドアソフトテニス大会兼第48回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会東北地区予選会	1月12日～15日	
	第50回津軽地区室内陸上競技選手権大会	1月29日	
道	第37回全国選抜高等学校相撲弘前大会	2月11日	
	青森県U15バスケットボールリーグ2022-23 [弘前・南地区]	2月25日～26日	
	小学生クラブ対抗バドミントン大会	3月5日	
	第14回春藤新体操クラブ発表会	3月12日	
	第12回斉藤仁旗争奪少年柔道大会	3月19日	
	第22回東日本高等学校弓道大会	3月25日～26日	
	館		

② 利用者数

(ア) 新総合運動公園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
メインアリーナ	1,372	8,650	10,030	5,158	5,362	7,975	109,841	5,815	5,770	5,955	6,208	3,890	176,026
サブアリーナ	1,613	7,143	6,949	4,423	4,018	5,843	108,814	2,891	4,105	4,794	2,783	2,751	156,127
プール	2,961	4,925	5,755	5,832	5,748	5,808	2,688	4,364	2,445	3,308	1,758	2,493	48,085
トレーニングルーム	3,245	4,978	5,632	5,569	5,566	6,102	6,260	6,138	4,030	5,494	3,382	4,284	60,680
庭球場	4,205	9,054	7,363	8,649	4,163	10,207	6,146	961	0	0	0	0	50,748
アーチェリー場	0	90	150	573	628	760	310	0	0	0	0	0	2,511
球技場	58	100	1,160	307	210	190	1,250	160	0	0	0	0	3,435
合宿所	208	851	1,239	1,022	1,523	650	954	97	378	109	270	280	7,581
陸上競技場	295	14,325	26,529	7,305	5,932	12,034	6,881	1,339	1,579	1,170	871	660	78,920
室内練習場	369	535	217	245	488	188	298	707	1,105	1,854	1,170	1,602	8,778
周回走路	219	139	168	218	344	206	268	521	1,591	2,113	1,800	1,221	8,808
陸上競技場 トレーニングルーム	293	265	315	316	263	225	283	328	399	700	393	492	4,272
補助競技場	143	12,669	20,548	6,108	5,006	8,429	4,179	375	0	0	0	0	57,457
投てき・ アーチェリー場	40	2,248	2,344	897	1,356	1,785	1,466	10	0	0	0	0	10,146
観客・見学	408	12,714	14,704	17,844	12,406	15,462	21,507	16,331	3,573	7,641	3,876	7,337	133,803
計	15,429	78,686	103,103	64,466	53,013	75,864	271,145	40,037	24,975	33,138	22,511	25,010	807,377

(イ) 総合運動公園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
陸上競技場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助競技場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野球場	900	2,672	2,350	1,966	2,140	1,420	1,580	170	0	0	0	0	13,198
水泳場	0	0	1,252	3,032	589	0	0	0	0	0	0	0	4,873
計	900	2,672	3,602	4,998	2,729	1,420	1,580	170	0	0	0	0	18,071

(ウ) 県営スケート場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	10,511	2,550	19,107	1,250	1,444	15,448	1,868	7,467	9,195	12,338	8,361	6,013	95,552

(エ) 県武道館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
主競技場	1,632	3,618	4,037	4,402	5,765	4,385	8,447	2,705	3,819	3,832	2,570	5,387	50,599
補助競技場	501	885	555	397	434	600	682	814	540	570	1,134	1,055	8,167
柔道場	442	605	841	704	358	868	905	745	552	683	697	849	8,249
剣道場	375	399	614	560	294	617	692	587	415	529	715	466	6,263
相撲場	0	0	263	37	0	25	0	180	0	0	0	0	505
近的弓道場	208	1,588	1,508	1,035	459	504	1,255	510	562	456	612	646	9,343
遠的弓道場	67	128	205	138	152	309	183	115	147	48	173	201	1,866
会議室	438	867	750	516	425	647	707	680	405	486	452	545	6,918
トレーニングルーム	923	1,662	1,634	1,740	1,274	1,643	1,413	1,513	1,594	1,567	1,918	2,137	19,018
合宿所	63	20	77	247	351	162	240	168	37	110	83	154	1,712
館内見学	0	0	56	0	0	0	95	0	0	0	0	0	151
計	4,649	9,772	10,540	9,776	9,512	9,760	14,619	8,017	8,071	8,281	8,354	11,440	112,791

(オ) 過去3年間の利用状況

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新総合運動公園	427,318	376,223	807,377
総合運動公園	12,707	18,740	18,071
県営スケート場	49,691	46,131	95,552
県武道館	84,319	77,594	112,791

2 スポーツ事業

(1) 県民スポーツ関連事業

多様化するスポーツ・レクリエーション活動に対する県民ニーズに的確に対応し、「いつでも、どこでも、だれでも」が気軽に楽しめる生涯スポーツの普及振興を図るため、各種事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
第30回青森県民駅伝競走大会	9月4日	カクヒログループ アスレチックスタ ジアム及び新青 森県総合運動公 園内周回コース	・対象 40市町村代表選手 ・内容 市町村対抗による駅伝競走大会	選手団 771名 関係役員 205名
第15回青森県民スポーツ・レクリエーション祭	6月～11月	県 内 7市5町1村	・対象 種目別大会参加者 ・内容 35種目別大会の開催	参加者 3,705名 関係役員 427名

(2) 競技スポーツ関連事業

本県競技力向上を図ることを目的として、指導者の資質向上やジュニア層の育成強化、県内外での強化合宿等をはじめとする各種競技力向上対策事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
総合選手強化	通 年	国 内	・対象 国体正式41競技団体 ・内容 関係競技団体が実施する、国内における合宿に対する補助金交付	3,973名
中学生強化	通 年	県 内 外	・対象 中体連、関係競技団体 ・内容 中体連が実施する県内外における強化合宿に対する補助金交付	1,282名
高校生強化	通 年	国 内	・対象 高体連、指定高校及び関係競技団体 ・内容 高体連が実施する国内における強化合宿に対する補助金交付	1,218名
あおもりスポーツアカデミー事業	・発掘プログラム 10～11月 ・育成プログラム 年5回 ・選択プログラム 年1回	・発掘プログラム 県内3会場 (青森市、 弘前市、 八戸市) ・育成プログラム マエダアリーナ カクヒログループ スタジアム ・選択プログラム 八戸市東体育館 青森県武道館 マエダアリーナ	①発掘プログラム ・対象 新体力テストA判定の小学4、6年生 ・内容 運動能力が高く優れた素質を有する選手を発掘するため、選考会を実施 ②育成プログラム ・対象 あおもりスポーツアカデミー生 178名 (小5:36名、小6:40名、中1:36名、中2:31名、中3:35名) ・内容 スポーツ医・科学やトップアスリートを活用した講義、発達段階や競技特性に応じたトレーニングの実施	・発掘プログラム 175名 ・育成プログラム 延べ291名 ・選択プログラム 延べ22名

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
			③選択プログラム ・対象 小6・中3のアカデミー生 ・内容 中学校・高等学校進学以降に トップアスリートを目指す可能性のある最適競技種目を選択 できるよう、選手・保護者との 面談を実施	
第 49 回 東 北 総 合 体 育 大 会	8月19日 ～21日 (主会期)	青 森 県 他	・対象 青森県代表選手・監督・本部役員 ・内容 代表選手・監督・役員を派遣する競 技団体等への補助金交付 ※一部競技が新型コロナウイルス感染症 の影響により中止	役員・ 監督・選手 916名
特 別 国 民 体 育 大 会 (冬 季)	スケート・ アイスホッ ケー競技会 1月28日 ～	青 森 県	・対象 代表選手・監督・役員 ・内容 代表選手・監督・役員を派遣する競 技団体等への補助金交付	役員・ 監督・選手 82名
	2月5日 スキー競技会 2月17日 ～20日	岩 手 県		役員・ 監督・選手 69名
コ ー チ ス キ ル ア ヅ プ 事 業	通 年	県 内 外	・対象 国体正式41競技団体 ・内容 若手指導者の育成と資質向上を図 るための指導者派遣事業、招聘事 業並びに公認資格の取得支援を行 う競技団体への補助金交付	指導者派遣 164名 トップレベル コーチ招聘 4,136名 資格取得支援 94名

(3) スポーツ科学関連事業

県民の健康・体力の増進、本県競技力の向上及び体育・スポーツ指導者の資質の向上を
図ることを目的として、各種事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
アスリート プログラム サ ー ビ ス	通 年	県スポーツ学 科 セ ン タ ー ほ ち か	・対象 県民一般、県内外競技者 ・内容 体力、筋力、運動能力等の測定 運動フォームの撮影と動作分析 リコンディショニング 心理サポート	体力測定 3,765名 動作分析 0名 リコンディショニング 2,741名 心理サポート 8,167名

事業名	期 日	場所	参加対象及び事業内容	参加人数
チ ャーム サ ポート 事 業	通 年	県 内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 青森県高等学校体育連盟専門部から推薦を受けた高等学校の運動部(24チーム) ・ 内容 <ul style="list-style-type: none"> ①体力測定分野からのサポート(6チーム) <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な体力測定と測定データの評価 ・ 評価に基づいたトレーニングプログラムの作成 ・ 作成プログラムによるトレーニング指導 ②動作分析分野からのサポート(6チーム) <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的・継続的なフォームの撮影と動作分析 ・ 分析結果に基づく技術改善のための情報提供 ③リコンディショニング分野からのサポート(6チーム) <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ傷害予防プログラムの作成と実施指導 ・ テーピング・ボディケア等の指導 ・ 試合時におけるリコンディショニング指導 ④心理サポート分野からのサポート(6チーム) <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定技法の実施と設定目標の見直し方の指導 ・ リラクゼーション技法の講義と実習 ・ イメージ技法の講義と実習 	体力測定分野 6校 64回 延べ 669名 動作分析分野 6校 0回 延べ 0名 リコンディショニング分野 6校 74回 延べ 452名 心理サポート分野 6校 75回 延べ 885名
ス ポーツ 科学センター チ ャーム サ ポート 指 導 懇 談 者 会	第1回 (6月30日) 第2回 (2月9日)	県スポーツ 科学センター ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 チームサポート対象校顧問 ・ 内容 チームサポート事業におけるサポート内容の確認及び今後のサポートに向けた課題等についての意見交換 	第1回 25名 第2回 17名

※動作分析は、スポーツ科学専門員の欠員が生じたため未実施

6章 青森県立郷土館

〔1〕 施設・設備

(1) 所在地	青森市本町二丁目8番地14
(2) 敷地面積	3,847.64㎡
(3) 主要施設	
旧「青森銀行本店」部分	鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 1,123.40㎡
増築部分	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地上3階、地下1階、塔屋2階 延床面積 6,483.43㎡
延床面積合計	7,606.83㎡
(4) 主要各室床面積	
展示室	常設展示室 8室 2,514㎡ 特別展示室 1室 487㎡
小ホール	1室 119㎡
収蔵庫	10室 853㎡
エントランスホール	267㎡
事務室等	3,366.83㎡

〔2〕 運営方針

青森県立郷土館基本的運営方針

青森県立郷土館は、昭和48年に「ふるさとの過去を語り現在を考え未来を展望する」総合博物館として設置され、以来長きにわたり、県民が郷土に誇りをもち、夢や希望を感じられるよう、郷土に根ざした活動を行ってきました。

総合博物館としての当館の使命は、社会教育施設として資料収集・保存、展示、調査研究、教育普及などの活動を通して、本県の歴史や自然、文化などについて誰もが幅広い理解を得られるように支援することにあります。今後も広く県民の意見を取り入れ、経営資源を最大限に生かしながら、未来に向け、下記の博物館活動の充実に努めてまいります。

1 資料の収集・保存

当館は、開館以来、一貫して郷土の歴史、民俗、産業、自然などに関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料の収集・整理に努め、良好な状態で次の世代に継承していきます。

2 展示

- (1) 収蔵資料の中からテーマごとに精選した資料を展示する常設展示室は、観覧者が分かりやすいよう資料や解説パネルを効果的に展示します。
- (2) 常設展示室に解説員を配置し、展示資料について分かりやすい解説や、説明資料の配布により、来館者の学習活動を支援します。

- (3) 調査研究の成果や県民の関心の高いテーマに関する資料を展示する特別展、民間事業者と連携した共催展など、多彩な展示活動を実施します。
- 3 調査研究
 収蔵資料に関する館内研究や館外調査を実施するほか、教育普及活動を一層充実させるための研究を進めます。
- 4 教育普及
 (1) 郷土館資料及び郷土についての講演会・講習会、観察会、体験活動などを実施します。
 (2) 郷土館資料及び郷土に係るレファレンスサービスを行います。
 (3) 学校の学習活動を支援する活動のほか、公共施設や福祉施設等を支援する活動も実施します。
- 5 連携・交流・情報発信
 (1) 県内外の博物館及び図書館等の社会教育施設、民間事業者等と積極的に連携・協力し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。
 (2) 国外の博物館や研究者との連携、訪日外国人旅行者の受入体制の整備など、博物館としての国際交流活動の充実を図ります。
 (3) 郷土館の利用機会の拡大や調査研究の成果の普及に資するパンフレット、年報、展示図録、研究紀要等を作成し、県民の郷土理解の促進を図ります。
 (4) 様々な広報・情報媒体を積極的に活用して郷土の歴史や文化を県内外に広く発信し、郷土館が行う博物館活動への一層の理解の促進を図ります。
- 6 施設管理
 (1) 来館者が安全・快適に利用できるよう、施設・設備の整備と管理を行います。
 (2) 公共的な施設として、地震等の自然災害や火災等に備え、防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。
 (3) ライフサイクルコストを勘案し、施設・設備の効率的維持管理を行います。

〔3〕 事 業

1 資料の収集・保存

調査研究・展示・教育普及に必要な資料を収集した。令和4年度は1,820点の増加となり、年度末時点における資料総数は101,625点となった。増加分を分野別にみると次のとおりである。

考古	増分	1点	(土器・石器等資料一式)
歴史	増分	47点	(書画、絵はがき、家電関連資料)
自然	増分	1,772点	(昆虫・植物・鉱物標本)

2 展示

令和2年10月から休館中のため、巡回展など館外での展示活動を行った。

(1) 巡回展

県内3会場において、「旅」をテーマに青森の魅力を紹介する巡回展「あおり旅ものごとり〜青森の名所と交通の歴史〜」を開催した。

- ◇8月11日～9月11日 むつ来さまい館（むつ市）
- ◇10月1日～10月30日 青森県立三沢航空科学館（三沢市）
- ◇11月23日～1月29日 青森県立美術館（青森市）

(2) 連携展

県内博物館・資料館など館外の施設を会場として、郷土の歴史・文化・自然をテーマとした展示を次のとおり行った。

- ◇県民福祉プラザ（青森市）における連携展
写真展「青函連絡船のあゆみ」（6月7日～7月31日）
- ◇常盤ふるさと資料館あすか（藤崎町）における連携展
「岩木山の自然～クジラ化石と豊かな動植物たち」（8月6日～9月19日）

3 調査研究

分野ごとに設定したテーマに基づき調査を実施した。

- (1) 考古分野「青森県出土考古資料の所在調査」（5年計画3年次目）
県内外に所在する青森県ゆかりの考古資料について、文献等の記録類の調査を行った。
- (2) 自然分野「中南地域自然調査の補助調査」（2年計画2年次目）
青森県中南津軽地域において、生物の分布状況や自然史の解明のための資料を得る目的で3年間行った「中南地域自然調査」で得られた植物標本の整理作業を行った。
- (3) 歴史分野「青森県の交通史の調査」（5年計画5年次目）
青森県を中心とした近世・近現代の交通の様相について、文献や実物資料等の関連資料の調査を行った。
- (4) 民俗分野「近現代における儀礼・習俗等の変容調査」（5年計画2年次目）
近代の社会変化と現代の消費文化、観光などの社会的需要が民間の儀礼や習俗にどのような影響を与え、現在の形態を形成したのかについて調査を行った。
- (5) 美術分野「昭和から平成期の青森県関係の美術作品及び資料に関する調査研究」（5年計画2年次目）
昭和・平成期の青森県関係の美術作品、作家、関連資料の調査を行った。
- (6) 産業・先人分野「産業・先人調査」
青森県ゆかりの先人とりんご栽培について、資料調査及び情報収集を行った。
- (7) 教育普及分野「教育普及事業の調査研究」
移動博物館や出前授業の内容の充実を図るため、教材研究やワークシート作成を行った。

4 教育普及

県民の郷土に対する理解を深めるため、各種講座・講演会などの実施と研究紀要・資料冊子などの刊行を行った。

- (1) 土曜セミナー
一般を対象に、歴史・文化・自然に関わるテーマについて、ゲストキュレーターと当館職員が講演を行った。（実施回数12回）
- (2) 体験教室・講演会等
参加型の体験教室や、巡回展の関連事業としての講演会などを開催した。
 - ① 土曜セミナー特別講座「青森の達人」
第1回 ワークショップ「ネプタボールに色付けしよう」
地域ねぶた制作者 木下昌昭氏（8月27日）

第2回 ワークショップ「レッツトライ！ 津軽こぎん刺し」

佐藤陽子こぎん展示館館長 佐藤陽子氏（11月19日）

第3回 ワークショップ「あけび蔓細工の魅力」

あけび蔓工芸作家 竹内啓子氏（3月4日）

② 巡回展関連事業

講演「恐山 近世の地獄巡りの旅」（9月3日）

ギャラリートーク「青森隕石 宇宙からの旅」（10月16日）

講演「鉄道開業150年記念 青森の鉄道」（12月3日）

講演「映像で巡るあおり民俗紀行」（12月17日）

講演「風に吹かれて -美術と旅-」（1月14日）

(3) 講師派遣事業

当館の学芸員を、各分野に関する講演会・学習会などへ講師として派遣した。（実施件数14件）

(4) 移動博物館

郷土館が収蔵している資料を県内の公共施設などに運び、展示・解説を行った。（実施件数6件）

(5) 自然観察会

一般を対象に、大地のつくりや動植物の観察などを通じて、自然界の不思議や仕組みについて考え、自然に親しみ、自然のすばらしさを学ぶ「自然観察会」を行った。

① 夏の自然観察会（7月3日）

深浦町 千畳敷

② 秋の自然観察会（10月2日）

三沢市 三沢市民の森

(6) あおり街かど探偵団

地域の歴史的建造物や街並みの歴史を探る街歩きツアーを実施した。

第1回 「木造の街の歴史」（6月26日）

第2回 「合浦公園とその周辺」（10月22日）

(7) 博物館の仕事普及啓発事業

博物館活動や博物館資料への理解を深めるため、県内博物館職員を対象に写真や映像資料の記録と活用などに関する講演会を開催するとともに、当館の活動や資料解説などを掲載した小冊子を作成し関係機関に配布した。

(8) 出前授業

郷土館が収蔵している資料を県内の学校に運び、授業の中で実物資料の展示・解説を行った。（実施件数37件）

(9) こどものくに

夏休み・冬休み中の子どもの学習を支援し、博物館に対する興味関心を深めるため、体験活動やものづくりを中心としたイベントを実施した。

① 夏休みこどものくに

講義「青森ねぶた祭りの由来とその歴史について」（7月30日）

ワークショップ「金魚ねぶたの色つけ体験」（7月30日）

② 冬休みこどものくに

「冬休みづくりまわし大会」（1月7日）

〈出版物〉

『青森県立郷土館報』通巻49号

『青森県立郷土館研究紀要』第47号

『青森県立郷土館だより』第53巻1～2号（通巻182～183号）

『郷土館のモノ語り』No.10

巡回展「あおり旅ものがたり～青森の名所と交通の歴史～」展示カタログ

5 連携・交流・情報発信

在宅のままでも郷土館所蔵資料について楽しみながら知ることができるよう、動画投稿サイト・ユーチューブに開設している公式チャンネル「キョドチャンネル」に、新たに動画コンテンツを2本追加した。

6 施設管理

耐震補強を含めた施設設備の長寿命化改修に向けて、基本計画を取りまとめた。

〔4〕 利用状況

令和4年度利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	
開館日数		0	0	0	0	0	
展 示 事 業	常設展・特別展・移動展	小・中学生	0	0	0	0	0
		前年度	0	0	0	0	0
		対前年度	-	-	-	-	-
		高校・大学生	0	0	0	0	0
		前年度	0	0	0	0	0
		対前年度	-	-	-	-	-
		一般	0	0	5,581	5,040	2,728
		前年度	0	4,484	4,757	840	447
		対前年度	-	0.0	117.3	600.0	610.3
	観覧者合計	0	0	5,581	5,040	2,728	
	前年度	0	4,484	4,757	840	447	
	対前年度	-	0.0	117.3	600.0	610.3	
	1日当たり観覧者数	-	-	-	-	-	
	教 育 普 及 ・ ホ ー ル 利 用 事 業	教育普及事業	資料の調査研究利用	0	0	0	0
レファレンス利用			33	50	47	38	37
講演会等への参加			0	0	8	67	33
出前授業等の館外活動			0	0	14	162	107
計			33	50	69	267	177
ホール利用		展示の観覧	0	0	0	0	0
		講習会等の参加	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
		合 計	33	50	69	267	177
		前年度	69	53	92	202	156
対前年度	47.8	94.3	75.0	132.2	113.5		
利 用 合 計	利用者合計	33	50	5,650	5,307	2,905	
	前年度	69	4,537	4,849	1,042	603	
	対前年度	47.8	1.1	116.5	509.3	481.8	
	1日当たり利用者数	-	-	-	-	-	

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
-	-	-	-	-	-	-	-
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
-	-	-	-	-	-	-	-
1,361	3,246	924	4,079	3,581	0	0	26,540
0	531	0	506	0	0	0	11,565
-	611.3	-	806.1	-	-	-	229.5
1,361	3,246	924	4,079	3,581	0	0	26,540
0	531	0	506	0	0	0	11,565
-	611.3	-	806.1	-	-	-	229.5
-	-	-	-	-	-	-	-
0	0	0	0	0	0	0	0
46	45	39	35	43	37	35	485
34	116	34	31	82	40	20	465
405	204	236	500	200	427	204	2,459
485	365	309	566	325	504	259	3,409
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
485	365	309	566	325	504	259	3,409
40	553	531	643	165	45	50	2,599
1,212.5	66.0	58.2	88.0	197.0	1,120.0	518.0	131.2
1,846	3,611	1,233	4,645	3,906	504	259	29,949
40	1,084	531	1,149	165	45	50	14,164
4,615.0	333.1	232.2	404.3	2,367.3	1,120.0	518.0	211.4
-	-	-	-	-	-	-	-

7章 青森県埋蔵文化財調査センター

〔1〕 施設

1 埋蔵文化財調査センター

- (1) 所在地 青森市大字新城字天田内152-15
- (2) 敷地面積 17,955.29㎡
- (3) 主要施設
 - ア 新館 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 3,123.08㎡
収蔵・展示室、第1-第4整理室、写場、図書閲覧室、多目的室等
 - イ 本館 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 1,819.56㎡
一般収蔵庫、水洗い室、PEG含浸室、木製品前処理室、木製品・金属製品保管室、種子等保管・分析室、樹脂含浸錆び落とし室、脱塩処理室、注記室、写真・スライド保管室、ネガアルバム保管室、実測図保管室等
 - ウ 体育館収蔵庫 鉄骨造 地上1階 床延面積 846.90㎡
 - エ 遺物乾燥室 軽量鉄骨造 地上2階 延床面積 129.60㎡

2 六ヶ所収蔵庫

- (1) 所在地 六ヶ所村大字倉内字笹崎1066-1
- (2) 敷地面積 13,224.48㎡
- (3) 収蔵庫 木造 地上1階 延床面積 162.00㎡

3 七戸収蔵庫

- (1) 所在地 七戸町舟場向川久保243-1
- (2) 敷地面積 8,760.00㎡
- (3) 収蔵庫
 - ア 南棟 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 2,386.00㎡
 - イ 西棟 鉄骨造 地上2階 延床面積 1,157.71㎡
 - ウ 東棟 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 668.70㎡
 - エ その他 機械室、物置

4 大鰐収蔵庫

- (1) 所在地 大鰐町大字虹貝字中熊沢10-4
- (2) 敷地面積 17,128.00㎡
- (3) 収蔵庫
 - ア 南棟 鉄筋コンクリート造 地上5階 延床面積 3,591.85㎡
 - イ 西棟 鉄骨造 地上2階 延床面積 1,211.23㎡
 - ウ その他 受水槽室、倉庫

〔2〕 事 業

1 埋蔵文化財発掘調査

(1) 国道394号榎林バイパス道路改築事業

◎七戸町 鉢森平(7)遺跡

〔所在地〕 上北郡七戸町字鉢森平地内

〔調査期間〕 令和4年5月10日(火)～令和4年10月28日(金)

〔調査面積〕 4,020㎡

〔委託者〕 青森県県土整備部 (道路課)

〔調査結果〕 検出遺構 縄文、平安

竪穴建物跡9、掘立柱建物跡2、土坑112、柱穴84、溝状土坑7、
溝跡2、土器埋設遺構4、焼土遺構2

出土遺物 縄文

土器、石器、土製品、石製品等 段ボール箱126箱

◎七戸町 鉢森平(6)遺跡

〔所在地〕 上北郡七戸町字鉢森平地内

〔調査期間〕 令和4年5月10日(火)～令和4年7月29日(金)

〔調査面積〕 5,000㎡

〔委託者〕 青森県県土整備部 (道路課)

〔調査結果〕 検出遺構 縄文・平安以降

溝状土坑14、土坑1

出土遺物 縄文

土器、石器 段ボール箱1箱

(2) 八戸環状線道路建設事業 (天久岱工区)

◎八戸市 毛合清水(3)遺跡

〔所在地〕 八戸市大字尻内町字毛合清水、北熊ノ沢地内

〔調査期間〕 令和4年5月10日(火)～令和4年10月28日(金)

〔調査面積〕 6,300㎡

〔委託者〕 青森県県土整備部 (道路課)

〔調査結果〕 検出遺構 縄文・奈良

竪穴建物跡3、土坑18、溝状土坑21

出土遺物 縄文・奈良

土器、石器、鉄製品等 段ボール箱11箱

◎八戸市 北熊ノ沢(2)遺跡

〔所在地〕 八戸市大字尻内町字北熊ノ沢地内

〔調査期間〕 令和4年5月10日(火)～令和4年10月28日(金)

〔調査面積〕 7,000㎡

〔委託者〕 青森県県土整備部 (道路課)

〔調査結果〕 検出遺構 縄文・平安
竪穴建物跡9、掘立柱建物跡4、土坑46、焼土跡9、溝状土坑26、
貝集中範囲2
出土遺物 縄文・平安
土器、石器、鉄関連遺物等 段ボール箱40箱

(3) 弘前柏線道路改築事業

◎弘前市 鳴瀬遺跡

〔所在地〕 弘前市大字三世寺字鳴瀬地内
〔調査期間〕 令和4年9月6日(火)～令和4年11月25日(金)
〔調査面積〕 2,100㎡
〔委託者〕 青森県県土整備部（道路課）
〔調査結果〕 検出遺構 平安以降・時期不明
堀跡2、溝跡4、小穴289、土坑3
出土遺物 縄文・平安
土器、石器等 段ボール箱3箱

(4) 国道454号特定交通安全施設整備事業

◎新郷村 戸来館遺跡

〔所在地〕 三戸郡新郷村大字戸来字館神地内
〔調査期間〕 令和4年5月17日(火)～令和4年6月30日(木)
〔調査面積〕 240㎡
〔委託者〕 青森県県土整備部（道路課）
〔調査結果〕 検出遺構 平安以降・時期不明
堀跡3、土坑3、小穴74、焼土跡1
出土遺物 縄文・平安・中世以降
土器、陶磁器、石製品 段ボール箱2箱

(5) 新青森県総合運動公園整備事業

◎青森市 米山(2)遺跡

〔所在地〕 青森市大字宮田字米山地内
〔調査期間〕 令和4年5月10日(火)～令和4年8月10日(水)
〔調査面積〕 1,270㎡
〔委託者〕 青森県県土整備部（都市計画課）
〔調査結果〕 検出遺構 縄文・中世
竪穴建物跡1、竪穴遺構2、掘立柱建物跡数棟以上を含む柱穴群、
土坑15、カマド状遺構20、井戸跡2
出土遺物 縄文・中世
土器、石器、陶磁器等 段ボール箱44箱

2 刊行物

- | | |
|---------------|----------------------|
| (1) 林ノ脇遺跡Ⅱ | (青森県埋蔵文化財調査報告書第633集) |
| (2) 林ノ脇遺跡Ⅲ | (青森県埋蔵文化財調査報告書第634集) |
| (3) 樽沢村元(3)遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第635集) |
| (4) 石田(2)遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第636集) |
| (5) 研究紀要第28号 | |

3 「地元の縄文再発見」プロジェクト事業

事業の概要

「地元の縄文」の活用促進を目的とする「取組1」と、「地元の縄文」の魅力の再発見と情報の発信を行う「取組2」を実施した。

(1) 取組1 活用促進

◎地域連携会議

「地元の縄文」再発見フェア開催地域における発掘成果と出土品に関する概要報告、県所蔵出土品の活用案の提示、埋蔵文化財の保護と活用に関する事例報告等を行った。

〔第1回会議〕

開催日 7月1日

対象地域及び参加市町村 下北地域（むつ市、佐井村、東通村、横浜町）

会場 むつ市中央公民館（むつ市）

〔第2回会議〕

開催日 9月30日

対象地域及び参加市町村 中南地域（黒石市、平川市、弘前市、大鰐町、田舎館村、西目屋村）

会場 黒石公民館（黒石市）

◎教材の制作

下北地域と中南地域の発掘調査による出土品を用いた教材及び指導者用の取扱説明書を制作した。

〔下北地域〕

制作数 22セット

1セットの内容 土器破片40点以上、石器10～12点、取扱説明書3部

配布対象市町村 むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村

〔中南地域〕

制作数 38セット

1セットの内容 土器破片40点以上、石器10～12点、取扱説明書3部

配布対象市町村 弘前市・黒石市・平川市・西目屋村・藤崎町・大鰐町・田舎館村

(2) 取組2 魅力再発見・情報発信

◎「地元の縄文」再発見フェアの開催

下北地域・中南地域を対象とした出土品展示会、体験学習会、講演会・シンポジウムの3要素で構成されるフェアを開催した。（下北地域では、考古学的な関連性が高い横浜町と六ヶ所村も組み入れた。）

[下北地域]

開催期間 9月17日(土)～18日(日)

名 称 「地元の縄文」再発見フェア in しもきた

共 催 むつ市教育委員会

会 場 むつ来さまい館 (むつ市)

観覧者数 395名 (17日:110名 18日:285名)

・出土品展示会

展示対象市町村 むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村・六ヶ所村・横浜町

展示遺物数 560点

展示パネル数 172点

・体験学習会

ク イ ズ 「ならべてみよう」・「なかまみつけ」、ハンズオン「さわってみよう」

ものづくり体験 「アクセサリー作り」・「カラフルたくほん」・「ミニチュア土器づくり」

そ の 他 「ぬり絵作成」

・講演会

定 員 80名 (参加者70名)

基 調 講 演 「しもきたの縄文時代」森田賢司 (むつ市教育委員会)

事 例 報 告 「ひがしどおりの縄文時代」小山卓臣 (東通村教育委員会)

「まさかりの刃の縄文時代」永嶋豊 (県埋文センター)

「まさかりの柄の縄文時代」岡本洋 (県埋文センター)

・シンポジウム 「再発見“しもきたの縄文”-まさかり半島の縄文文化を語る-」

パネリスト 森田賢司・小山卓臣・永嶋豊・岡本洋

コーディネーター 木村高 (県埋文センター)

・そ の 他 出土品展示会及びシンポジウム資料配布

[中南地域]

開催期間 11月26日(土)～27日(日)

名 称 「地元の縄文」再発見フェア in ちゅうなん

会 場 スポカルイン黒石 (黒石市)

観覧者数 395名 (26日:178名 27日:217名)

・出土品展示会

展示対象市町村 弘前市・黒石市・平川市・西目屋村・藤崎町・大鰐町・田舎館村

展示遺物数 650点

展示パネル数 164点

・体験学習会

ク イ ズ 「ならべてみよう」・「なかまみつけ」、ハンズオン「さわってみよう」

ものづくり体験 「アクセサリー作り」・「JOMON缶バッジ作り」

そ の 他 「ぬり絵配布」・「作品展示コーナー」

・講演会

定 員 100名 (参加者77名)

基 調 講 演 「ちゅうなんの縄文時代」鈴木徹 (黒石市教育委員会)

事 例 報 告 「丘の縄文時代-平川・浅瀬石川流域の縄文-」長尾智寿 (平川市教育委員会)

- 「山の縄文時代－白神山地と岩木山麓の縄文－」永嶋豊（県埋文センター）
- 「平野の縄文時代－津軽平野の縄文－」岡本洋（県埋文センター）
- ・シンポジウム 「再発見“ちゅうなんの縄文”－南津軽の縄文文化を語る－」
パネリスト 鈴木徹・長尾智寿・永嶋豊・岡本洋
コーディネーター 木村高（県埋文センター）
- ・その他 出土品展示会及びシンポジウム資料配布

◎あおり縄文カードの作成

所蔵する遺物写真に解説文を添えたカードを作成し、県内の道の駅、登録博物館・博物館類似施設、その他各地の拠点的な公開施設等で配布した。

〔制作種類〕 100種類

〔制作枚数〕 85,000枚（1種類につき850枚）

〔対象遺物の出土地〕 青森県内全40市町村

8章 三内丸山遺跡センター

〔1〕 施 設

特別史跡三内丸山遺跡と青森県総合運動公園の公園センターである縄文時遊館を合わせて教育機関「三内丸山遺跡センター」として平成31年4月に設置された。

- 1 所在地 青森市三内字丸山305
- 2 遺跡ゾーン 42.2ha（開園面積33.3ha）うち、特別史跡範囲25.2ha
- 3 縄文時遊館
 - (1) 延床面積 10,385.37㎡（地階 1,464.71㎡、1階 8,474.82㎡、2階 445.84㎡）
 - (2) 構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建地下1階建
 - (3) 既存部分
 - ア 延床面積 7,347.96㎡
 - イ 主要各室
 - (ア) 1階 さんまるミュージアム(875㎡、約1,700点（うち重要文化財約500点）展示）、縄文シアター、体験工房等
 - (イ) 2階 会議室
 - (4) 増築部分
 - ア 延床面積 3,037.41㎡
 - イ 主要各室
 - (ア) 1階 企画展示室（245.91㎡）、展示準備室（70.04㎡）、ギャラリー（269.91㎡）、整理作業室（404.44㎡）等
 - (イ) 地階 一般収蔵庫（680.84㎡）、特別収蔵庫（194.19㎡）、撮影室等

〔2〕 運 営 方 針

三内丸山遺跡センター基本的運営方針

遺跡は、平成6年に保存・活用が決定されて以来、発掘調査を継続するとともに、遺跡公園としての整備を進め、公開・活用に努めてきました。平成31年4月に「三内丸山遺跡センター」を設置し、遺跡の保存・管理体制をさらに強化するとともに、国内外からより一層多くの見学者が遺跡を訪れ、縄文の「ムラ」のたたずまいの中で、遺跡を知り、体感し、親しむことができるよう、日本を代表する縄文遺跡にふさわしい調査・研究、保存・活用、展示、教育普及などの取組を進めていきます。

また、令和3年7月27日に縄文遺跡群の世界遺産登録決定を受け、縄文遺跡群を守り未来へ伝えていくため、縄文遺跡群の一体的な保存管理を推進していきます。

1 遺跡の保存・活用の推進と三内丸山遺跡センターの効率的な運営

- (1) 「特別史跡三内丸山遺跡整備計画（令和2年3月策定）」に基づき、遺構等を適切に保存するとともに見学者へ魅力や価値を伝達するため、着実に史跡整備を実施します。
- (2) 保存活用課、世界文化遺産課及び総務課の所掌事務を踏まえ、三課が連携して更なる魅

力づくりや来訪促進事業に取り組み、その効果を最大限に発揮できるよう、効率的な運営を推進します。

- (3) 遺跡活用団体や地域住民の理解と協力のもと、積極的な保存・活用を実施します。

2 調査研究の推進

遺跡の全体像の解明、保存・活用の推進のため、発掘調査を継続するとともに特別研究推進事業や出土品に関する調査研究を実施します。

3 出土品及び資料の適切な管理と活用

出土品及び出土資料は、デジタル化を進めるとともに適切な環境の下で保存します。

4 遺跡の積極的な展示・公開

縄文の「ムラ」のたたずまいを体感・体験できる場として遺跡を整備公開するとともに、県民の関心の高いテーマについて、各方面から資料を集めて展示する特別展など、多彩な展示活動を実施します。

5 遺跡についての学習の機会及び情報の提供

- (1) 体験学習や講座、出前講座、発掘調査報告会、体感・体験イベントなどを実施します。
- (2) リーフレット、展示図録、研究紀要等を作成・配布し積極的な情報発信をします。

6 縄文遺跡群の一体的な保存管理の推進

- (1) 縄文遺跡群の顕著な普遍的価値を守り伝えていくため、包括的保存管理計画に基づき、資産の適切な保存と管理を実施します。
- (2) 各構成資産の周辺に適切な範囲の緩衝地帯を設定し、顕著な普遍的価値を伝達する各属性に負の影響を及ぼさないよう、構成資産と一体的に保全します。
- (3) 来訪者の顕著な普遍的価値の理解を促進するため、施設及び受入体制の整備・充実を図ります。
- (4) 構成資産及び緩衝地帯を適切に保護・保全するため、関係行政機関の連携・協働による管理を実施します。
- (5) 縄文遺跡群の顕著な普遍的価値を守るため、観察指標を設定し、構成資産及び緩衝地帯の継続的な経過観察（モニタリング）を実施します。
- (6) 縄文遺跡群の顕著な普遍的価値を確実に次世代に継承するため、学校、地域住民、民間団体等と連携・協働しながら、保存・活用を実施します。

[3] 事業

1 調査研究

(1) 発掘調査（第46・47次調査）

ア 調査期間 令和4年5月16日～10月26日

イ 調査面積 920㎡（南の谷北側614㎡、南の谷南側306㎡）

ウ 調査結果

第46・47次調査は、第3期発掘調査計画の7か年目に当たり、以下を課題として調査を実施。

○南の谷北側と南側での遺構分布状況の確認

〈検出遺構〉

南の谷北側では、縄文時代の堅穴建物跡3棟、フラスコ状土坑2基、古代の堅穴

建物跡1棟、縄文時代及び古代以降のピット39基を検出。

南の谷南側では、縄文時代の竪穴建物跡1棟、土坑5基、古代以降の溝跡1条を検出。

〈出土遺物〉

段ボール箱約12箱分の縄文土器・石器・土製品・石製品等が出土。

(2) 関連遺跡調査

ア 調査期間 令和5年3月3日

イ 調査地 釈迦堂遺跡博物館（山梨県笛吹市）

ウ 調査成果等

釈迦堂遺跡は、日本遺産の構成資産の一つであり、同遺跡出土品に特化した博物館である。重要文化財等の収蔵方法、管理方法や活用等について調査を実施。

(3) 三内丸山遺跡特別研究推進事業

遺跡の全体像解明並びに円筒土器文化及び縄文文化に関する調査・研究を推進するため、三内丸山遺跡センターが実施する共同研究のほか、研究の公募を実施。

ア 共同研究

「円筒土器文化における集落の実態をさぐる」

特定非営利活動法人 三内丸山縄文発信の会

(ア) 第1回研究会議（令和4年11月6日）

北海道、青森県、秋田県、岩手県の遺跡から抽出した土坑について地域ごとの比較検討。

(イ) 第2回研究会議（令和5年1月28日）

円筒土器文化圏内の土坑について地域ごとの比較検討。

(ウ) 第3回研究会議（令和5年3月18日）

今年度の成果等について意見交換。

イ 公募研究

応募3件（採択2件）

・「三内丸山遺跡における枝回転文土器の調査と土器製作季節の推定」

研究者：矢野 健一 氏（立命館大学）

・「三内丸山遺跡出土土器付着炭化物の脂質分析－前期から中期へ煮炊きは変化したのか？－」

研究者：宮田 佳樹 氏（東京大学総合研究博物館）

(4) 遺跡環境調査

露出展示遺構の長期的な保存・公開に向けて、その具体的な対応を検討するための基礎的な資料として、覆屋内の気温・湿度等について定期的にデータを収集。

また、北の谷において有機質遺物の保存状況をモニタリングするため、地下水位と水質を測定。

(5) 三内丸山遺跡発掘調査委員会

遺跡に関する学術的な解明や継続的な発掘調査計画等の検討のため、専門家による委員会を開催。

ア 第1回発掘調査委員会（令和4年7月6日）

開催場所 三内丸山遺跡センター 2階会議室（第2、3回も同じ）

- 内 容：発掘調査について
特別研究推進事業について
第4期発掘調査計画について
 - イ 第2回（令和4年9月22日）
 - 内 容：発掘調査について
特別研究推進事業について
第4期発掘調査計画について
 - ウ 第3回（令和5年3月8日）
 - 内 容：発掘調査について
特別研究推進事業について
第4期発掘調査計画について
- (6) 発掘調査報告書の刊行
平成30年度から令和3年度まで発掘調査を行った遺跡北端部東側部分（第42次～45次発掘調査）について発掘調査報告書（三内丸山遺跡46）及び旧野球場地区の縄文時代遺構・遺物補遺編（三内丸山遺跡47）を刊行。

2 保存

(1) 遺構等の維持管理

公開している遺構の清掃を年16回実施。適切な維持・管理。また、南盛土の露出展示遺構面の保存処理を実施。

(2) 重要文化財修理事業

三内丸山遺跡の出土品で重要文化財に指定されたもののうち、展示や貸出機会の多いもの、劣化や脆弱な箇所が認められるものについて保存修理を実施。（土器6点、骨角器4点）

(3) 三内丸山遺跡長寿命化事業

高床建物29号長寿命化工事及び大型堅穴建物改修設計を実施。

(4) 三内丸山遺跡保存活用推進協議会（令和5年3月23日）

開催場所：三内丸山遺跡センター 体験工房3

内 容：令和4年度資産の保存・管理及び緩衝地帯の保全について
令和5年度資産の保全・管理及び緩衝地帯の保全（予定）について
保存・活用について

(5) 史跡境界標打設

特別史跡指定範囲を明示する史跡境界標を11本打設。

(6) 遺跡影響評価の実施

22件実施

(7) 経過観察の実施

令和3年度の経過観察について、経過観察年次報告書を作成した。

3 展示

(1) 三内丸山遺跡史跡整備事業

令和2年度に策定した「特別史跡三内丸山遺跡史跡整備基本設計」に基づき、北盛土・

西盛土展望エリア等の実施設計及び環状配石墓、大人の墓、西側法面保護工事を実施。

(2) 三内丸山遺跡史跡整備検討委員会

ア 第1回(令和4年8月30日)

開催場所：三内丸山遺跡センター 2階会議室(第2、3回も同じ)

内 容：整備工事について
実施設計について
植栽整備について

イ 第2回(令和4年12月9日)

内 容：第1回と同じ項目について検討。

ウ 第3回(令和5年2月2日)

内 容：第2回の項目に加え、情報発信等整備業務について検討。

(3) 常設展示事業

常設展示室「さんまるミュージアム」の環状配石墓コーナーと墓コーナーの整備を実施。

4 普及啓発

(1) 縄文体験学習

体験学習名	内 容	開催日	参加人数
動物形土製品のキーホルダーを作ろう	オープン粘土で動物形土製品のキーホルダーを作りました。	5月14日	8人
土偶を作ろう	粘土を使って板状土偶を作りました。	6月25日	9人
発掘をしてみよう	遺跡内で発掘調査を体験しました。	7月29日	15人
土器を作ろう①	粘土を使って縄文土器を作りました。	8月20日	11人
釣り針を作って魚を釣ろう	シカの角で釣り針を作って魚を釣る体験をしました。	10月1日	8人
土器を作ろう②	土器の野焼き体験をしました。	10月22日	11人
土偶そっくりのレプリカを作ろう	本物の土偶を使ってレプリカを作りました。	11月12日	6人
貝のアクセサリーを作ろう	ペンケイガイで腕輪等のアクセサリーを作りました。	1月21日	8人
粘土でアクセサリーを作ろう	オープン粘土で縄文時代のアクセサリーを作り、顔料を用いて着色体験をしました。	2月11日	7人

(2) 縄文学講座

内 容	講 師	開催日	参加人数
「動物」と縄文時代の精神文化	小笠原 雅 行(三内丸山遺跡センター)	5月28日	27人
北海道の円筒土器文化	福 田 裕 二(函館市教育委員会)	6月11日	25人
世界遺産登録1周年～世界遺産登録をふりかえる～	岡 田 康 博(三内丸山遺跡センター)	7月30日	30人
縄文時代の地域性	水ノ江 和 同(同志社大学文学部)	8月21日	25人
三内丸山遺跡の埋葬～環状配石墓と土坑墓～	茅 野 嘉 雄(三内丸山遺跡センター)	10月15日	22人

(3) 特別史跡三内丸山遺跡報告会

令和5年3月11日に実施。

(4) 企画展

「三内丸山遺跡の埋葬」

ア 開催期間：令和5年1月21日～3月12日

イ 内 容：三内丸山遺跡で亡くなった人は、どのように埋葬されたかを紹介。

(5) 特別展

ア 「縄文マジカル+（プラス）」

(ア) 開催期間：令和4年4月16日～6月26日

(イ) 内 容：縄文時代のまつりの道具から、縄文人の精神世界について紹介。

イ 世界遺産登録1周年記念特別展「北海道・北東北のJ OMON」

(ア) 開催期間：令和4年7月16日～10月2日

(イ) 内 容：構成資産をはじめとする4道県の縄文遺跡の出土品から世界遺産としての価値をわかりやすく紹介。

5 三内丸山遺跡の魅力に関する情報発信

(1) 刊行物

ア 三内丸山通信第76号、第77号

遺跡に関する情報発信紙

イ 特別史跡三内丸山遺跡研究紀要4

令和3年度の成果を中心とした調査・研究の報告

ウ 特別展「縄文マジカル+（プラス）」展示図録

特別展「縄文マジカル+（プラス）」の展示内容解説

エ 世界遺産登録1周年記念特別展「北海道・北東北のJ OMON」展示図録

世界遺産登録1周年記念特別展「北海道・北東北のJ OMON」の展示内容解説

オ 縄文の森リーフレット

カ 特別史跡三内丸山遺跡リーフレット

三内丸山遺跡・縄文時遊館観覧の案内

キ 三内丸山遺跡ガイドブック

三内丸山遺跡とその出土品について解説

ク 三内丸山遺跡ガイドブック概要版（4カ国語）

三内丸山遺跡ガイドブック概要版の多言語化（英・繁・簡・韓）

(2) 縄文体験イベント等の実施

ア 縄文祭り

四季を通じて縄文文化の魅力等を伝えるため、縄文祭りを4回開催。

(ア) 縄文春祭り（4月23日～24日）

参加人数：3,366人

(イ) 縄文夏祭り（7月23日～24日）

参加人数：8,335人

(ウ) さんまるJ OMONの日（9月17日～19日）

参加人数：9,853人

- (エ) 縄文冬祭り（2月4日～5日）
参加人数：4,277人
 - イ 出土品のレプリカ、縄文服及び写真貸出
 - (ア) 出土品のレプリカ、縄文服
延べ9件を貸出（出土品のレプリカ2件、縄文服7件）。
 - (イ) 写真
99件を貸出。
 - ウ 夜の遺跡を楽しもう
三内丸山遺跡の新しい魅力を体感してもらうためにナイトイベントを開催。
 - (ア) 開催日：令和4年9月17日～18日、令和5年2月4日
 - (イ) 参加人数：2,231人
 - (3) 三内丸山遺跡センター運営協議会
 - ア 第1回（令和4年7月29日）
開催場所：三内丸山遺跡センター 体験工房3（第2回も同じ）
内容：令和4年度事業実施状況及び今後の予定等について
 - イ 第2回（令和5年3月2日）
内容：令和4年度事業実施状況について
令和5年度の予定（方向性）等について
- 6 縄文遺跡群に関連する取組**
縄文遺跡群に関連する取組として、以下の取組を実施。
- (1) 一体的な保存と活用の推進
 - ア 縄文遺跡群世界遺産本部等の運営
 - (ア) 第1回縄文遺跡群世界遺産協議会（令和4年9月2日）
開催場所：オンライン（第2回も同じ）
内容：令和4年度事業について
令和5年度事業計画案及び予算案について
遺産影響評価の取組状況について 等
 - (イ) 第2回縄文遺跡群世界遺産協議会（令和5年2月14日）
内容：保存活用推進行動計画について
遺産影響評価の取組状況について 等
 - (ウ) 第1回縄文遺跡群世界遺産専門家委員会（令和4年10月18日）
開催場所：三内丸山遺跡センター
内容：イコモス勧告及び世界遺産委員会決議への対応について
縄文遺跡群の来訪者数について 等
 - (エ) 第2回縄文遺跡群世界遺産専門家委員会（令和5年3月10日）
開催場所：フォーポイントバイシェラトン函館
内容：2021年度縄文遺跡群経過観察年次報告書案について
「北海道・北東北の縄文遺跡群保存活用推進行動計画」について 等
 - (オ) 令和4年度縄文遺跡群世界遺産協議会青森県部会（令和5年1月19日）
開催場所：オンライン

- 内 容：2021年度縄文遺跡群経過観察年次報告書（青森県内分）について
県内自治体における遺産影響評価の取組事例について 等
- イ 「北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録記念誌」の刊行
世界遺産登録までの取組状況等を記録し、将来にわたり適切な保存と活用の推進を目的として、「北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録記念誌」を刊行。
- ウ 刊行物
- (ア) 「北海道・北東北の縄文遺跡群包括的保存管理計画改訂版」（令和4年5月）
(イ) 「北海道・北東北の縄文遺跡群保存管理計画概要版」（令和5年3月）
(ウ) 「2021年度北海道・北東北の縄文遺跡群経過観察年次報告書」（令和5年3月）
- (2) 魅力発信プロモーション

ア 世界遺産1周年記念フォーラム

- (ア) 青森フォーラム（令和4年7月30日）

場 所：三内丸山遺跡センター

内 容：講演「世界遺産登録一周年 ～世界遺産登録をふりかえる～」

縄文遺跡群世界遺産協議会長 岡田 康博

意見交換1「世界遺産一周年を迎えた『青森県の縄文遺跡群』」

青森市教育委員会 文化遺産課 児玉 大成

弘前市教育委員会 文化財課 東海林 心

つがる市教育委員会 教育部文化財課 羽石 智治

外ヶ浜町教育委員会 社会教育課世界遺産対策室 駒田 透

七戸町教育委員会 世界遺産対策室 小林 由夏

三内丸山遺跡センター保存活用課 小笠原 雅行

縄文遺跡群世界遺産協議会長 岡田 康博

意見交換2「世界遺産になって伝えたいこと」

(一社)三内丸山応援隊 中村 文子

(一社)小牧野遺跡保存活用協議会 竹中 富之

縄文是川ボランティア 村中 健

ボランティアガイドつがる縄文遺跡案内人 三上 真理子

大平山元もりあげ隊 三浦 博英

二ツ森貝塚ボランティアガイドの会 鎌本 義明

縄文遺跡群世界遺産協議会長 岡田 康博

参加人数：80人

- (イ) 福岡フォーラム（令和4年11月3日）

場 所：大野城心のふるさと館（福岡県大野城市）

内 容：講演「縄文遺跡群の世界遺産登録の意義」

文化庁文化資源活用課文化財調査官 鈴木 地平

講演「縄文時代の地域性」

縄文遺跡群世界遺産専門家委員会委員

同志社大学文学部教授 水ノ江 和同

講演「世界遺産登録の歩みと縄文遺跡群の未来」

縄文遺跡群世界遺産協議会長 岡田 康博

意見交換会「遺跡を未来へ伝えるために」
大野城心のふるさと館長 赤司 善彦
同志社大学文学部教授 水ノ江 和同
文化庁文化資源活用課文化財調査官 鈴木 地平
三内丸山遺跡センター所長 岡田 康博

参加人数：70人

- (ウ) 東京フォーラム（令和5年1月29日）
場 所：有楽町朝日ホール（東京都千代田区）及び縄文遺跡群世界遺産本部公式
YouTubeサイトでLive配信。
内 容：講演「縄文遺跡群の世界遺産登録の意義」
文化庁文化資源活用課文化財調査官 鈴木 地平
講演「世界遺産登録の歩みと縄文遺跡群の未来」
縄文遺跡群世界遺産協議会長 岡田 康博
意見交換「ドキュメント こうして世界遺産になった縄文遺跡群」
縄文遺跡群世界遺産本部顧問 早稲田大学 名誉教授 菊池 徹夫
縄文遺跡群世界遺産専門家委員会委員長
筑波大学 名誉教授 稲葉 信子
文化庁文化資源活用課文化財調査官 鈴木 地平
縄文遺跡群世界遺産協議会長 岡田 康博

参加人数：600人

- イ 世界遺産でパシャ！北海道・北東北の縄文遺跡群フォトコンテスト2022
応募作品の中でも魅力ある作品を集めてカレンダーを作成。
募集期間：令和5年1月23日まで
応募総数：617枚
発行部数：10,000部
- ウ 刊行物
世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」パンフレットを改訂。
- (3) 普及啓発事業
- ア 県内8遺跡での来訪促進周遊企画・1周年記念催事を実施。
- (ア) 県内8遺跡での周遊来訪企画（縄文おでかけスタンプラリー）
期 間：令和4年6月1日～10月31日
参加組数：延べ7,832組
- (イ) 世界遺産登録1周年記念催事（さんまる世界遺産ウィーク）
特別展、夏祭り、フォーラム等を合わせ、一連の登録記念催事として実施。開催
期間内の土・日・祝日については、常設展観覧料無料。夏祭り（7月23日、24日）で
はキャラクターショーやFM青森の公開生放送等のステージイベントとマルシェを実施。
期 間：令和4年7月16日～31日
来館者数：20,415人

イ 縄文あおりプロモーション事業

団体名	事業内容
あおり子ども劇場	青森県の縄文遺跡群を題材にした人形劇の制作・上演、工作ワークショップの開催
(株) あおりミシン商会	県内縄文遺跡の出土品をモチーフにした手芸のワークショップイベントの開催
(株) 東奥アドシステム	青森県の縄文遺跡群日帰りバスツアーの実施
(株) 協同	あおり縄文女子 縄文体験チャレンジ動画制作・公開
(合同) 白神アロマ研究所	縄文関連商品の開発

ウ 縄文“体感”世界遺産講座の開催

団体名	開催日	参加人数
青森大学	令和4年5月27日	251人
黒石市立東英小学校	令和4年6月1日	11人
青森市立三内西小学校	令和4年6月7日	75人
田子町立田子小学校	令和4年6月21日	25人
中泊町立小泊小学校	令和4年6月29日	14人
青森市立荒川中学校	令和4年7月19日	119人
八戸市立是川小学校	令和4年8月31日	24人
七戸町立天間林小学校	令和4年9月15日	51人
弘前市立文京小学校第4学年	令和4年10月20日	43人
〃 第5学年	〃	36人
〃 第6学年	〃	37人
青森中央学院大学	令和4年10月28日	82人
計		768人

エ 世界遺産ガイド養成講座の開催

(ア) 縄文遺跡群世界遺産ガイド養成講座

開催場所	開催日	参加人数
二ツ森貝塚館（七戸町）	令和4年4月20日	14人
外ヶ浜町中央公民館（外ヶ浜町）	令和4年6月26日	10人
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（八戸市）	令和4年6月28日	24人
旧制木造中学校講堂（つがる市）	令和4年10月23日 令和4年11月26日	80人 (各回40人)

(イ) 縄文遺跡群世界遺産ガイドスキルアップ講座

開催場所	開催日	参加人数
県内構成資産及びガイダンス施設	令和4年11月9日 令和4年11月15日	40人 (各回20人)

オ 刊行物

「世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群 縄文あおりテキストBOOK」

(4) 認知度向上事業

ア 交通広告等や誘客促進ツールの制作の実施

- (ア) 青森駅・新青森駅でポスターを掲示
掲載期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ((イ)、(ウ)も同じ。)
- (イ) 青森空港・三沢空港で電飾看板を掲示
- (ウ) 青い森鉄道車体広告
- (エ) ブックカバー広告
配布枚数：106,000枚
配布場所：青森県、福岡県、首都圏、関西圏
配布期間：令和4年10月
- (オ) ミニのぼり制作
制作個数：5,000個
配布場所：県内観光案内所等
- (カ) タクシーステッカー制作
制作枚数：3,000枚
配布場所：青森県タクシー協会
- (キ) バナーフラッグ制作
制作枚数：350枚
配布場所：青森商工会議所

イ 観光客の多い夏期を中心としたプロモーションの実施

観光客の多い夏期にプロモーションとして、以下の取組を実施。

- (ア) w e b 広告
掲載期間：令和5年9月1日～10月21日
活用媒体：Yahoo!広告、LINE広告、YouTube広告
表示回数：2,213万回
- (イ) ノベルティ配布
製作物：青森県内縄文遺跡の土偶を活用したデザインの鈴
配布場所：青森市・弘前市の街頭、青森県内レンタカー店
配布期間：令和5年8月1日～8月20日
- (ウ) ポスター製作
製作枚数：510枚
配布場所：県内外の観光・物産関連施設、博物館等

ウ 西日本プロモーション

期 間：令和4年11月3日～12月4日

会 場：福岡県大野城市 大野城心のふるさと館

内 容：三内丸山遺跡をはじめとする県内の縄文遺跡群の出土品を展示し、本県の縄文時代の特徴について解説するとともに、世界遺産の県内8つの縄文遺跡群をパネルで紹介。西日本新聞の紙上広告も実施。

参加人数：9,790人

(5) 受入態勢充実事業

ア 民間団体との協働による世界遺産を守る人づくり実証事業の実施

団体名	事業内容
弘前縄文の会	県内遺跡ガイド団体意見交換会の実施、ガイド用のぼり旗作成等
特定非営利活動法人 つがる縄文の会	古十三湖水域の遺跡等の採集狩猟民の活動域視察、観光VR及びVRゴーグルの制作
一般社団法人 小牧野遺跡保存活用協議会	環状列石を軸にしたガイドスキルアップ研修の実施、環状列石を周遊する説明ツールの開発等
二ツ森貝塚ボランティア ガイドの会	二ツ森貝塚の紹介映像制作、ドリップバックの製作等

イ ビジョン関係者会議の開催

「青森の縄文遺跡群」活用ビジョン関係者会議の開催（令和5年1月19日）

開催場所：オンライン

内 容：「青森の縄文遺跡群」活用推進ビジョンの実現に向けた保存・活用の取組状況について

(6) 「青森の縄文遺跡群」情報発信拠点施設整備事業

令和5年度に青森駅新駅ビル内に情報発信の拠点施設を整備するため、施設コンセプトの策定及び設計業務の実施。

7 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、以下の取組を実施。

(1) リスク評価

「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日付け公益財団法人日本博物館協作成）」に基づき、令和2年5月22日付けで作成した「三内丸山遺跡センターのリスク評価」を令和5年3月23日付けで改正。

(2) 取組実績

- ・館内への手指消毒液及び授乳室への除菌シートを設置
- ・清掃業者及び職員による館内・備品等の消毒を毎日実施
- ・職員・解説員のマスク・フェイスシールド等の着用及びボランティアガイドへのマスク・フェイスシールド等の着用を依頼
- ・アンケート、「ギネスに挑戦」テーブルの撤去、土器ハンズオンの中止
- ・休憩用椅子等の数量調整と間隔を保って利用することを表示
- ・既存のITガイドシステムのコンテンツの拡充及びアプリの導入
- ・券売機等へのキャッシュレス決済導入
- ・常設展示室内、企画展示室内、券売機前等への待機位置等及び進行方向を示すフロアマーカーを設置
- ・2次元コード（QRコード）を利用した展示解説の動画を提供
- ・各案内カウンター及び机上用アクリルパーテーションの設置

(3) 集客施設としての対応

- ア 来館者への体調管理、手指消毒、マスク着用等のお願い
- イ ホームページ及び館内への注意事項掲示及びサイン表示
- ウ 来館者及び職員への検温実施（赤外線カメラ、非接触式体温計の導入）
- エ 団体等の適正人数での鑑賞のための取組（予約時の調整、ミュージアム等での誘導調整等）

8 縄文時遊館の長寿命化

旧展示室トイレの洋式化改修設計及び工事を実施。

〔4〕 来館者数

令和4年度の来館者数は、207,095人である。

新型コロナウイルス感染症に関する青森県対処方針（青森県危機対策本部）を踏まえた臨時休館期間 令和4年1月24日～同年4月10日

展 覧 会 等	来館者数
常設展等の来館者数	205,366人
内、常設展以外の各展覧会等の来館者数	
1 特別展「縄文マジカル+（プラス）」 令和4年4月16日～6月26日	15,753人
2 世界遺産登録1周年記念特別展「北海道・北東北のJ O M O N」 令和4年7月16日～10月2日	19,069人
3 企画展「三内丸山遺跡の埋葬」 令和5年1月21日～3月12日	13,065人
4 縄文体験学習 令和4年5月、6月、7月、8月、10月（2回）、11月、 令和5年1月、2月 計9回	83人
5 縄文学講座 令和4年5月、6月、7月、8月、10月 計5回	129人
視察等来館者数	1,729人
合 計	207,095人

青森県の教育 ー令和4年度の実績ー

令和5年10月発行

編集 青森県教育庁教育政策課

発行者 青森県教育委員会

印刷所 ワタナベサービス(株)

